神栖市国民健康保険 第2期データヘルス計画及び 第3期特定健康診査等実施計画

平成30年3月 令和3年3月改定版 神栖市

第1章	保険者の特性把握と分析結果	
	1. 分析の背景	7
	2. 保険者の特性把握	8
	(1)基本情報	8
	(2)医療費等の状況	11
	(3)特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況	12
	①特定健康診査	12
	②特定保健指導	14
	(4)介護保険の状況	17
	(5)主たる死因の状況	23
	(6)死亡数及び標準化死亡比	26
	3. 医療情報分析結果	27
	(1)基礎統計	27
	(2)高額レセプトの件数及び医療費	29
	①高額レセプトの件数及び割合	29
	②高額レセプト発生患者の疾病傾向	31
	(3)疾病別医療費	35
	①大分類による疾病別医療費統計	35
	②大分類による男女年齢別の医療費・患者数・診療日数上位3疾病	40
	③中分類による疾病別医療費統計	42
	(4)生活習慣病に係る医療費	55
第2章	第2期データヘルス計画	
	1. 計画策定について	60
	(1)背景	60
	(2)計画期間	60
	(3)基本方針	61
	(4)データヘルス計画の位置づけ	62
	(5)実施体制・関係者連携	62
	2. 過去の取組の振り返りと評価	63
	(1)第2期データヘルス計画の各事業達成状況	63
	(2)第2期データヘルス計画の各事業実施内容	73
	①特定健康診査未受診者対策	73
	②特定保健指導事業	74
	③糖尿病性腎症重症化予防事業	75
	④高血圧症重症化予防事業	76
	⑤受診行動適正化指導事業(重複·頻回受診、重複服薬)	77
	⑥ジェネリック医薬品差額通知事業	78
	⑦薬剤併用禁忌防止事業	79
	⑧服薬情報通知事業	80
	⑨人間ドック等健康診査費用助成事業	81
	⑩若年者健康診査事業	82
	⑪ポピュレーションアプローチ(健康づくりに関する普及啓発)事業	83

	⑫精神疾患の分析	84
	3. 保健事業実施に係る分析結果	85
	(1)特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析	85
	(2)特定健康診査に係る分析	86
	(3)特定保健指導に係る分析	88
	(4)健診異常値放置者に係る分析	90
	(5)生活習慣病治療中断者に係る分析	92
	(6)糖尿病性腎症重症化予防に係る分析	94
	(7)受診行動適正化に係る分析	98
	(8) ジェネリック医薬品普及率に係る分析	101
	(9)薬剤併用禁忌に係る分析	104
	(10)服薬情報に係る分析	106
	4. 分析結果に基づく健康課題の把握	108
	(1)分析結果	108
	(2)分析結果に基づく課題とその対策	115
	5. 保健事業実施計画	117
	(1)各事業の目的と概要一覧	117
	(2)全体スケジュール	121
	(3)各事業の実施内容と評価方法	122
	①特定健康診査未受診者対策	122
	②特定保健指導事業	123
	③糖尿病性腎症重症化予防事業	124
	④高血圧症重症化予防事業	125
	⑤受診行動適正化指導事業(重複·頻回受診、重複服薬)	126
	⑥ジェネリック医薬品差額通知事業	127
	⑦薬剤併用禁忌防止事業	128
	⑧服薬情報通知事業	129
	⑨人間ドック等健康診査費用助成事業	130
	⑩若年者健康診査事業	131
	⑪ポピュレーションアプローチ(健康づくりに関する普及啓発)事業	132
	⑫精神疾患の分析	133
	6. その他	134
	(1)データヘルス計画の見直し	134
	①評価	134
	②評価時期	134
	(2)計画の公表・周知	134
	(3)本計画の位置付け	135
	(4)事業運営上の留意事項	135
	(5)個人情報の保護	136
第3章	第3期特定健康診查等実施計画	
	1. 計画策定にあたって	138
	(1)計画策定の趣旨	138
	(2)特定健康診査等室施計画の位置づけ	138

	(3)計画期間	139
	2. 特定健康診査及び特定保健指導の実施状況	140
	(1)特定健康診査の受診率	140
	(2)特定保健指導の実施率	141
	3. 特定健康診査及び特定保健指導に係る主な取り組み	144
	4. 特定健康診査及び特定保健指導に係る分析結果	145
	(1)特定健康診査結果の分析	145
	①有所見者割合	145
	②質問別回答状況	148
	③特定健康診査の受診者と未受診者の生活習慣病治療状況	151
	(2)特定保健指導の効果分析	152
	(3)特定保健指導対象者の分析	154
	①保健指導レベル該当状況	154
	②特定保健指導リスク因子別該当状況	157
	③特定保健指導対象者と非対象者の医療費の比較	159
	5. 特定健康診査及び特定保健指導実施状況に基づく課題と対策	160
	6. 特定健康診査等実施計画	162
	(1)目標	162
	(2)対象者数推計	162
	①特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み	162
	②特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み	163
	(3) 実施方法	164
	①特定健康診査の実施方法	164
	②特定保健指導の実施方法	165
	(4) 実施スケジュール	167
	7. 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施(新規)	168
	8. その他	169
	(1)個人情報の保護	169
	①個人情報保護関係規定の遵守	169
	②データの管理	169
	(2)特定健康診査等実施計画の公表及び周知	169
	(3)特定健康診査等実施計画の評価及び見直し	170
	①評価	170
	②計画の見直し	170
	(4)事業運営上の留意事項	170
	①各種検(健)診等との連携	170
	②健康づくり事業との連携	170
巻末資	料	
	1. 自治会分析	172
	(1)大分類による疾病別医療費自治会別統計	172
	(2)中分類による疾病別医療費自治会別統計	181
	2. 年度別 特定健康診査結果分析	191
	(1)有所見者割合	191

-目次-

(2)質問別回答状況	200
3.「指導対象者群分析」のグループ分けの見方	217
4. 用語解説集	218
5. 疾病分類	219
6. 分析方法	223

第1章 保険者の特性把握と分析結果

1. 分析の背景

「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データへルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求める」としている。また、データへルス計画には健康・医療情報(健康診査の結果や診療報酬明細書等から得られる情報)を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととある。

本分析では「人口構成」「特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況」「介護保険の状況」「主たる死因の状況」等により保険者の特性を把握し、さらに健康・医療情報の分析結果を踏まえ、様々な角度から神栖市国民健康保険の現状を分析し、課題の洗い出しを行う。これら結果を受け、対策が必要と判断した課題に対し、データヘルス計画及び特定健康診査等実施計画にて策定した事業の実施に活用することとする。

■データ分析期間

- ・国保データベース(KDB)システムデータ 平成26年度~平成31年度(6年分)
- ・入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト 単年分析 平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)

年度分析

平成26年度…平成26年3月~平成27年2月診療分(12カ月分)

平成27年度…平成27年3月~平成28年2月診療分(12カ月分)

平成28年度…平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)

平成29年度…平成29年3月~平成30年2月診療分(12カ月分)

平成30年度…平成30年3月~平成31年2月診療分(12カ月分)

平成31年度…平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)

2. 保険者の特性把握

(1) 基本情報

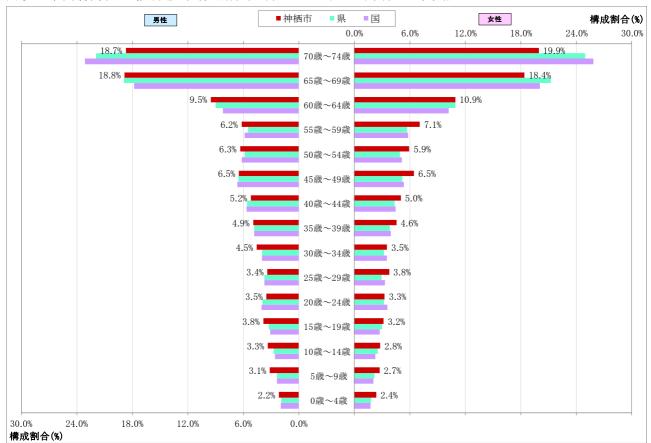
本市の平成31年度における、人口構成概要を以下に示す。高齢化率(65歳以上)は20.8%であり、県との比較で0.8倍、同規模との比較で0.7倍となっている。また、国民健康保険被保険者数は22,511人で、市の人口に占める国民健康保険加入率は23.9%である。国民健康保険被保険者平均年齢は50.9歳である。

人口構成概要(平成31年度)

	人口総数(人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者平均年齢(歳)	出生率	死亡率
神栖市	94,196	20.8%	22,511	23.9%	50.9	9.3%	8.5%
県	2,883,341	26.8%	684,079	23.7%	52.9	7.5%	10.8%
同規模	69,060	27.8%	15,204	22.0%	54.1	7.8%	10.9%
国	125,640,987	26.6%	27,083,475	21.6%	52.9	8.0%	10.3%

^{※「}県」は茨城県を指す。以下すべての表において同様である。

男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド(平成31年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」

出典: 国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

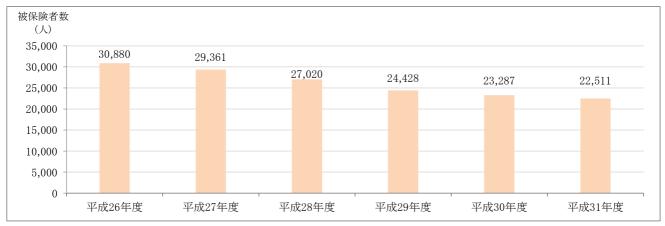
本市の平成26年度から平成31年度における、人口構成概要を年度別に示す。平成31年度を 平成26年度と比較すると、国民健康保険被保険者数22,511人は平成26年度30,880人より 8,369人減少しており、国民健康保険被保険者平均年齢50.9歳は平成26年度46.5歳より4.4歳 上昇している。

年度別 人口構成概要

	区分	人口総数 (人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
	平成26年度	91,321	17.2%	30,880	33.8%	46.5	10.6%	8.5%
	平成27年度	91,321	17.2%	29,361	32.2%	47.2	10.6%	8.5%
神栖市	平成28年度	91,321	17.2%	27,020	29.6%	48.4	10.6%	8.5%
क्षा भाग	平成29年度	94,196	20.8%	24,428	25.9%	49.7	9.3%	8.5%
	平成30年度	94,196	20.8%	23,287	24.7%	50.2	9.3%	8.5%
	平成31年度	94,196	20.8%	22,511	23.9%	50.9	9.3%	8.5%
	平成26年度	2,914,135	22.8%	878,261	30.1%	49.8	8.2%	9.8%
	平成27年度	2,914,135	22.8%	845,824	29.0%	50.4	8.2%	9.8%
県	平成28年度	2,914,135	22.8%	799,210	27.4%	51.1	8.2%	9.8%
	平成29年度	2,883,341	26.8%	754,659	26.2%	52.0	7.5%	10.8%
	平成30年度	2,883,341	26.8%	712,589	24.7%	52.4	7.5%	10.8%
	平成31年度	2,883,341	26.8%	684,079	23.7%	52.9	7.5%	10.8%
	平成26年度	68,299	24.2%	18,546	27.1%	51.7	8.3%	10.1%
	平成27年度	68,241	24.2%	17,773	26.1%	52.2	8.4%	10.1%
回相機	平成28年度	68,973	24.1%	16,979	24.7%	52.8	8.4%	10.1%
同規模	平成29年度	68,194	27.9%	16,299	23.9%	53.3	7.8%	10.9%
	平成30年度	68,566	27.9%	15,686	22.9%	53.7	7.8%	10.9%
	平成31年度	69,060	27.8%	15,204	22.0%	54.1	7.8%	10.9%
	平成26年度	124,852,975	23.2%	32,318,324	28.8%	50.3	8.6%	9.6%
	平成27年度	124,852,975	23.2%	33,767,446	28.2%	50.4	8.6%	9.6%
团	平成28年度	124,852,975	23.2%	32,587,223	26.9%	50.7	8.6%	9.6%
国	平成29年度	125,640,987	26.6%	28,831,499	23.4%	52.3	8.0%	10.3%
	平成30年度	125,640,987	26.6%	28,039,851	22.3%	52.5	8.0%	10.3%
	平成31年度	125,640,987	26.6%	27,083,475	21.6%	52.9	8.0%	10.3%

出典: 国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

年度別 被保険者数



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

年度別 男女·年齢階層別国民健康保険被保険者数

単位:人

1 /2/34 /	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	H/H/34H	40 0/43 411113	V 100 C F 1 1 10 C F	- <i>>></i> •				T 12.
	平成26年度			平成27年度			平成28年度		
年齢階層	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性
0歳~4歳	985	486	499	932	462	470	767	374	393
5歳~9歳	1,154	617	537	1,044	559	485	921	482	439
10歳~14歳	1,281	680	601	1,083	585	498	911	507	404
15歳~19歳	1,418	718	700	1,283	661	622	1,128	581	547
20歳~24歳	1,335	692	643	1,314	696	618	1,083	559	524
25歳~29歳	1,356	692	664	1,232	648	584	1,108	584	524
30歳~34歳	1,560	783	777	1,388	709	679	1,208	626	582
35歳~39歳	1,636	876	760	1,500	789	711	1,364	717	647
40歳~44歳	2,115	1,108	1,007	1,955	1,031	924	1,651	867	784
45歳~49歳	1,985	1,057	928	1,901	1,000	901	1,841	970	871
50歳~54歳	1,856	953	903	1,799	927	872	1,623	834	789
55歳~59歳	2,118	1,052	1,066	1,946	972	974	1,788	851	937
60歳~64歳	3,795	1,857	1,938	3,508	1,684	1,824	3,099	1,463	1,636
65歳~69歳	4,575	2,241	2,334	4,880	2,415	2,465	4,916	2,456	2,460
70歳~74歳	3,711	1,842	1,869	3,596	1,790	1,806	3,612	1,767	1,845
合計	30,880	15,654	15,226	29,361	14,928	14,433	27,020	13,638	13,382

F IM IN ER	平成29年度			平成30年度			平成31年度		
年齢階層	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性
0歳~4歳	600	295	305	555	265	290	509	237	272
5歳~9歳	738	394	344	681	362	319	660	345	315
10歳~14歳	810	438	372	723	391	332	691	368	323
15歳~19歳	967	493	474	891	471	420	785	422	363
20歳~24歳	910	449	461	826	402	424	763	385	378
25歳~29歳	892	437	455	877	428	449	807	374	433
30歳~34歳	1,020	526	494	955	500	455	906	499	407
35歳~39歳	1,196	605	591	1,128	572	556	1,067	543	524
40歳~44歳	1,347	665	682	1,187	592	595	1,148	570	578
45歳~49歳	1,635	819	816	1,542	762	780	1,456	712	744
50歳~54歳	1,552	783	769	1,472	764	708	1,382	698	684
55歳~59歳	1,538	706	832	1,514	680	834	1,498	682	816
60歳~64歳	2,675	1,211	1,464	2,439	1,088	1,351	2,302	1,048	1,254
65歳~69歳	4,702	2,354	2,348	4,458	2,236	2,222	4,188	2,074	2,114
70歳~74歳	3,846	1,831	2,015	4,039	1,899	2,140	4,349	2,056	2,293
合計	24,428	12,006	12,422	23,287	11,412	11,875	22,511	11,013	11,498

出典:国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」

(2)医療費等の状況

本市の平成31年度における、医療基礎情報を以下に示す。

医療基礎情報(平成31年度)

	医療項目	神栖市	県	同規模	国
千人	当たり				
	病院数	0.2	0.3	0.3	0.3
	診療所数	1.6	2.5	3.2	3.7
	病床数	40.5	46.2	55.7	57.4
	医師数	4.0	8.1	8.6	11.8
	外来患者数	587.2	652.1	709.6	700.5
	入院患者数	15.9	16.9	20.5	19.7
受診	率	603.0	669.0	730.1	720.3
一件	当たり医療費(円)	37,760	36,590	38,210	38,150
	一般(円)	37,770	36,590	38,210	38,150
	退職(円)	21,680	31,920	35,570	36,550
外来					
	外来費用の割合	61.3%	62.0%	58.9%	59.2%
	外来受診率	587.2	652.1	709.6	700.5
	一件当たり医療費(円)	23,770	23,260	23,150	23,200
	一人当たり医療費(円)	13,960	15,160	16,430	16,250
	一日当たり医療費(円)	16,750	16,120	15,360	15,210
	一件当たり受診回数	1.4	1.4	1.5	1.5
入院	:				
	入院費用の割合	38.7%	38.0%	41.1%	40.8%
	入院率	15.9	16.9	20.5	19.8
	一件当たり医療費(円)	555,430	550,720	559,530	568,140
	一人当たり医療費(円)	8,810	9,310	11,470	11,220
	一日当たり医療費(円)	41,860	36,280	34,450	35,550
	一件当たり在院日数	13.3	15.2	16.2	16.0

(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

①特定健康診查

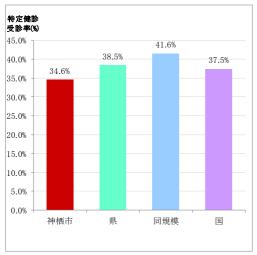
本市の平成31年度における、40歳から74歳の特定健康診査の受診率を以下に示す。

特定健康診査受診率(平成31年度)

	特定健診受診率
神栖市	34.6%
県	38.5%
同規模	41.6%
国	37.5%

出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

特定健康診査受診率(平成31年度)

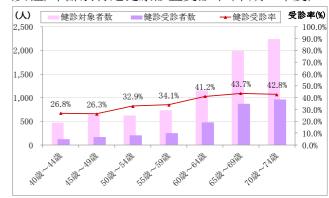


出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

(男性)年齢別特定健康診査受診率(平成31年度)



(女性)年齢別特定健康診査受診率(平成31年度)



出典: 国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

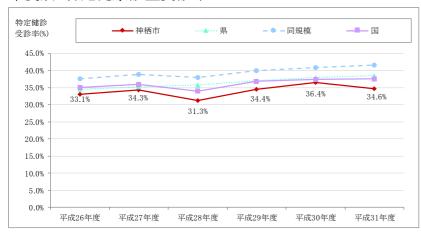
本市の平成26年度から平成31年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度別に示す。平成31年度の特定健康診査受診率34.6%は平成26年度33.1%より1.5ポイント上昇している。

年度別 特定健康診査受診率

	特定健診受診率							
	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	平成29 年度	平成30 年度	平成31 年度		
神栖市	33.1%	34.3%	31.3%	34.4%	36.4%	34.6%		
県	34.5%	35.3%	35.8%	37.0%	38.0%	38.5%		
同規模	37.6%	38.9%	38.0%	40.0%	40.8%	41.6%		
国	35.0%	36.0%	34.0%	36.8%	37.4%	37.5%		

出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

男女別の特定健康診査の受診率をみると、男性の平成31年度受診率30.1%は平成26年度28.0%より2.1ポイント上昇しており、女性の平成31年度受診率38.9%は平成26年度38.3%より0.6ポイント上昇している。

年度 · 男女別 特定健康診査受診率



出典: 国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

②特定保健指導

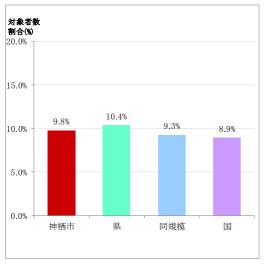
本市の平成31年度における、特定保健指導の実施状況を以下に示す。

特定保健指導実施状況(平成31年度)

	動機付け支援 対象者数割合	積極的支援 対象者数割合	支援対象者数割合	特定保健指導 実施率
神栖市	9.8%	4.2%	14.0%	38.3%
県	10.4%	3.6%	14.0%	32.1%
同規模	9.3%	2.7%	12.0%	35.8%
国	8.9%	2.7%	11.6%	26.3%

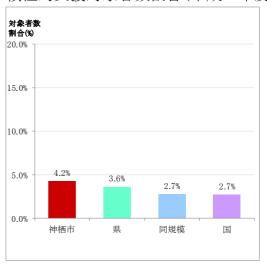
動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。 出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

動機付け支援対象者数割合(平成31年度)



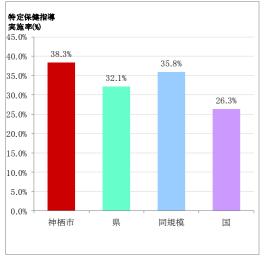
出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

積極的支援対象者数割合(平成31年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

特定保健指導実施率(平成31年度)



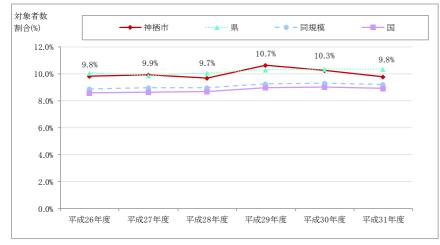
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 特定保健指導実施状況

		動機付け支援 対象者数割合						積極的支援 対象者数割合				
	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	平成29 年度	平成30 年度	平成31 年度	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	平成29 年度	平成30 年度	平成31 年度
神栖市	9.8%	9.9%	9.7%	10.7%	10.3%	9.8%	6.4%	5.8%	5.2%	4.8%	4.6%	4.2%
県	10.1%	9.9%	10.1%	10.3%	10.4%	10.4%	4.3%	4.1%	4.0%	3.8%	3.8%	3.6%
同規模	8.9%	9.0%	9.0%	9.3%	9.3%	9.3%	3.2%	3.0%	2.9%	2.8%	2.8%	2.7%
玉	8.6%	8.7%	8.7%	9.0%	9.0%	8.9%	3.4%	3.3%	3.2%	2.8%	2.7%	2.7%

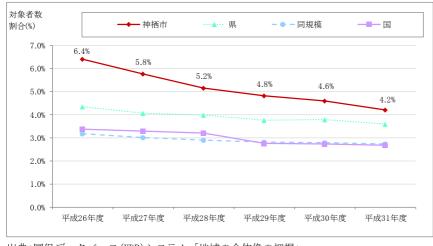
動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合・・特定健康診査を受診した人に対する割合。 出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 動機付け支援対象者数割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 積極的支援対象者数割合



本市の平成26年度から平成31年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示す。平成31年度の特定保健指導実施率38.3%は平成26年度30.9%より7.4ポイント上昇している。

年度別 特定保健指導実施状況

		支援対象者数割合						特定保健指導実施率					
	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	平成29 年度	平成30 年度	平成31 年度	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	平成29 年度	平成30 年度	平成31 年度	
神栖市	16.2%	15.7%	14.9%	15.5%	14.9%	14.0%	30.9%	35.3%	34.3%	30.5%	33.1%	38.3%	
県	14.4%	14.0%	14.1%	14.1%	14.2%	14.0%	26.7%	26.3%	28.8%	30.2%	32.9%	32.1%	
同規模	12.1%	12.0%	11.9%	12.1%	12.1%	12.0%	26.7%	28.3%	30.2%	30.9%	34.9%	35.8%	
国	12.0%	12.0%	11.9%	11.7%	11.8%	11.6%	19.9%	20.2%	21.1%	22.8%	25.8%	26.3%	

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。 出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 特定保健指導実施率



(4)介護保険の状況

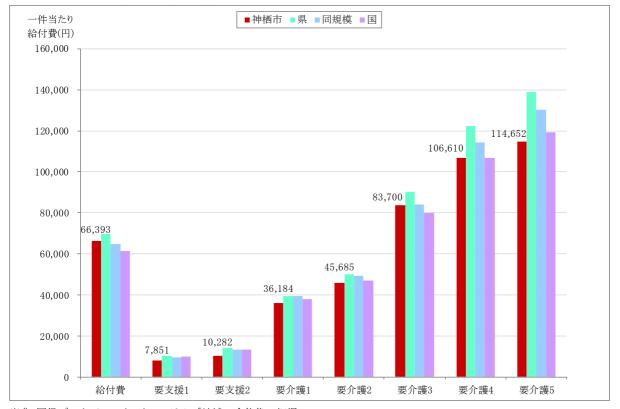
本市の平成31年度における、認定率及び給付費等の状況を以下に示す。

認定率及び給付費等の状況(平成31年度)

区分	神栖市	県	同規模	国
認定率	15.8%	16.9%	18.4%	19.6%
認定者数(人)	3,278	137,246	933,707	6,620,276
第1号(65歳以上)	3,174	133,558	913,126	6,467,463
第2号(40~64歳)	104	3,688	20,581	152,813
一件当たり給付費(円)				
給付費	66,393	69,509	64,851	61,336
要支援1	7,851	10,315	9,701	9,825
要支援2	10,282	13,968	13,260	13,241
要介護1	36,184	39,404	39,469	37,931
要介護2	45,685	49,992	49,409	47,085
要介護3	83,700	90,223	84,213	79,808
要介護4	106,610	122,300	114,485	106,950
要介護5	114,652	138,870	130,059	119,410

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

一件当たり要介護度別給付費(平成31年度)



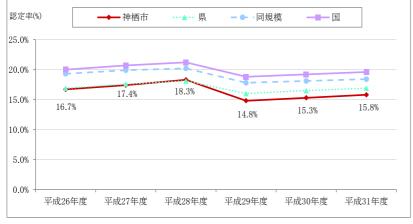
平成26年度から平成31年度における、認定率及び認定者数を年度別に示す。平成31年度認定率15.8%は平成26年度16.7%より0.9ポイント低下しており、平成31年度の認定者数3,278人は平成26年度2,785人より493人増加している。

年度別 認定率及び認定者数

				認定者数(人)	
	平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成26年度 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成31年度 平成26年度 平成27年度 平成29年度 平成30年度 平成21年度 平成25年度 平成31年度 平成31年度 平成36年度 平成36年度	認定率		第1号 (65歳以上)	第2号 (40歳~64歳)
	平成26年度	16.7%	2,785	2,668	117
	平成27年度	17.4%	2,918	2,798	120
tota kon ete	平成28年度	18.3%	3,041	2,928	113
神栖市	平成29年度	14.8%	3,040	2,926	11-
	平成30年度	15.3%	3,145	3,032	11:
	平成31年度	15.8%	3,278	3,174	10
	平成26年度	16.9%	118,329	114,417	3,91
	平成27年度	17.6%	122,073	118,207	3,86
ı	平成28年度	18.1%	125,310	121,496	3,81
県	平成29年度	16.0%	128,042	124,342	3,70
	平成30年度	16.5%	131,982	128,338	3,64
	平成31年度	16.9%	137,246	133,558	3,68
	平成26年度	19.3%	883,689	860,333	23,35
	平成27年度	19.9%	908,391	885,519	22,87
	平成28年度	20.2%	913,701	891,715	21,98
同規模	平成29年度	17.8%	916,998	895,530	21,46
	平成30年度	18.1%	925,059	903,977	21,08
	平成31年度	18.4%	933,707	913,126	20,58
	平成26年度	20.0%	5,324,880	5,178,997	145,88
	平成27年度	20.7%	5,751,982	5,602,383	149,59
	平成28年度	21.2%	6,034,085	5,882,340	151,74
玉	平成29年度	18.8%	6,208,699	6,057,292	151,40
	平成30年度	19.2%	6,482,704	6,329,312	153,39
	平成31年度	19.6%	6,620,276	6,467,463	152,81

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本市の平成31年度における、認定者の疾病別有病率を以下に示す。疾病別の有病者数を合計すると9,161人となり、認定者は平均2.8疾病を有していることがわかる。

認定者の疾病別有病状況(平成31年度)

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

	区分	神栖市	順位	県	順位	同規模	順位	玉	順位
認定者数(人)		3,278		137,246		933,707		6,620,276	
心臓病	実人数(人)	1,887	1	81,318	1	568,770	1	3,939,115	
	有病率	57.5%	1	59.6%	1	59.9%	1	58.7%	1 1
高血圧症	実人数(人)	1,686	2	72,704	2	500,783	2	3,472,146	1 2
	有病率	51.6%		53.2%		52.6%		51.7%	
筋•骨格	実人数(人)	1,614	3	69,900	3	490,471	3	3,448,596	3
	有病率	49.2%		51.2%		51.7%		51.6%	
精神	実人数(人)	1,097	4	47,137	4	349,972	4	2,437,051	4
	有病率	33.3%		34.7%		36.9%		36.4%	
脂質異常症	実人数(人)	940	5	38,246	5	281,872	5	2,036,238	 5
	有病率	28.6%		27.7%		29.4%		30.1%	
脳疾患	実人数(人)	815	6	33,701	6	231,954	6	1,587,755	1 6
	有病率	26.0%		25.2%		24.7%		24.0%	
糖尿病	実人数(人)	750	7	31,398	7	219,055	7	1,537,914	7
	有病率	23.9%		23.0%	,	23.0%		23.0%	1
悪性新生物	実人数(人)	372	8	14,414	8	101,679	8	739,425] 8
	有病率	11.3%		10.5%		10.7%		11.0%	
合計	実人数(人)	9,161	<u> </u>	388,818		2,744,556		19,198,240	
	有病数	2.8		2.8		2.9		2.9	

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

認定者の疾病別有病率(平成31年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本市の平成26年度から平成31年度における、認定者の疾病別有病率を年度別に示す。平成 31年度の認定者が有している平均疾病数2.8疾病は平成26年度2.9疾病より減少している。

年度別 認定者の疾病別有病状況

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

	- /\						神和	西市					
×	公分	平成26 年度	順位	平成27 年度	順位	平成28 年度	順位	平成29 年度	順位	平成30 年度	順位	平成31 年度	順位
認定者	針数(人)	2,785		2,918		3,041		3,040		3,145		3,278	
心臓病	実人数(人) 有病率(%)	1,679 59.7%	1	1,759 59.9%	1	1,828 59.4%	1	1,811 59.3%	1	1,794 58.2%		1,887 57.5%	1
高血圧症	実人数(人) 有病率(%)	1,495 52.5%	2	1,566 53.1%	2	1,625 52.9%	2	1,596 52.3%	2	1,603 52.0%	2	1,686 51.6%	2
筋•骨格	実人数(人) 有病率(%)	1,335 47.3%	3	1,420 47.9%	3	1,473 48.1%	3	1,494 48.7%	3	1,528 48.7%	3	1,614 49.2%	3
精神	実人数(人) 有病率(%)	906 32.9%	4	958 32.4%	4	1,009 32.0%	4	1,048 33.6%	4	1,053 33.6%	4	1,097 33.3%	4
脂質異常症	実人数(人) 有病率(%)	797 27.2%	6	818 27.7%	6	881 27.9%	6	911 29.0%	5	915 29.0%	5	940 28.6%	5
脳疾患	実人数(人) 有病率(%)	853 31.1%	5	912 30.7%	5	923 30.0%	5	869 28.7%	6	831 27.2%	6	815 26.0%	6
糖尿病	実人数(人) 有病率(%)	674 24.5%	7	734 24.6%	7	767 24.1%	7	790 25.0%	7	748 24.6%	7	750 23.9%	7
悪性新生物	実人数(人) 有病率(%)	267 10.0%	8	312 10.5%	8	343 10.9%	8	334 11.1%	8	350 11.1%	8	372 11.3%	8
合計	実人数(人) 有病数	8,006 2.9		8,479 2.9		8,849 2.9		8,853 2.9		8,822 2.8		9,161 2.8	

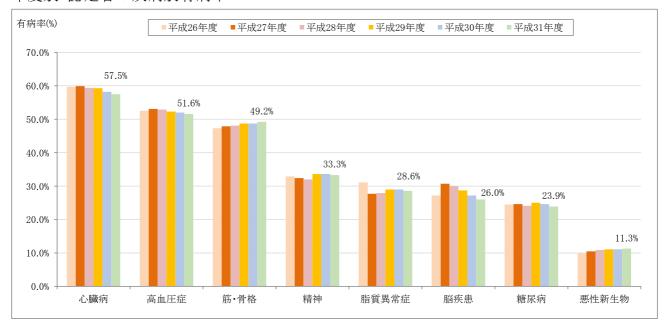
区	/\			ļ	1		
	Л	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	平成29 年度	平成30 年度	平成31 年度
認定者	数(人)	118,329	122,073	125,310	128,042	131,982	137,246
心臓病	実人数(人)	71,637	74,328	75,828	77,063	79,281	81,318
	有病率(%)	60.2%	60.4%	60.1%	60.0%	59.8%	59.6%
高血圧症	実人数(人)	63,832	66,288	67,726	68,820	70,785	72,704
	有病率(%)	53.5%	53.9%	53.6%	53.5%	53.4%	53.2%
筋•骨格	実人数(人)	59,387	62,167	64,130	65,680	67,869	69,900
	有病率(%)	49.9%	50.4%	50.6%	51.0%	51.2%	51.2%
精神	実人数(人)	39,795	41,764	43,367	44,447	46,186	47,137
	有病率(%)	33.4%	33.8%	33.9%	34.4%	34.8%	34.7%
脂質異常症	実人数(人)	30,322	31,857	33,503	34,793	36,477	38,246
	有病率(%)	25.0%	25.8%	26.2%	26.8%	27.2%	27.7%
脳疾患	実人数(人)	33,934	34,505	34,575	34,174	34,010	33,701
	有病率(%)	28.8%	28.3%	27.6%	26.8%	26.0%	25.2%
糖尿病	実人数(人)	26,068	27,404	28,273	29,368	30,556	31,398
	有病率(%)	21.9%	22.1%	22.2%	22.6%	23.0%	23.0%
悪性新生物	実人数(人)	11,498	12,103	12,754	13,242	13,753	14,414
	有病率(%)	9.5%	9.8%	10.0%	10.2%	10.4%	10.5%
合計	実人数(人)	336,473	350,416	360,156	367,587	378,917	388,818
	有病数	2.8	2.9	2.9	2.9	2.9	2.8

年度別 認定者の疾病別有病状況

-	T /\			同共	見模		
2	区分	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	平成29 年度	平成30 年度	平成31 年度
認定者	認定者数(人)			913,701	916,998	925,059	933,707
心臓病	心臓病 実人数(人)		534,422	545,522	549,760	550,835	568,770
	有病率(%)	54.3%	58.2%	59.1%	59.2%	59.4%	59.9%
高血圧症	実人数(人)	429,786	468,849	478,594	482,405	484,193	500,783
	有病率(%)	47.3%	50.9%	51.8%	51.9%	52.1%	52.6%
筋•骨格	実人数(人)	420,178	457,630	468,953	473,492	475,600	490,471
	有病率(%)	46.3%	49.8%	50.8%	51.0%	51.2%	51.7%
精神	実人数(人)	288,192	318,349	330,813	336,084	339,723	349,972
	有病率(%)	31.6%	34.4%	35.6%	36.1%	36.5%	36.9%
脂質異常症	実人数(人)	224,805	249,089	255,994	261,572	267,492	281,872
	有病率(%)	24.5%	26.8%	27.6%	27.9%	28.6%	29.4%
脳疾患	実人数(人)	223,901	239,223	239,267	235,921	229,651	231,954
	有病率(%)	25.0%	26.2%	26.2%	25.6%	25.1%	24.7%
糖尿病	実人数(人)	180,064	198,628	203,607	207,681	210,730	219,055
	有病率(%)	19.7%	21.5%	21.9%	22.2%	22.6%	23.0%
悪性新生物	実人数(人)	80,701	89,488	92,924	95,571	97,246	101,679
	有病率(%)	8.8%	9.7%	10.0%	10.2%	10.4%	10.7%
合計	実人数(人)	2,339,287	2,555,678	2,615,674	2,642,486	2,655,470	2,744,556
	有病数	2.6	2.8	2.9	2.9	2.9	2.9

	·\				E		
区分	ग्रे	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	平成29 年度	平成30 年度	平成31 年度
認定者	数(人)	5,324,880	5,751,982	6,034,085	6,208,699	6,482,704	6,620,276
心臓病	心臓病 実人数(人)		3,261,576	3,511,354	3,612,547	3,770,674	3,939,115
	有病率(%)	54.8%	56.7%	57.5%	57.8%	57.8%	58.7%
高血圧症	実人数(人)	2,551,660	2,865,466	3,085,109	3,176,320	3,318,793	3,472,146
	有病率(%)	47.9%	49.7%	50.5%	50.8%	50.8%	51.7%
筋•骨格	実人数(人)	2,505,146	2,813,795	3,051,816	3,150,734	3,305,225	3,448,596
	有病率(%)	47.1%	48.9%	49.9%	50.4%	50.6%	51.6%
精神	実人数(人)	1,720,172	1,963,213	2,141,880	2,222,308	2,339,782	2,437,051
	有病率(%)	32.2%	33.8%	34.9%	35.5%	35.8%	36.4%
脂質異常症	実人数(人)	1,386,541	1,586,963	1,733,323	1,804,586	1,915,551	2,036,238
	有病率(%)	25.7%	27.3%	28.2%	28.7%	29.2%	30.1%
脳疾患	実人数(人)	1,324,669	1,455,985	1,530,506	1,540,429	1,563,143	1,587,755
	有病率(%)	25.2%	25.4%	25.3%	24.9%	24.3%	24.0%
糖尿病	実人数(人)	1,089,285	1,241,024	1,343,240	1,396,109	1,470,196	1,537,914
	有病率(%)	20.3%	21.4%	21.9%	22.2%	22.4%	23.0%
悪性新生物	実人数(人)	493,808	569,967	629,053	657,405	702,800	739,425
	有病率(%)	9.2%	9.8%	10.1%	10.4%	10.7%	11.0%
合計	実人数(人)	13,985,889	15,757,989	17,026,281	17,560,438	18,386,164	19,198,240
	有病数	2.6	2.7	2.8	2.8	2.8	2.9

年度別 認定者の疾病別有病率



(5)主たる死因の状況

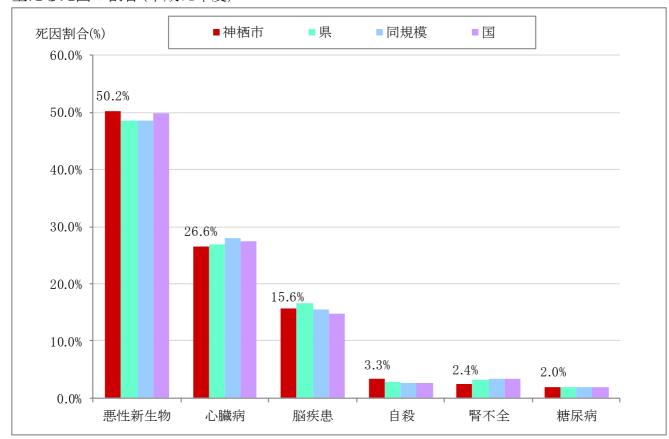
本市の平成31年度における、主たる死因の状況を以下に示す。

主たる死因の状況(平成31年度)

	神相	市			
疾病項目	人数(人)	割合(%)	県	同規模	国
悪性新生物	274	50.2%	48.6%	48.6%	49.9%
心臓病	145	26.6%	26.8%	28.0%	27.4%
脳疾患	85	15.6%	16.6%	15.5%	14.7%
自殺	18	3.3%	2.8%	2.7%	2.7%
腎不全	13	2.4%	3.2%	3.3%	3.4%
糖尿病	11	2.0%	2.0%	1.9%	1.9%
合計	546				

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

主たる死因の割合(平成31年度)



本市の平成26年度から平成31年度における、主たる死因の状況を年度別に示す。平成31年度を平成26年度と比較すると、悪性新生物を死因とする人数274人は平成26年度243人より31人増加しており、心臓病を死因とする人数145人は平成26年度110人より35人増加している。また、脳疾患を死因とする人数85人は平成26年度109人より24人減少している。

年度別 主たる死因の状況

						神林	西市					
疾病項目			人数	(人)					割合	ት(%)		
· 沃州·	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	平成29 年度	平成30 年度	平成31 年度	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	平成29 年度	平成30 年度	平成31 年度
悪性新生物	243	242	234	232	243	274	48.7%	48.5%	44.6%	44.1%	46.9%	50.2%
心臓病	110	112	141	148	133	145	22.0%	22.4%	26.9%	28.1%	25.7%	26.6%
脳疾患	109	93	102	102	90	85	21.8%	18.6%	19.4%	19.4%	17.4%	15.6%
自殺	14	21	22	21	16	18	2.8%	4.2%	4.2%	4.0%	3.1%	3.3%
腎不全	13	22	17	12	23	13	2.6%	4.4%	3.2%	2.3%	4.4%	2.4%
糖尿病	10	9	9	11	13	11	2.0%	1.8%	1.7%	2.1%	2.5%	2.0%
合計	499	499	525	526	518	546						

				Į.					同規	見模		
疾病項目						割台	`(%)					
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	平成29 年度	平成30 年度	平成31 年度	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	平成29 年度	平成30 年度	平成31 年度
悪性新生物	45.8%	46.8%	48.1%	48.9%	48.8%	48.6%	46.7%	47.5%	48.1%	48.0%	49.0%	48.6%
心臓病	27.4%	26.4%	26.5%	26.2%	26.7%	26.8%	27.2%	27.1%	27.1%	27.5%	27.3%	28.0%
脳疾患	17.8%	18.1%	17.0%	16.8%	16.8%	16.6%	17.2%	16.7%	16.5%	16.2%	15.7%	15.5%
自殺	3.4%	3.4%	3.2%	3.0%	2.7%	2.8%	3.4%	3.4%	3.1%	3.1%	2.8%	2.7%
腎不全	3.3%	3.1%	3.2%	3.1%	3.2%	3.2%	3.5%	3.4%	3.3%	3.3%	3.3%	3.3%
糖尿病	2.3%	2.1%	2.1%	2.1%	1.9%	2.0%	2.0%	1.9%	1.9%	1.8%	1.9%	1.9%
合計												

			[3	E		
疾病項目			割台	``(%)		
灰州項目	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	平成29 年度	平成30 年度	平成31 年度
悪性新生物	48.3%	49.0%	49.6%	50.1%	50.5%	49.9%
心臓病	26.6%	26.4%	26.5%	26.5%	26.8%	27.4%
脳疾患	16.3%	15.9%	15.4%	15.2%	14.8%	14.7%
自殺	3.5%	3.5%	3.3%	3.1%	2.8%	2.7%
腎不全	3.4%	3.4%	3.3%	3.3%	3.3%	3.4%
糖尿病	1.9%	1.9%	1.8%	1.8%	1.8%	1.9%
合計						

年度別 主たる死因の割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(6) 死亡数及び標準化死亡比

2013年から2017年の本市の標準化死亡比を以下に示す。男女とも心疾患、脳血管疾患、肺炎、悪性新生物の死亡率が高い状況である。

男性の死亡数及び標準化死亡比(平成25年度~平成29年度)

	全死因	悪性新生物	胃の悪性新生物[再掲]	悪性新生物 結腸及び直腸の [再掲]	#/m /J=	肺の悪性新生物 気管、気管支及び [再掲]	(高血圧性を除く)	急性心筋梗塞	脳血管疾患	くも膜下出血[再掲]	脳内出血 [再掲]	脳梗塞]	肺炎	慢性閉塞性肺疾患
標準化死亡比※1	1.20	1. 16	1. 29	1. 26	1.57	1. 16	1. 24	2.08	1.38	1.55	1.04	1.61	1.41	1.40
死亡数	2254	747	117	101	88	179	320	129	207	24	55	126	222	47
期待死亡数※2	1882. 9	643.0	90.6	79. 9	56. 2	153.8	258. 3	62. 1	150.3	15. 4	52.9	78. 3	157.6	33. 6
期待死亡数との差	371.1	104.0	26. 4	21. 1	31.8	25. 2	61.7	66. 9	56. 7	8.6	2. 1	47.7	64. 4	13.4
全国に比べて 有意に高い※3	0	0	0	0	0		0	0	0			0	0	
全国に比べて 有意に低い※4											·			·

女性の死亡数及び標準化死亡比(2013年~2017年)

	全死因	悪性新生物	胃の悪性新生物[再掲]	悪性新生物 [再掲]	悪性新生物 肝及び肝内胆管の [再掲]	肺の悪性新生物 気管、気管支及び [再掲]	乳房の悪性新生物[再掲]	子宮の悪性新生物 [再掲]	(高血圧性を除く)	急性心筋梗塞	脳血管疾患	くも膜下出血[再掲]	脳内出血 [再掲]	脳梗塞]	肺炎	慢性閉塞性肺疾患
標準化死亡比※1	1. 19	1. 17	1.42	1.08	1.07	1.26	1.05	0.97	1.38	2.08	1.80	1. 24	1.20	2. 26	1.51	0.75
死亡数	1913	488	62	67	28	72	44	19	363	87	267	27	46	191	196	6
期待死亡数※2	1607.6	417.5	43.6	61.8	26. 3	57. 2	42. 1	19.6	262. 2	41.7	148.5	21.8	38. 3	84. 5	129. 9	8.0
期待死亡数との差	305.4	70.5	18. 4	5. 2	1.7	14.8	1.9	-0.6	100.8	45. 3	118.5	5. 2	7.7	106. 5	66. 1	-2.0
全国に比べて 有意に高い※3	0	0	0						0	0	0			0	0	·
全国に比べて 有意に低い※4																

出典:茨城県立健康プラザ「令和2年茨城県市町村別健康指標」

※1 標準化死亡比…標準とする集団(全国)に比べ、どのくらい高いかを示す比率。全国を1とし、その比が1より大きい場合は 全国平均よりも死亡率が高く、1より小さい場合は全国平均よりも死亡率が低いことを意味する。

※2 期待死亡数…公衆衛生学上の専門用語で、全国と同じ死亡率なら何人死亡するはずか以下の計算式で求めたもの。 (期待死亡数) = (年齢階層別全国死亡率) × (年齢階層別市町村の人口) の総和

※3、4 有意に…統計学上、偶然ではない(何らかの原因が存在する)可能性が高いと推測されるという意味。

3. 医療情報分析結果

(1) 基礎統計

当医療費統計は、神栖市国民健康保険における、平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)の入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし分析する。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下の通りである。被保険者数は平均22,883人、レセプト件数は平均22,358件、患者数は平均10,397人となった。また、患者一人当たりの医療費は平均49,698円となった。

基礎統計

			平成31年3月	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月
А	被保険者数(人)		23,240	23,338	23,017	22,970	22,928	22,862	22,781
		入院外	13,897	13,692	13,125	13,280	13,920	13,202	13,115
В	レセプト件数(件)	入院	382	379	385	362	370	364	364
D	レビノド件数(件)	調剤	8,779	8,775	8,383	8,356	8,705	8,375	8,212
	合計		23,058	22,846	21,893	21,998	22,995	21,941	21,691
С	医療費(円) ※		524,838,070	527,014,460	504,249,140	509,440,990	536,552,940	499,972,770	494,369,560
D	患者数(人) ※		10,679	10,562	10,183	10,255	10,636	10,225	10,137
C/A	被保険者一人当7 医療費(円)	こりの	22,583	22,582	21,908	22,179	23,402	21,869	21,701
C/B	レセプト一件当たり 医療費(円))の	22,762	23,068	23,032	23,159	23,333	22,787	22,791
C/D	<u>串者一人当たりの</u>		49,147	49,897	49,519	49,677	50,447	48,897	48,769
В/А	B/A 受診率(%)		99.2%	97.9%	95.1%	95.8%	100.3%	96.0%	95.2%
D/A	D/A 有病率(%)		46.0%	45.3%	44.2%	44.6%	46.4%	44.7%	44.5%

			令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月	令和2年1月	令和2年2月	12カ月平均	12カ月合計
А	被保険者数(人)		22,809	22,705	22,664	22,715	22,563	22,883	
		入院外	13,823	13,650	13,775	13,410	13,007	13,491	161,896
В	レセプト件数(件)	入院	363	373	347	347	317	363	4,353
D	レビノド件数(1牛)	調剤	8,558	8,508	8,764	8,436	8,192	8,504	102,043
	合計		22,744	22,531	22,886	22,193	21,516	22,358	268,292
С	医療費(円) ※		543,020,030	523,146,140	525,191,680	524,101,010	488,768,620	516,722,118	6,200,665,410
D	患者数(人) ※		10,553	10,422	10,595	10,363	10,156	10,397	124,766
C/A	被保険者一人当为 医療費(円)	きりの	23,807	23,041	23,173	23,073	21,662	22,581	
C/B	レセプト一件当たり 医療費(円)	りの	23,875	23,219	22,948	23,616	22,717	23,112	
C/D	患者一人当たりの 医療費(円)		51,456	50,196	49,570	50,574	48,126	49,698	
B/A	A 受診率(%)		99.7%	99.2%	101.0%	97.7%	95.4%	97.7%	
D/A	/A 有病率(%)		46.3%	45.9%	46.7%	45.6%	45.0%	45.4%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

[※]医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

[※]患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、 一人として集計。

平成26年度から平成31年度における、入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし年度別に分析する。平成31年度を平成26年度と比較すると、一カ月平均の被保険者数22,883人は、平成26年度28,645人より5,762人減少しており、医療費62億67万円は平成26年度69億9,264万円より7億9,197万円減少している。また、一カ月平均の患者数10,397人は、平成26年度13,090人より2,693人減少している。

年度別 基礎統計

			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
А	一カ月平均の被保険者	数(人)	28,645	30,232	28,329	22,323	23,757	22,883
		入院外	198,444	196,172	185,978	171,835	165,318	161,896
В	レセプト件数(件)	入院	5,387	5,154	5,174	4,816	4,503	4,353
D	レビノド件数(件)	調剤	117,829	120,196	117,188	106,809	103,086	102,043
		合計	321,660	321,522	308,340	283,460	272,907	268,292
С	医療費(円) ※		6,992,638,620	7,241,697,080	6,938,464,950	6,600,936,350	6,076,138,730	6,200,665,410
D	一カ月平均の患者数(丿	() ※	13,090	12,842	12,178	11,135	10,645	10,397
C/A	被保険者一人当たりの 医療費(円)		20,343	19,961	20,411	295,700	255,764	270,977
C/B	レセプト一件当たりの 医療費(円)		21,739	22,523	22,503	23,287	22,265	23,112
D/A	有病率(%)		45.7%	42.5%	43.0%	49.9%	44.8%	45.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成26年3月~令和2年2月診療分(72カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※一カ月平均の患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は一人とし、年度毎に集計。そのため他統計とは一致しない。

年度別 医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成26年3月~令和2年2月診療分(72カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

(2) 高額レセプトの件数及び医療費

①高額レセプトの件数及び割合

平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下の通り集計した。高額レセプトは1,940件発生しており、レセプト件数全体の0.7%を占める。高額レセプトの医療費は20億5,915万円となり、医療費全体の33.2%を占める。

高額(5万点以上)レセプト件数及び割合

			平成31年3月	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月
А	レ	セプト件数(件)	23,058	22,846	21,893	21,998	22,995	21,941	21,691
В	高額レセプト件数(件)		166	151	164	172	165	154	145
B/A	総	レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.7%	0.7%	0.7%	0.8%	0.7%	0.7%	0.7%
С	医	療費全体(円) ※	524,838,070	527,014,460	504,249,140	509,440,990	536,552,940	499,972,770	494,369,560
D		高額レセプトの医療費(円) ※	176,907,730	170,339,050	167,879,910	173,870,590	178,407,600	160,764,800	154,497,390
Е	E その他レセプトの医療費(円) ※		347,930,340	356,675,410	336,369,230	335,570,400	358,145,340	339,207,970	339,872,170
D/C	D/C 総医療費に占める高額レセプトの割合(%)		33.7%	32.3%	33.3%	34.1%	33.3%	32.2%	31.3%

			令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月	令和2年1月	令和2年2月	12カ月平均	12カ月合計
А	レ	セプト件数(件)	22,744	22,531	22,886	22,193	21,516	22,358	268,292
В	高	額レセプト件数(件)	177	165	168	166	147	162	1,940
B/A	総	レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.8%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	
С	医	療費全体(円) ※	543,020,030	523,146,140	525,191,680	524,101,010	488,768,620	516,722,118	6,200,665,410
D		高額レセプトの医療費(円) ※	189,342,370	173,965,290	173,944,890	178,838,890	160,391,490	171,595,833	2,059,150,000
Е	E その他レセプトの医療費(円) ※		353,677,660	349,180,850	351,246,790	345,262,120	328,377,130	345,126,284	4,141,515,410
D/C	総	医療費に占める高額レセプトの割合(%)	34.9%	33.3%	33.1%	34.1%	32.8%	33.2%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

- ※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。
- ※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。
- ※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

平成26年度から平成31年度に発生している高額レセプトの集計結果を年度別に示す。平成31年度高額レセプト件数1,940件は平成26年度2,033件より93件減少しており、平成31年度高額レセプトの医療費20億5,915万円は平成26年度19億9,262万円より6,653万円減少している。

年度別 高額(5万点以上)レセプト件数及び割合

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
А	レセプト件数(件)	321,660	321,522	308,340	283,460	272,907	268,292
В	高額レセプト件数(件)	2,033	2,166	2,079	2,048	1,868	1,940
В/А	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.6%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%
С	医療費全体(円) ※	6,992,638,620	7,241,697,080	6,938,464,950	6,600,936,350	6,076,138,730	6,200,665,410
D	高額レセプトの医療費(円) ※	1,992,615,710	2,255,343,330	2,188,537,840	2,158,079,770	1,926,125,350	2,059,150,000
Е	その他レセプトの医療費(円) ※	5,000,022,910	4,986,353,750	4,749,927,110	4,442,856,580	4,150,013,380	4,141,515,410
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	28.5%	31.1%	31.5%	32.7%	31.7%	33.2%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成26年3月~令和2年2月診療分(72カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

年度別 高額(5万点以上)レセプトの医療費及び件数割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成26年3月~令和2年2月診療分(72カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

②高額レセプト発生患者の疾病傾向

平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を示す。高額レセプト発生患者の分析対象期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を集計した。患者一人当たりの医療費が高額な疾病は、「皮膚及び皮下組織の感染症」「白血病」「妊娠及び胎児発育に関連する障害」等となった。

高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

			主要傷病名 ※	患者数		医療費(円) ※		患者一人当たりの
順位		疾病分類(中分類)	(上位3疾病まで記載)	(人) ※	入院	入院外	合計	医療費(円) ※
1	1201	皮膚及び皮下組織の感染症	膿瘍	1	8,682,300	0	8,682,300	8,682,300
2	0209	白血病	慢性骨髄性白血病,急性リンパ性白血病,混合型白血病	7	38,902,300	19,661,900	58,564,200	8,366,314
3	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	超低出生体重児, 極低出生体重児, 早産児	4	26,651,600	1,421,990	28,073,590	7,018,398
4	0208	悪性リンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫, ホジキンリンパ腫, 中枢神経系原発びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	14	61,292,040	29,759,190	91,051,230	6,503,659
5	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	痙性四肢麻痺,脳性麻痺	2	12,719,800	118,200	12,838,000	6,419,00
6	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所 見で他に分類されないもの	失語症、出血性ショック、壊疽	4	20,825,020	806,680	21,631,700	5,407,92
7	0507	その他の精神及び行動の障害	レット症候群、高次脳機能障害	2	10,554,890	202,390	10,757,280	5,378,64
8	1402	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 腎性貧血	20	36,025,580	65,991,620	102,017,200	5,100,86
9	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍 >	上葉肺癌, 肺癌, 下葉肺癌	39	70,509,430	106,823,020	177,332,450	4,546,98
10	0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免 疫機構の障害	播種性血管内凝固,血友病,後天性血友病A	11	31,058,120	18,510,930	49,569,050	4,506,27
11	1701	心臓の先天奇形	ファロー四徴症、心房中隔欠損症	2	8,193,840	552,130	8,745,970	4,372,98
12	0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	高アンモニア血症、尿崩症、ウェルニッケ脳症	3	6,557,550	6,461,630	13,019,180	4,339,72
13	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌,多発性骨髓腫,卵巣癌	80	154,555,870	164,414,890	318,970,760	3,987,13
14	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物 <腫瘍>	直腸癌,直腸癌術後再発,直腸S状部結腸癌	22	47,828,980	36,663,310	84,492,290	3,840,55
15	0905	脳内出血	被殼出血, 視床出血, 脳皮質下出血	10	32,486,940	5,550,580	38,037,520	3,803,75
16	0906	脳梗塞	脳梗塞,塞栓性脳梗塞・急性期,アテローム血栓性脳梗塞	34	120,858,900	7,037,570	127,896,470	3,761,66
17	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	S状結腸癌,下行結腸癌,上行結腸癌	26	69,410,830	28,082,580	97,493,410	3,749,74
18	0904	くも膜下出血	IC-PC動脈瘤破裂によるくも膜下出血、前大脳動脈瘤 破裂によるくも膜下出血、椎骨動脈瘤破裂によるくも膜下 出血	5	17,871,790	594,260	18,466,050	3,693,21
19	0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	2	6,327,090	915,200	7,242,290	3,621,14
20	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎	17	565,700	60,772,700	61,338,400	3,608,14
		ļ	1		l			L

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成26年度から平成31年度における、患者一人当たりの医療費上位5疾病を年度別に示す。

年度別 高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

年度	順位		疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円) ※
平成26年度	1	0904	くも膜下出血	くも膜下出血,前交通動脈瘤破裂によるくも膜下出血	3	6,877,800
	2	0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	小児麻痺後遺症	1	6,794,450
	3	0209	白血病	急性骨髄性白血病,慢性骨髄性白血病,急性リンパ性白血病	13	6,662,578
	4	1402	腎不全	慢性腎不全,末期腎不全,急性腎不全	41	5,130,821
	5	0107	真菌症	肺アスペルギルス症、侵襲性肺アスペルギルス症	2	4,669,605
平成27年度	1	0209	白血病	急性骨髄性白血病,慢性骨髄性白血病,急性リンパ性白血病	13	10,118,436
	2	0208	悪性リンパ腫	ALK陽性未分化大細胞リンパ腫,悪性リンパ腫,中枢神経系原発びま 人性大細胞型B細胞性リンパ腫	4	8,445,645
	3	0904	くも膜下出血	くも膜下出血	2	6,523,700
	4	1402	腎不全	慢性腎不全,末期腎不全,急性腎不全	36	5,210,273
	5	0507	その他の精神及び行動の障害	器質性精神病、レット症候群	3	4,667,433
平成28年度	1	0209	白血病	慢性骨髄性白血病、急性前骨髄球性白血病、急性リンパ性白血病	9	9,114,528
	2	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺,片麻痺	2	7,438,670
	3	0605	自律神経系の障害	多系統萎縮症	1	6,954,750
	4	0208	悪性リンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫、マントル細胞リンパ腫、濾胞性リンパ腫	7	6,239,967
	5	1402	腎不全	慢性腎不全,末期腎不全,急性腎前性腎不全	27	5,511,454
平成29年度	1	0605	自律神経系の障害	多系統萎縮症	1	10,102,260
	2	0507	その他の精神及び行動の障害	レット症候群	1	7,373,020
	3	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	片麻痺,脳性麻痺,不全対麻痺	3	7,275,987
	4	0209	白血病	慢性骨髓性白血病,急性骨髓性白血病,急性前骨髓球性白血病	8	5,903,219
	5	0904	くも膜下出血	IC-PC動脈瘤破裂によるくも膜下出血,前交通動脈瘤破裂によるくも膜下出血,くも膜下出血	9	5,077,742
平成30年度	1	0209	白血病	慢性骨髄性白血病,急性リンパ性白血病	5	10,804,204
	2	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺	1	10,421,210
	3	1903	熱傷及び腐食	第2度熱傷	1	9,928,990
	4	1701	心臓の先天奇形	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	1	9,475,730
	5	1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	1	6,303,660
平成31年度	1	1201	皮膚及び皮下組織の感染症	膿瘍	1	8,682,300
	2	0209	白血病	慢性骨髄性白血病,急性リンパ性白血病,混合型白血病	7	8,366,314
	3	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	超低出生体重児,極低出生体重児,早産児	4	7,018,398
	4	0208	悪性リンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫, ホジキンリンパ腫, 中枢神経系原発びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	14	6,503,659
	5	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	痙性四肢麻痺,脳性麻痺	2	6,419,000

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成26年3月~令和2年2月診療分(72カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

[※]主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

[※]患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

[※]患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)の疾病傾向を患者数順に示す。患者数が多い疾病は「その他の悪性新生物<腫瘍>」「その他の心疾患」「虚血性心疾患」等である。

高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位		疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※	患者数 (人) ※		医療費(円) ※		患者一人当たりの
川貝1公.			(上位3疾病まで記載)		入院	入院外	合計	医療費(円) ※
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 多発性骨髄腫, 卵巣癌	80	154,555,870	164,414,890	318,970,760	3,987,135
2	0903	その他の心疾患	心房細動,発作性心房細動,非弁膜症性心房細動	65	141,259,780	26,616,290	167,876,070	2,582,709
3	0902	虚血性心疾患	狭心症, 労作性狭心症, 陳旧性心筋梗塞	57	94,161,830	25,603,710	119,765,540	2,101,150
4	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍 >	上葉肺癌, 肺癌, 下葉肺癌	39	70,509,430	106,823,020	177,332,450	4,546,986
5	0906	脳梗塞	脳梗塞, 塞栓性脳梗塞・急性期, アテローム血栓性脳梗塞	34	120,858,900	7,037,570	127,896,470	3,761,661
6	1901	骨折	大腿骨頚部骨折, 橈骨遠位端骨折, 足関節脱臼骨折	33	51,191,020	11,624,920	62,815,940	1,903,513
7	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物 <腫瘍>	骨髄異形成症候群, 耳下腺腫瘍, 卵巣のう腫	32	53,675,160	9,671,610	63,346,770	1,979,587
7	1113	その他の消化器系の疾患	急性虫垂炎,急性汎発性腹膜炎,鼡径ヘルニア	32	42,605,730	9,624,200	52,229,930	1,632,185
9	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	S状結腸癌, 下行結腸癌, 上行結腸癌	26	69,410,830	28,082,580	97,493,410	3,749,747
9	1111	胆石症及び胆のう炎	胆石性胆のう炎,胆のう炎,総胆管結石	26	24,917,950	6,456,260	31,374,210	1,206,700
9	1302	関節症	変形性膝関節症, 両側性原発性股関節症, 原発性股関節症	26	62,057,550	8,842,030	70,899,580	2,726,907
12	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌,乳房上外側部乳癌,乳房中央部乳癌	25	22,122,730	49,177,390	71,300,120	2,852,005
13	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌,胃体部癌,胃幽門部癌	24	43,980,000	22,966,850	66,946,850	2,789,452
14	1504	その他の妊娠、分娩及び産じょく	切迫早産, 骨盤位, 分娩停止	23	23,867,590	1,596,110	25,463,700	1,107,117
14	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	肩腱板断裂, 術後疼痛, 頚髄損傷	23	39,430,280	7,351,450	46,781,730	2,033,988
16	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物 <腫瘍>	直腸癌,直腸癌術後再発,直腸S状部結腸癌	22	47,828,980	36,663,310	84,492,290	3,840,559
17	1402	腎不全	慢性腎不全,末期腎不全,腎性貧血	20	36,025,580	65,991,620	102,017,200	5,100,860
18	0704	その他の眼及び付属器の疾患	裂孔原性網膜剥離, 增殖性硝子体網膜症, 黄斑円孔	18	13,616,520	6,018,420	19,634,940	1,090,830
19	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎	17	565,700	60,772,700	61,338,400	3,608,141
19	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	廃用症候群, 膝関節拘縮, 特発性大腿骨頭壞死	17	39,989,750	7,976,920	47,966,670	2,821,569

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成26年度から平成31年度における、患者数上位5疾病を年度別に示す。

年度別 高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

年度	順位		疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円) ※
平成26年度	1	0902	虚血性心疾患	狭心症, 不安定狭心症, 急性心筋梗塞	83	2,158,708
	2	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌,多発性骨髄腫,胸部食道癌	69	3,312,983
	3	1901	骨折	大腿骨頚部骨折,大腿骨転子部骨折,橈骨遠位端骨折	56	1,919,058
	4	0906	脳梗塞	脳梗塞,アテローム血栓性脳梗塞,心原性脳塞栓症	54	2,410,534
	5	0903	その他の心疾患	うっ血性心不全,発作性心房細動,心房細動	44	3,987,188
平成27年度	1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌,多発性骨髄腫,膵頭部癌	84	3,396,020
	2	0902	虚血性心疾患	狭心症,労作性狭心症,不安定狭心症	71	2,298,641
	3	0906	脳梗塞	脳梗塞,アテローム血栓性脳梗塞,出血性脳梗塞	53	2,576,551
	4	0903	その他の心疾患	心房細動,うつ血性心不全,非弁膜症性心房細動	52	3,135,949
	5	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎	48	4,462,744
平成28年度	1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌,多発性骨髄腫,膵頭部癌	69 56 54 44 44 84 71 53 52 48 90 76 54 54 54 50 90 773 69 46 41 886 774 58 51 42	3,397,016
	2	0902	虚血性心疾患	狭心症, 不安定狭心症, 陳旧性心筋梗塞	76	2,382,187
	3	0903	その他の心疾患	心房細動,非弁膜症性心房細動,発作性心房細動	54	2,623,026
	4	1901	骨折	大腿骨頚部骨折,橈骨遠位端骨折,鎖骨骨折	54	1,800,225
	5	0906	脳梗塞	脳梗塞、アテローム血栓性脳梗塞・急性期、小脳梗塞	50	2,384,475
平成29年度	1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	多発性骨髓腫, 前立腺癌, 腎癌	90	3,787,551
	2	0902	虚血性心疾患	狭心症, 労作性狭心症, 不安定狭心症	73	2,336,266
	3	0903	その他の心疾患	心房細動,発作性心房細動,非弁膜症性心房細動	69	2,822,007
	4	1901	骨折	大腿骨頚部骨折, 大腿骨転子部骨折, 橈骨遠位端骨折	46	1,775,710
	5	1113	その他の消化器系の疾患	クローン病,イレウス,絞扼性イレウス	41	1,749,476
平成30年度	1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌,多発性骨髄腫,胸部食道癌	86	3,586,759
	2	0903	その他の心疾患	心房細動、うっ血性心不全、発作性心房細動	74	2,866,755
	3	1901	骨折	大腿骨頚部骨折, 橈骨遠位端骨折, 大腿骨転子部骨折	58	1,796,693
	4	0902	虚血性心疾患	狭心症,労作性狭心症,急性下後壁心筋梗塞	51	2,069,013
	5	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫 瘍>	卵巣のう腫, 壁内子宮平滑筋腫, 卵巣腫瘍	42	1,615,691
平成31年度	1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌,多発性骨髄腫,卵巣癌	80	3,987,135
	2	0903	その他の心疾患	心房細動,発作性心房細動,非弁膜症性心房細動	65	2,582,709
	3	0902	虚血性心疾患	狭心症,労作性狭心症,陳旧性心筋梗塞	57	2,101,150
	4	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 肺癌, 下葉肺癌	39	4,546,986
	5	0906	脳梗塞	脳梗塞,塞栓性脳梗塞・急性期,アテローム血栓性脳梗塞	34	3,761,661

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成26年3月~令和2年2月診療分(72カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

[※]主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

[※]患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

[※]患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

(3)疾病別医療費

①大分類による疾病別医療費統計

平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に 医療費、レセプト件数、患者数を算出した。「新生物<腫瘍>」が医療費合計の17.8%、「循環 器系の疾患」は医療費合計の17.2%と高い割合を占めている。

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

八刀類による沃州別区原負机可	*	- 上位5疾病を		州与打井()		」 衣不する。			
	A			В		С		A/C	
疾病分類(大分類)	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数(人)※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	201,377,822	3.3%	11	23,380	12	6,013	10	33,490	14
Ⅱ. 新生物<腫瘍>	1,098,515,656	17.8%	1	23,690	11	6,058	9	181,333	2
Ⅲ. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	84,050,414	1.4%	15	8,342	15	2,111	15	39,815	13
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	650,073,638	10.5%	3	96,188	2	10,178	3	63,870	9
V. 精神及び行動の障害	321,538,867	5.2%	9	25,814	9	2,604	14	123,479	4
VI. 神経系の疾患	339,550,608	5.5%	7	44,431	6	4,511	12	75,272	7
VII. 眼及び付属器の疾患	211,170,437	3.4%	10	22,615	13	6,489	8	32,543	15
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	22,947,715	0.4%	18	5,056	16	1,503	16	15,268	20
IX. 循環器系の疾患	1,060,677,398	17.2%	2	99,578	1	9,207	4	115,203	5
X. 呼吸器系の疾患	339,540,400	5.5%	8	55,819	5	10,965	1	30,966	16
X I . 消化器系の疾患 ※	447,912,089	7.2%	5	77,477	3	10,402	2	43,060	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	127,064,376	2.1%	13	31,103	7	6,795	6	18,700	18
XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	483,475,158	7.8%	4	62,176	4	8,165	5	59,213	10
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	390,579,847	6.3%	6	24,751	10	5,384	11	72,545	8
XV. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	35,585,311	0.6%	17	806	18	244	19	145,841	3
XVI. 周産期に発生した病態 ※	36,151,139	0.6%	16	100	21	48	21	753,149	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	20,172,447	0.3%	19	776	19	266	18	75,836	6
XVIII. 症状, 微候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	120,417,521	1.9%	14	28,440	8	6,666	7	18,064	19
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	170,156,638	2.8%	12	12,329	14	3,949	13	43,089	11
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	19,910,460	0.3%	20	4,485	17	881	17	22,600	17
ХХⅡ. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	645,649	0.0%	21	186	20	64	20	10,088	21
合計	6,181,513,590		$\overline{/}$	266,228		20,175		306,395	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。 そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

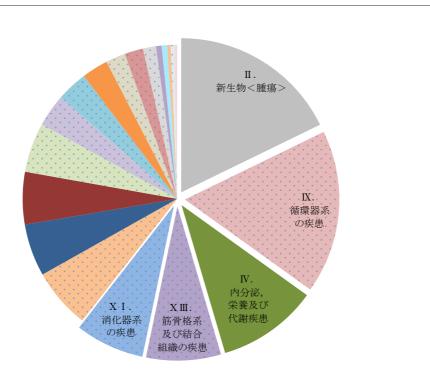
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、"男性"においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

疾病項目別医療費割合は、「新生物<腫瘍>」「循環器系の疾患」「内分泌、栄養及び代謝疾患」「筋骨格系及び結合組織の疾患」「消化器系の疾患」の医療費で高い割合を占める。

疾病項目別医療費割合



- ■Ⅱ. 新生物<腫瘍>
- ■IX. 循環器系の疾患
- ■IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
- ■XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患
- X I. 消化器系の疾患
- X IV. 腎尿路生殖器系の疾患
- VI. 神経系の疾患
- X. 呼吸器系の疾患
- V. 精神及び行動の障害
- VII. 眼及び付属器の疾患
- I. 感染症及び寄生虫症
- XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響
- ■XII.皮膚及び皮下組織の疾患
- X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
- ■Ⅲ. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
- X VI. 周産期に発生した病態
- X V. 妊娠, 分娩及び産じょく
- VIII. 耳及び乳様突起の疾患
- X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常
- X X I.健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用
- X X II. 特殊目的用コード
- ■分類外

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。 平成26年度から平成28年度に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費を算出し年 度別に示す。

年度別 大分類による疾病別医療費統計

※各年度毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

	***************************************			及母(C. 工匠0次/円) [27.708			
	平成26年度			平成27年度			平成28年度		
疾病分類(大分類)	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	217,244,721	3.1%	12	411,612,994	5.7%	8	354,305,609	5.1%	9
Ⅱ. 新生物<腫瘍>	897,749,765	12.9%	2	950,026,812	13.2%	2	1,007,373,829	14.6%	2
Ⅲ. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	98,872,201	1.4%	15	110,486,134	1.5%	15	90,538,916	1.3%	15
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	741,195,787	10.6%	3	745,294,225	10.3%	3	708,802,784	10.2%	3
V. 精神及び行動の障害	402,520,506	5.8%	8	401,951,533	5.6%	9	407,632,901	5.9%	8
VI. 神経系の疾患	277,178,621	4.0%	9	312,465,135	4.3%	10	300,118,671	4.3%	10
VII. 眼及び付属器の疾患	258,501,944	3.7%	10	269,814,192	3.7%	11	242,369,524	3.5%	11
VⅢ. 耳及び乳様突起の疾患	27,963,210	0.4%	18	35,629,538	0.5%	17	26,493,882	0.4%	18
IX. 循環器系の疾患	1,305,673,539	18.7%	1	1,283,322,403	17.8%	1	1,195,004,787	17.3%	1
X. 呼吸器系の疾患	477,158,630	6.9%	7	495,893,498	6.9%	6	438,577,845	6.3%	7
X I. 消化器系の疾患 ※	552,710,344	7.9%	4	581,258,497	8.1%	4	536,325,066	7.8%	4
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	165,006,072	2.4%	13	152,287,240	2.1%	13	153,196,340	2.2%	13
XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	534,201,472	7.7%	5	507,389,149	7.0%	5	504,184,252	7.3%	5
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	512,377,353	7.4%	6	492,598,782	6.8%	7	464,927,222	6.7%	6
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	39,055,879	0.6%	16	38,882,402	0.5%	16	36,090,610	0.5%	16
X VI. 周産期に発生した病態 ※	28,824,619	0.4%	17	25,225,734	0.3%	18	15,920,805	0.2%	20
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	20,621,691	0.3%	19	19,467,726	0.3%	20	24,791,748	0.4%	19
XVII. 症状, 微候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	147,884,972	2.1%	14	150,684,178	2.1%	14	139,210,020	2.0%	14
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	241,550,265	3.5%	11	205,109,073	2.8%	12	233,812,116	3.4%	12
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	13,851,209	0.2%	20	23,234,618	0.3%	19	33,201,018	0.5%	17
X X Ⅱ. 特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
分類外	5,062,660	0.1%	21	4,270,847	0.1%	21	4,262,665	0.1%	21
合計	6,965,205,460			7,216,904,710			6,917,140,610		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年3月~平成29年2月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

- ※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。 そのため他統計と一致しない。
- ※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
- ※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、"男性"においても医療費が発生する可能性がある。
- ※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

平成29年度から平成31年度に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費を算出し年 度別に示す。

年度別 大分類による疾病別医療費統計

※各年度毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

一人の一人の景による人的人							1 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1			
	平成29	年度		平成30年度			平成31年度			
疾病分類(大分類)		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比	順位
I. 感染症及び寄生虫症		221,608,913	3.4%	12	207,798,147	3.4%	12	201,377,822	3.3%	11
Ⅱ. 新生物<腫瘍>		980,288,887	14.9%	2	982,216,791	16.2%	2	1,098,515,656	17.8%	1
Ⅲ. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害		84,240,285	1.3%	15	68,396,495	1.1%	15	84,050,414	1.4%	15
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患		683,141,444	10.4%	3	641,156,568	10.6%	3	650,073,638	10.5%	3
V. 精神及び行動の障害		340,186,972	5.2%	9	336,582,795	5.6%	9	321,538,867	5.2%	9
VI. 神経系の疾患		353,907,952	5.4%	8	349,389,686	5.8%	7	339,550,608	5.5%	7
VII. 眼及び付属器の疾患		222,046,441	3.4%	11	217,787,257	3.6%	10	211,170,437	3.4%	10
VⅢ. 耳及び乳様突起の疾患		21,859,763	0.3%	18	22,070,498	0.4%	17	22,947,715	0.4%	18
IX. 循環器系の疾患		1,227,799,678	18.7%	1	1,069,789,270	17.7%	1	1,060,677,398	17.2%	2
X. 呼吸器系の疾患		399,720,503	6.1%	7	344,979,628	5.7%	8	339,540,400	5.5%	8
X I . 消化器系の疾患	*	490,703,745	7.5%	5	441,655,887	7.3%	5	447,912,089	7.2%	5
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患		130,655,531	2.0%	14	122,016,537	2.0%	14	127,064,376	2.1%	13
XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患		505,508,308	7.7%	4	476,048,459	7.9%	4	483,475,158	7.8%	4
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患		432,382,476	6.6%	6	362,268,521	6.0%	6	390,579,847	6.3%	6
XV. 妊娠, 分娩及び産じょく	*	36,074,974	0.5%	16	24,748,105	0.4%	16	35,585,311	0.6%	17
XVI. 周産期に発生した病態	*	5,270,210	0.1%	20	11,705,036	0.2%	20	36,151,139	0.6%	16
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常		15,794,058	0.2%	19	17,568,201	0.3%	19	20,172,447	0.3%	19
XWI. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの		143,840,446	2.2%	13	128,969,702	2.1%	13	120,417,521	1.9%	14
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響		256,234,411	3.9%	10	211,609,552	3.5%	11	170,156,638	2.8%	12
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用		27,815,511	0.4%	17	19,882,591	0.3%	18	19,910,460	0.3%	20
ХХⅡ. 特殊目的用コード		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
分類外		3,712,302	0.1%	21	469,354	0.0%	21	645,649	0.0%	21
合計		6,582,792,810			6,057,109,080			6,181,513,590		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

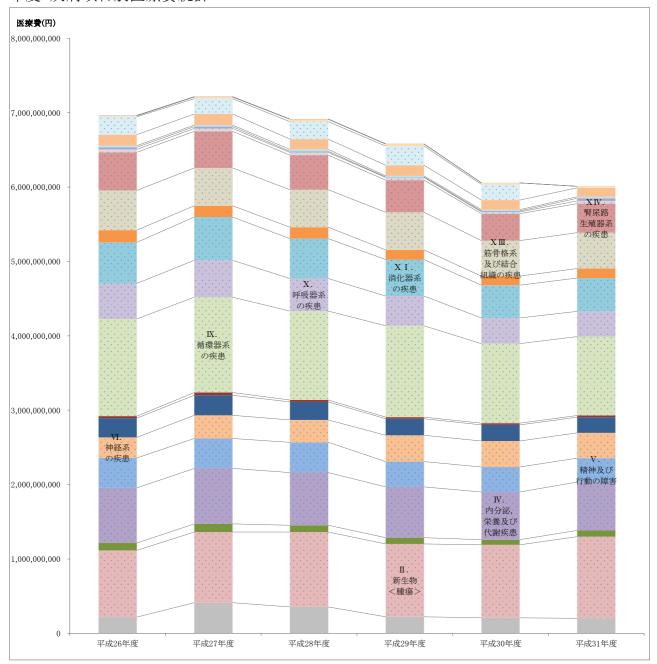
対象診療年月は平成29年3月~令和2年2月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

- ※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。 そのため他統計と一致しない。
- ※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
- ※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、"男性"においても医療費が発生する可能性がある。
- ※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

年度·疾病項目別医療費統計



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成26年3月~令和2年2月診療分(72カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。 そのため他統計と一致しない。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

②大分類による男女年齢別の医療費・患者数・診療日数上位3疾病

平成31年3月~令和2年2月(12カ月分)に発生しているレセプトより、大分類による 男女年齢別の医療費・患者数・診療日数の上位3疾病を以下に示す。

【男性】医療費上位3疾病

	男性					
年齢階層	1位	2位	3位			
0歳~9歳	X. 呼吸器系の疾患	XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	XVI. 周産期に発生した病態			
10歳~19歳	X. 呼吸器系の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響			
20歳~29歳	V. 精神及び行動の障害	VI. 神経系の疾患	X. 呼吸器系の疾患			
30歳~39歳	V. 精神及び行動の障害	VI. 神経系の疾患	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患			
40歳~49歳	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患			
50歳~59歳	IX. 循環器系の疾患	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>			
60歳~69歳	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患			
70歳~	IX. 循環器系の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患			
全年齢	IX. 循環器系の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患			

【男性】患者数上位3疾病

年齢階層	1位	2位	3位
0歳~9歳	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	I. 感染症及び寄生虫症
10歳~19歳	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	VII. 眼及び付属器の疾患
20歳~29歳	X. 呼吸器系の疾患	X I. 消化器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患
30歳~39歳	X. 呼吸器系の疾患	X I. 消化器系の疾患	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患
40歳~49歳	X I. 消化器系の疾患	X. 呼吸器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
50歳~59歳	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	X I. 消化器系の疾患	IX. 循環器系の疾患
60歳~69歳	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	XI. 消化器系の疾患
70歳~	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	XI. 消化器系の疾患
全年齢	X. 呼吸器系の疾患	X I. 消化器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患

【男性】診療日数上位3疾病

		男性	
年齢階層	1位	2位	3位
0歳~9歳	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	I. 感染症及び寄生虫症
10歳~19歳	X. 呼吸器系の疾患	XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患
20歳~29歳	XI. 消化器系の疾患	X. 呼吸器系の疾患	V. 精神及び行動の障害
30歳~39歳	VI. 神経系の疾患	X I. 消化器系の疾患	V. 精神及び行動の障害
40歳~49歳	XI. 消化器系の疾患	VI. 神経系の疾患	V. 精神及び行動の障害
50歳~59歳	IX. 循環器系の疾患	VI. 神経系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
60歳~69歳	IX. 循環器系の疾患	Ⅳ. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	XI. 消化器系の疾患
70歳~	IX. 循環器系の疾患	Ⅳ. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	XI. 消化器系の疾患
全年齢	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	XI. 消化器系の疾患

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

年齡基準日…令和2年2月29日時点。

※診療日数についてはレセプト毎に記載傷病すべてに該当レセプトの診療日数をそのまま設定し集計する。

【女性】医療費上位3疾病

		女性	
年齢階層	1位	2位	3位
0歳~9歳	XVI. 周産期に発生した病態	X. 呼吸器系の疾患	XI. 消化器系の疾患
10歳~19歳	X. 呼吸器系の疾患	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
20歳~29歳	XV. 妊娠,分娩及び産じょく	XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	X. 呼吸器系の疾患
30歳~39歳	XV. 妊娠,分娩及び産じょく	V. 精神及び行動の障害	X. 呼吸器系の疾患
40歳~49歳	V. 精神及び行動の障害	VI. 神経系の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>
50歳~59歳	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	IX. 循環器系の疾患
60歳~69歳	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	IX. 循環器系の疾患	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患
70歳~	IX. 循環器系の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患
全年齢	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	IX. 循環器系の疾患	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患

【女性】患者数上位3疾病

	女性					
年齢階層	1位	2位	3位			
0歳~9歳	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	I. 感染症及び寄生虫症			
10歳~19歳	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	VII. 眼及び付属器の疾患			
20歳~29歳	X. 呼吸器系の疾患	X I. 消化器系の疾患	I. 感染症及び寄生虫症			
30歳~39歳	X. 呼吸器系の疾患	X I. 消化器系の疾患	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患			
40歳~49歳	X. 呼吸器系の疾患	X I. 消化器系の疾患	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患			
50歳~59歳	X. 呼吸器系の疾患	XI. 消化器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患			
60歳~69歳	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	IX. 循環器系の疾患	XI. 消化器系の疾患			
70歳~	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	XI. 消化器系の疾患			
全年齢	X. 呼吸器系の疾患	X I. 消化器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患			

【女性】診療日数上位3疾病

	女性						
年齢階層	1位	2位	3位				
0歳~9歳	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	I. 感染症及び寄生虫症				
10歳~19歳	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	XⅢ. 症状, 後候及び異常臨床所見・異常検 査所見で他に分類されないもの				
20歳~29歳	X. 呼吸器系の疾患	XI. 消化器系の疾患	VI. 神経系の疾患				
30歳~39歳	XI. 消化器系の疾患	X. 呼吸器系の疾患	VI. 神経系の疾患				
40歳~49歳	X I. 消化器系の疾患	VI. 神経系の疾患	V. 精神及び行動の障害				
50歳~59歳	X I. 消化器系の疾患	X Ⅲ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患				
60歳~69歳	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	XI. 消化器系の疾患				
70歳~	IX. 循環器系の疾患	X Ⅲ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患				
全年齢	X I. 消化器系の疾患	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患				

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

年齡基準日…令和2年2月29日時点。

※診療日数についてはレセプト毎に記載傷病すべてに該当レセプトの診療日数をそのまま設定し集計する。

③中分類による疾病別医療費統計

平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示す。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0402	糖尿病	362,218,750	5.9%	7,405
2	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	358,514,450	5.8%	2,415
3	0903	その他の心疾患	299,849,960	4.9%	3,935
4	0901	高血圧性疾患	276,783,573	4.5%	6,998
5	1402	腎不全	250,395,415	4.1%	425
6	1113	その他の消化器系の疾患	247,419,225	4.0%	6,017
7	0606	その他の神経系の疾患	198,021,255	3.2%	4,062
8	0902	虚血性心疾患	172,334,671	2.8%	2,570
9	0403	脂質異常症	166,980,960	2.7%	5,459
10	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	163,944,590	2.7%	916

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位		疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402	糖尿病	362,218,750	7,405	36.7%
2	0901	高血圧性疾患	276,783,573	6,998	34.7%
3	1800	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	120,417,521	6,666	33.0%
4	1113	その他の消化器系の疾患	247,419,225	6,017	29.8%
5	1105	胃炎及び十二指腸炎	56,652,016	5,574	27.6%
6	0403	脂質異常症	166,980,960	5,459	27.1%
7	1006	アレルギー性鼻炎	55,304,062	5,154	25.5%
8	1202	皮膚炎及び湿疹	55,252,429	5,032	24.9%
9	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	34,598,699	4,968	24.6%
10	0703	屈折及び調節の障害	17,875,642	4,960	24.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの 医療費(円)
1	0209	白血病	46,653,856	38	1,227,733
2	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	32,081,580	27	1,188,207
3	1402	腎不全	250,395,415	425	589,166
4	0208	悪性リンパ腫	72,836,212	130	560,279
5	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	69,238,369	125	553,907
6	0904	くも膜下出血	17,082,840	57	299,699
7	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	22,226,833	80	277,835
8	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	89,351,469	399	223,939
9	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	143,321,290	723	198,231
10	0601	パーキンソン病	46,869,749	261	179,578

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

平成26年度から平成28年度に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

年度	順位		疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人) ※
平成26年度	1	0901	高血圧性疾患	435,718,786	6.3%	7,875
	2	0402	糖尿病	404,097,913	5.8%	7,867
	3	1402	腎不全	345,333,463	5.0%	471
	4	0903	その他の心疾患	301,492,877	4.3%	4,091
	5	1113	その他の消化器系の疾患	265,767,481	3.8%	6,767
	6	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	261,651,155	3.8%	2,808
	7	0902	虚血性心疾患	230,418,934	3.3%	3,055
	8	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	211,907,270	3.0%	653
2	9	0403	脂質異常症	207,858,596	3.0%	5,825
	10	0606	その他の神経系の疾患	160,795,497	2.3%	4,649
平成27年度	1	0901	高血圧性疾患	416,779,680	5.8%	7,834
	2	0402	糖尿病	399,765,505	5.5%	7,824
	3	1402	腎不全	335,530,429	4.6%	453
	4	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	323,884,655	4.5%	2,914
	5	0903	その他の心疾患	297,603,844	4.1%	4,079
	6	1113	その他の消化器系の疾患	281,724,457	3.9%	6,944
	7	0105	ウイルス性肝炎	239,716,665	3.3%	1,147
	8	0902	虚血性心疾患	217,355,807	3.0%	3,005
*	9	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	215,964,731	3.0%	698
•	10	0403	脂質異常症	208,563,947	2.9%	5,887
平成28年度	1	0402	糖尿病	388,423,565	5.6%	7,856
b	2	0901	高血圧性疾患	383,056,428	5.5%	7,766
	3	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	344,522,176	5.0%	2,777
	4	1402	腎不全	301,701,067	4.4%	471
•	5	0903	その他の心疾患	276,078,024	4.0%	4,036
•	6	1113	その他の消化器系の疾患	262,879,197	3.8%	6,852
ľ	7	0902	虚血性心疾患	223,685,437	3.2%	2,866
	8	0503	統合失調症,統合失調症型障害及び妄想性障害	211,729,641	3.1%	724
	9	0403	脂質異常症	194,114,004	2.8%	5,812
	10	0105	ウイルス性肝炎	190,782,452	2.8%	1,060

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成26年3月~平成29年2月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

平成29年度から平成31年度に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

年度			疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人) ※
平成29年度	1	0402	糖尿病	369,464,088	5.6%	7,568
	2	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	359,265,543	5.5%	2,530
	3	0901	高血圧性疾患	342,412,766	5.2%	7,436
	4	0903	その他の心疾患	310,843,791	4.7%	3,947
	5	1402	腎不全	286,467,034	4.4%	471
	6	1113	その他の消化器系の疾患	256,889,031	3.9%	6,308
	7	0902	虚血性心疾患	215,206,212	3.3%	2,779
	8	0606	その他の神経系の疾患	207,855,424	3.2%	4,317
	9	0403	脂質異常症	190,716,109	2.9%	5,549
	10	0503	統合失調症,統合失調症型障害及び妄想性障害	163,188,196	2.5%	728
平成30年度	1	0402	糖尿病	358,749,867	5.9%	7,483
	2	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	341,712,466	5.6%	2,451
· ×	3	0903	その他の心疾患	320,226,652	5.3%	4,071
	4	0901	高血圧性疾患	295,855,318	4.9%	7,098
	5	1113	その他の消化器系の疾患	228,633,056	3.8%	6,071
	6	1402	腎不全	227,564,018	3.8%	434
	7	0606	その他の神経系の疾患	214,666,907	3.5%	4,261
	8	0403	脂質異常症	170,317,905	2.8%	5,441
	9	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	160,109,660	2.6%	681
	10	0902	虚血性心疾患	153,483,820	2.5%	2,657
平成31年度	1	0402	糖尿病	362,218,750	5.9%	7,405
	2	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	358,514,450	5.8%	2,415
	3	0903	その他の心疾患	299,849,960	4.9%	3,935
	4	0901	高血圧性疾患	276,783,573	4.5%	6,998
	5	1402	腎不全	250,395,415	4.1%	425
	6	1113	その他の消化器系の疾患	247,419,225	4.0%	6,017
	7	0606	その他の神経系の疾患	198,021,255	3.2%	4,062
	8	0902	虚血性心疾患	172,334,671	2.8%	2,570
	9	0403	脂質異常症	166,980,960	2.7%	5,459
	10	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	163,944,590	2.7%	916

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成29年3月~令和2年2月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

年度別 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

年度	順位		疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
平成26年度	1	1800	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	147,884,972	7,968	30.3%
	2	0901	高血圧性疾患	435,718,786	7,875	29.9%
	3	0402	糖尿病	404,097,913	7,867	29.9%
	4	1105	胃炎及び十二指腸炎	71,736,328	6,825	25.9%
	5	1113	その他の消化器系の疾患	265,767,481	6,767	25.7%
	6	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	54,831,692	6,585	25.0%
	7	1202	皮膚炎及び湿疹	78,822,432	6,567	24.9%
	8	1006	アレルギー性鼻炎	71,372,903	6,479	24.6%
	9	1003	その他の急性上気道感染症	40,339,487	6,448	24.5%
	10 0703 屈折及び調節の障害		屈折及び調節の障害	24,277,620	6,110	23.2%
平成27年度	1	1800	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	150,684,178	8,184	31.7%
	2	0901	高血圧性疾患	416,779,680	7,834	30.4%
	3	0402	糖尿病	399,765,505	7,824	30.3%
	4	1006	アレルギー性鼻炎	75,210,541	7,169	27.8%
	5	1105	胃炎及び十二指腸炎	76,286,548	7,047	27.3%
	6	1113	その他の消化器系の疾患	281,724,457	6,944	26.9%
	7	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	57,524,557	6,677	25.9%
	8	1202	皮膚炎及び湿疹	71,092,088	6,391	24.8%
	9	1003	その他の急性上気道感染症	36,019,087	6,258	24.3%
	10	0703	屈折及び調節の障害	23,588,262	5,999	23.3%
平成28年度	1	1800	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	139,210,020	7,872	32.0%
	2	0402	糖尿病	388,423,565	7,856	32.0%
	3	0901	高血圧性疾患	383,056,428	7,766	31.6%
	4	1006	アレルギー性鼻炎	68,746,669	6,921	28.1%
	5	1113	その他の消化器系の疾患	262,879,197	6,852	27.9%
	6	1105	胃炎及び十二指腸炎	68,153,789	6,541	26.6%
	7	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	47,056,580	6,212	25.3%
	8	1202	皮膚炎及び湿疹	63,686,593	5,901	24.0%
	9	1003	その他の急性上気道感染症	33,006,997	5,844	23.8%
	10	0403	脂質異常症	194,114,004	5,812	23.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成26年3月~平成29年2月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

年度別 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

年度			疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
平成29年度	1	0402	糖尿病	369,464,088	7,568	33.8%
	2	0901	高血圧性疾患	342,412,766	7,436	33.2%
	3	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	143,840,446	7,100	31.7%
	4	1113	その他の消化器系の疾患	256,889,031	6,308	28.1%
	5	1105	胃炎及び十二指腸炎	61,695,045	6,094	27.2%
	6	1006	アレルギー性鼻炎	57,824,875	6,051	27.0%
	7	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	37,334,598	5,635	25.1%
	8	0403	脂質異常症	190,716,109	5,549	24.8%
	9	1202	皮膚炎及び湿疹	57,457,618	5,333	23.8%
	10	0703	屈折及び調節の障害	20,154,276	5,248	23.4%
平成30年度	1	0402	糖尿病	358,749,867	7,483	35.7%
	2	0901	高血圧性疾患	295,855,318	7,098	33.9%
	3	1800	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	128,969,702	6,844	32.7%
	4	1113	その他の消化器系の疾患	228,633,056	6,071	29.0%
	5	1105	胃炎及び十二指腸炎	58,817,653	5,838	27.9%
	6	1006	アレルギー性鼻炎	56,632,679	5,446	26.0%
	7	0403	脂質異常症	170,317,905	5,441	26.0%
	8	1202	皮膚炎及び湿疹	53,595,672	5,180	24.7%
	9	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	34,223,655	5,142	24.6%
	10	0703	屈折及び調節の障害	18,730,843	5,073	24.2%
平成31年度	1	0402	糖尿病	362,218,750	7,405	36.7%
	2	0901	高血圧性疾患	276,783,573	6,998	34.7%
	3	1800	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	120,417,521	6,666	33.0%
	4	1113	その他の消化器系の疾患	247,419,225	6,017	29.8%
	5	1105	胃炎及び十二指腸炎	56,652,016	5,574	27.6%
	6	0403	脂質異常症	166,980,960	5,459	27.1%
	7	1006	アレルギー性鼻炎	55,304,062	5,154	25.5%
	8	1202	皮膚炎及び湿疹	55,252,429	5,032	24.9%
	9	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	34,598,699	4,968	24.6%
	10	0703	屈折及び調節の障害	17,875,642	4,960	24.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成29年3月~令和2年2月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

年度別 中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

年度	順位		疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円)
2		0209	白血病	73,511,181	45	1,633,582
	2	1402	腎不全	345,333,463	471	733,192
	3	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	78,295,486	162	483,305
	4	0503	統合失調症,統合失調症型障害及び妄想性障害	211,907,270	653	324,513
	5	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	102,004,886	324	314,830
	6	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	21,859,735	70	312,282
	7	0904	くも膜下出血	17,109,619	58	294,993
	8 0		悪性リンパ腫	29,707,995	107	277,645
	9	0601	パーキンソン病	39,788,560	214	185,928
	10	0507	その他の精神及び行動の障害	50,462,113	311	162,258
平成27年度	1	0209	白血病	84,648,864	53	1,597,148
	2	1402	腎不全	335,530,429	453	740,685
	3	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	69,339,893	154	450,259
	4	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	37,395,066	96	389,532
	5	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	215,964,731	698	309,405
	6	0501	血管性及び詳細不明の認知症	8,155,457	27	302,054
	7	0208	悪性リンパ腫	31,638,713	114	277,533
	8	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	18,666,067	75	248,881
	9	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	76,945,518	355	216,748
	10	0105	ウイルス性肝炎	239,716,665	1,147	208,994
平成28年度	1	0209	白血病	69,629,070	41	1,698,270
	2	1402	腎不全	301,701,067	471	640,554
	3	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	69,680,058	150	464,534
	4	0904	くも膜下出血	25,388,519	55	461,609
	5	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	29,532,929	82	360,158
	6	0208	悪性リンパ腫	40,736,442	131	310,965
	7	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	211,729,641	724	292,444
	8	0105	ウイルス性肝炎	190,782,452	1,060	179,983
	9	1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	27,831,382	171	162,757
	10	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	9,089,323	58	156,712

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成26年3月~平成29年2月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

年度別 中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

年度	3		疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円)
平成29年度	1	0209	白血病	39,545,258	49	807,046
	2	1402	腎不全	286,467,034	471	608,210
	3	0904	くも膜下出血	39,065,777	70	558,083
	4	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	74,514,302	147	506,900
	5	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	22,898,834	71	322,519
	6	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	163,188,196	728	224,160
	7	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	4,385,499	20	219,275
	8	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	63,815,737	348	183,379
	9	0601	パーキンソン病	39,489,120	236	167,327
	10	0208	悪性リンパ腫	19,150,114	125	153,201
平成30年度	1	0209	白血病	53,720,247	36	1,492,229
	2	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	72,301,528	136	531,629
econ econ	3	1402	腎不全	227,564,018	434	524,341
	4	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	7,356,766	18	408,709
	5	1502	妊娠高血圧症候群	1,531,989	5	306,398
	6	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	21,617,671	82	263,630
	7	0208	悪性リンパ腫	31,086,299	120	259,052
	8	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	160,109,660	681	235,110
	9	0904	くも膜下出血	12,058,597	57	211,554
	10	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	73,128,514	357	204,842
平成31年度	1	0209	白血病	46,653,856	38	1,227,733
	2	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	32,081,580	27	1,188,207
	3	1402	腎不全	250,395,415	425	589,166
	4	0208	悪性リンパ腫	72,836,212	130	560,279
	5	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	69,238,369	125	553,90
	6	0904	くも膜下出血	17,082,840	57	299,699
	7	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	22,226,833	80	277,83
	8	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	89,351,469	399	223,939
	9	0503	統合失調症,統合失調症型障害及び妄想性障害	143,321,290	723	198,231
	10	0601	パーキンソン病	46,869,749	261	179,578

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成29年3月~令和2年2月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	6,181,513,590	266,228	20,175

	疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I.感	染症及び寄生虫症	201,377,822	3.3%		23,380	8.8%		6,013	29.8%		33,490	
0101	腸管感染症	11,780,052	0.2%	85	5,208	2.0%	48	1,947	9.7%	33	6,050	110
0102	結核	5,628,842	0.1%	96	640	0.2%	97	248	1.2%	90	22,697	68
0103	主として性的伝播様式をとる 感染症	2,624,976	0.0%	105	1,036	0.4%	84	472	2.3%	74	5,561	111
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴う ウイルス性疾患	19,213,187	0.3%	70	3,476	1.3%	61	1,131	5.6%	51	16,988	83
0105	ウイルス性肝炎	76,745,316	1.2%	23	3,861	1.5%	58	895	4.4%	59	85,749	24
0106	その他のウイルス性疾患	25,594,031	0.4%	60	708	0.3%	92	356	1.8%	82	71,893	30
0107	真菌症	25,275,602	0.4%	62	5,941	2.2%	41	1,331	6.6%	43	18,990	76
0108	感染症及び寄生虫症の 続発・後遺症	2,045,886	0.0%	108	83	0.0%	114	16	0.1%	117	127,868	16
0109	その他の感染症及び寄生虫症	32,469,930	0.5%	53	5,220	2.0%	47	1,784	8.8%	36	18,201	77
Ⅱ.新	生物<腫瘍>	1,098,515,656	17.8%		23,690	8.9%		6,058	30.0%		181,333	
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	69,854,092	1.1%	29	3,220	1.2%	62	1,227	6.1%	46	56,931	37
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	88,532,545	1.4%	19	2,886	1.1%	66	1,037	5.1%	55	85,374	25
0203	直腸S状結腸移行部及び 直腸の悪性新生物<腫瘍>	69,238,369	1.1%	30	846	0.3%	88	125	0.6%	99	553,907	5
0204	肝及び肝内胆管の 悪性新生物<腫瘍>	25,926,996	0.4%	58	1,921	0.7%	77	653	3.2%	66	39,704	48
0205	気管, 気管支及び肺の 悪性新生物<腫瘍>	163,944,590	2.7%	10	2,613	1.0%	68	916	4.5%	57	178,979	11
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	89,351,469	1.4%	18	1,956	0.7%	74	399	2.0%	80	223,939	8
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	20,754,042	0.3%	66	888	0.3%	87	429	2.1%	77	48,378	43
0208	悪性リンパ腫	72,836,212	1.2%	26	567	0.2%	99	130	0.6%	97	560,279	4
0209	白血病	46,653,856	0.8%	45	273	0.1%	106	38	0.2%	113	1,227,733	1
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	358,514,450	5.8%	2	9,079	3.4%	33	2,415	12.0%	28	148,453	13
0211	良性新生物<腫瘍>及び その他の新生物<腫瘍>	92,909,035	1.5%	17	6,879	2.6%	39	2,817	14.0%	24	32,982	53
	液及び造血器の疾患 免疫機構の障害	84,050,414	1.4%		8,342	3.1%		2,111	10.5%		39,815	
0301	貧血	27,651,905	0.4%	56	5,479	2.1%	42	1,310	6.5%	45	21,108	70
0302	その他の血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	56,398,509	0.9%	36	3,200	1.2%	63	1,081	5.4%	52	52,173	40
IV. 内:	分泌, 栄養及び代謝疾患	650,073,638	10.5%		96,188	36.1%		10,178	50.4%		63,870	
0401	甲状腺障害	36,208,365	0.6%	49	8,005	3.0%	36	1,993	9.9%	29	18,168	78
0402	糖尿病	362,218,750	5.9%	1	50,787	19.1%	3	7,405	36.7%	1	48,915	41
0403	脂質異常症	166,980,960	2.7%	9	59,112	22.2%	2	5,459	27.1%	6	30,588	56
0404	その他の内分泌, 栄養及び 代謝疾患	84,665,563	1.4%	20	21,619	8.1%	12	3,269	16.2%	20	25,900	62
V. 精	神及び行動の障害	321,538,867	5.2%		25,814	9.7%		2,604	12.9%		123,479	
0501	血管性及び詳細不明の認知症	5,285,049	0.1%	97	133	0.0%	112	59	0.3%	108	89,577	23
0502	精神作用物質使用による 精神及び行動の障害	7,178,339	0.1%	91	598	0.2%	98	88	0.4%	102	81,572	26
0503	統合失調症,統合失調症型障害 及び妄想性障害	143,321,290	2.3%	11	9,018	3.4%	34	723	3.6%	65	198,231	9

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網

表示する。

	総合計	医療費総	計(円)		レセプト	件数 ※		患者	数 ※			
		(6,181,513	3,590		266	5,228					
	疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	76,779,803	1.2%	22	12,261	4.6%	23	1,041	5.2%	54	73,756	29
0505	神経症性障害,ストレス関連障害 及び身体表現性障害	40,480,966	0.7%	47	14,318	5.4%	19	1,633	8.1%	38	24,789	64
0506	知的障害<精神遅滞>	2,738,555	0.0%	104	695	0.3%	94	86	0.4%	103	31,844	54
0507	その他の精神及び行動の障害	45,754,865	0.7%	46	2,317	0.9%	71	325	1.6%	84	140,784	15
VI. 神	経系の疾患	339,550,608	5.5%		44,431	16.7%		4,511	22.4%		75,272	
0601	パーキンソン病	46,869,749	0.8%	44	3,126	1.2%	65	261	1.3%	88	179,578	10
0602	アルツハイマー病	14,074,800	0.2%	81	971	0.4%	86	129	0.6%	98	109,107	18
0603	てんかん	56,855,312	0.9%	34	5,460	2.1%	44	534	2.6%	71	106,471	19
0604	脳性麻痺及びその他の 麻痺性症候群	22,226,833	0.4%	64	464	0.2%	101	80	0.4%	105	277,835	7
0605	自律神経系の障害	1,502,659	0.0%	112	1,553	0.6%	81	160	0.8%	95	9,392	103
0606	その他の神経系の疾患	198,021,255	3.2%	7	38,929	14.6%	5	4,062	20.1%	13	48,750	42
VII. 眼	及び付属器の疾患	211,170,437	3.4%		22,615	8.5%		6,489	32.2%		32,543	
0701	結膜炎	18,908,379	0.3%	71	9,380	3.5%	32	3,092	15.3%	22	6,115	109
0702	白内障	48,650,304	0.8%	43	7,937	3.0%	37	1,820	9.0%	35	26,731	61
0703	屈折及び調節の障害	17,875,642	0.3%	74	16,013	6.0%	14	4,960	24.6%	10	3,604	117
0704	その他の眼及び付属器の疾患	125,736,112	2.0%	12	15,633	5.9%	15	4,272	21.2%	11	29,433	58
Ⅷ. 耳	及び乳様突起の疾患	22,947,715	0.4%		5,056	1.9%		1,503	7.4%		15,268	
0801	外耳炎	1,058,526	0.0%	114	691	0.3%	95	276	1.4%	87	3,835	115
0802	その他の外耳疾患	1,536,059	0.0%	110	708	0.3%	92	384	1.9%	81	4,000	114
0803	中耳炎	5,961,151	0.1%	95	1,927	0.7%	76	583	2.9%	68	10,225	99
0804	その他の中耳及び 乳様突起の疾患	2,436,508	0.0%	107	472	0.2%	100	250	1.2%	89	9,746	102
0805	メニエール病	3,469,750	0.1%	102	1,017	0.4%	85	193	1.0%	94	17,978	80
0806	その他の内耳疾患	1,730,699	0.0%	109	267	0.1%	107	82	0.4%	104	21,106	71
0807	その他の耳疾患	6,755,022	0.1%	92	1,565	0.6%	80	471	2.3%	75	14,342	90
IX. 循	環器系の疾患	1,060,677,398	17.2%		99,578	37.4%		9,207	45.6%		115,203	
0901	高血圧性疾患	276,783,573	4.5%	4	84,480	31.7%	1	6,998	34.7%	2	39,552	50
0902	虚血性心疾患	172,334,671	2.8%	8	20,587	7.7%	13	2,570	12.7%	26	67,056	32
0903	その他の心疾患	299,849,960	4.9%	3	25,234	9.5%	8	3,935	19.5%	15	76,201	27
0904	くも膜下出血	17,082,840	0.3%	76	227	0.1%	109	57	0.3%	109	299,699	6
0905	脳内出血	29,862,139	0.5%	55	806	0.3%	89	286	1.4%	86	104,413	20
0906	脳梗塞	118,913,883	1.9%	14	7,565	2.8%	38	1,224	6.1%	47	97,152	22
0907	脳動脈硬化(症)	35,883	0.0%	120	12	0.0%	120	4	0.0%	120	8,971	104
0908	その他の脳血管疾患	54,195,877	0.9%	39	5,369	2.0%	45	1,606	8.0%	39	33,746	52
0909	動脈硬化(症)	17,516,840	0.3%	75	6,640	2.5%	40	1,413	7.0%	41	12,397	91
0911	低血圧(症)	933,025	0.0%	115	276	0.1%	105	49	0.2%	111	19,041	75
0912	その他の循環器系の疾患	73,168,707	1.2%	24	4,664	1.8%	52	1,059	5.2%	53	69,092	31
X. 呼	吸器系の疾患	339,540,400	5.5%		55,819	21.0%		10,965	54.3%		30,966	
	各は自囲転水にいてくませい	F 001 000		1		1.50	F.C.	1.050			0.555	

4,113

10,627

11,603

1.5% 56

4.0% 27

4.4%26 1,952

4,161

4,048

9.7% 31

20.6% 12

20.1% 14 2,577

3,819

5,095

120

116

113

98

77

0.1%

0.3%

0.3% 67

5,031,068

15,888,806

20,626,390

1001 急性鼻咽頭炎[かぜ] <感冒>

1002

1003

急性咽頭炎及び急性扁桃炎

その他の急性上気道感染症

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	6,181,513,590	266,228	20,175

	疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
1004	肺炎	25,604,747	0.4%	59	2,611	1.0%	69	1,153	5.7%	49	22,207	69
1005	急性気管支炎及び 急性細気管支炎	34,598,699	0.6%	51	14,970	5.6%	16	4,968	24.6%	9	6,964	108
1006	アレルギー性鼻炎	55,304,062	0.9%	37	21,965	8.3%	10	5,154	25.5%	7	10,730	97
1007	慢性副鼻腔炎	14,316,853	0.2%	80	5,041	1.9%	50	1,322	6.6%	44	10,830	96
1008	急性又は慢性と明示されない 気管支炎	7,438,502	0.1%	90	3,978	1.5%	57	1,344	6.7%	42	5,535	112
1009	慢性閉塞性肺疾患	26,930,271	0.4%	57	5,132	1.9%	49	863	4.3%	61	31,205	55
1010	喘息	62,179,258	1.0%	31	13,583	5.1%	21	2,416	12.0%	27	25,736	63
1011	その他の呼吸器系の疾患	71,621,744	1.2%	28	9,725	3.7%	30	3,525	17.5%	17	20,318	72
X I.	消化器系の疾患	447,912,089	7.2%		77,477	29.1%		10,402	51.6%		43,060	
1101	う蝕 ※	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1102	歯肉炎及び歯周疾患	38,765	0.0%	119	23	0.0%	119	14	0.1%	118	2,769	119
1103	その他の歯及び歯の支持組織の 障害	87,124	0.0%	118	73	0.0%	115	29	0.1%	115	3,004	118
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	37,964,066	0.6%	48	14,397	5.4%	18	1,975	9.8%	30	19,222	73
1105	胃炎及び十二指腸炎	56,652,016	0.9%	35	28,789	10.8%	6	5,574	27.6%	5	10,164	100
1106	痔核	6,425,838	0.1%	94	2,139	0.8%	73	436	2.2%	76	14,738	88
1107	アルコール性肝疾患	4,820,453	0.1%	99	458	0.2%	102	79	0.4%	106	61,018	34
1108	慢性肝炎 (アルコール性のものを除く)	4,501,016	0.1%	100	1,839	0.7%	79	292	1.4%	85	15,414	86
1109	肝硬変 (アルコール性のものを除く)	12,562,042	0.2%	84	1,070	0.4%	83	230	1.1%	91	54,618	38
1110	その他の肝疾患	23,408,624	0.4%	63	9,709	3.6%	31	2,785	13.8%	25	8,405	105
1111	胆石症及び胆のう炎	35,224,895	0.6%	50	3,183	1.2%	64	797	4.0%	63	44,197	45
1112	膵疾患	18,808,025	0.3%	72	1,334	0.5%	82	416	2.1%	79	45,212	44
1113	その他の消化器系の疾患	247,419,225	4.0%	6	47,142	17.7%	4	6,017	29.8%	4	41,120	47
ΧП.	皮膚及び皮下組織の疾患	127,064,376	2.1%		31,103	11.7%		6,795	33.7%		18,700	
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	14,042,506	0.2%	82	4,677	1.8%	51	1,736	8.6%	37	8,089	106
1202	皮膚炎及び湿疹	55,252,429	0.9%	38	21,820	8.2%	11	5,032	24.9%	8	10,980	95
1203	その他の皮膚及び 皮下組織の疾患	57,769,441	0.9%	33	14,472	5.4%	17	3,400	16.9%	18	16,991	82
ХШ.	筋骨格系及び結合組織の疾患	483,475,158	7.8%		62,176	23.4%		8,165	40.5%		59,213	
1301	炎症性多発性関節障害	95,744,928	1.5%	16	10,541	4.0%	29	1,456	7.2%	40	65,759	33
1302	関節症	100,460,316	1.6%	15	12,698	4.8%	22	1,845	9.1%	34	54,450	39
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	57,823,266	0.9%	32	11,929	4.5%	24	1,949	9.7%	32	29,668	57
1304	椎間板障害	21,525,012	0.3%	65	3,579	1.3%	59	779	3.9%	64	27,632	59
1305	頚腕症候群	8,786,853	0.1%	88	5,467	2.1%	43	843	4.2%	62	10,423	98
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	53,150,436	0.9%	41	22,751	8.5%	9	3,687	18.3%	16	14,416	89
1307	その他の脊柱障害	10,939,967	0.2%	87	2,401	0.9%	70	570	2.8%	69	19,193	74
1308	肩の傷害<損傷>	11,110,793	0.2%	86	5,255	2.0%	46	906	4.5%	58	12,264	93
1309	骨の密度及び構造の障害	51,763,601	0.8%	42	10,551	4.0%	28	1,191	5.9%	48	43,462	46
1310	その他の筋骨格系及び 結合組織の疾患	72,169,986	1.2%	27	14,060	5.3%	20	3,021	15.0%	23	23,889	66

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	6,181,513,590	266,228	20,175

	疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
XIV.	腎尿路生殖器系の疾患	390,579,847	6.3%		24,751	9.3%		5,384	26.7%		72,545	
1401	糸球体疾患及び 腎尿細管間質性疾患	18,380,718	0.3%	73	1,949	0.7%	75	504	2.5%	72	36,470	51
1402	腎不全	250,395,415	4.1%	5	4,352	1.6%	55	425	2.1%	78	589,166	3
1403	尿路結石症	14,426,859	0.2%	79	1,844	0.7%	78	538	2.7%	70	26,816	60
1404	その他の腎尿路系の疾患	53,498,319	0.9%	40	11,810	4.4%	25	3,376	16.7%	19	15,847	84
1405	前立腺肥大(症)	25,279,244	0.4%	61	4,376	1.6%	54	638	3.2%	67	39,623	49
1406	その他の男性生殖器の疾患	1,503,544	0.0%	111	277	0.1%	104	97	0.5%	101	15,500	85
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	7,489,877	0.1%	89	2,255	0.8%	72	498	2.5%	73	15,040	87
1408	乳房及びその他の女性生殖器の 疾患	19,605,871	0.3%	69	2,769	1.0%	67	1,151	5.7%	50	17,034	81
XV.	妊娠, 分娩及び産じょく	35,585,311	0.6%		806	0.3%		244	1.2%		145,841	
1501	流産	3,052,573	0.0%	103	86	0.0%	113	52	0.3%	110	58,703	36
1502	妊娠高血圧症候群	4,557	0.0%	121	3	0.0%	121	3	0.0%	121	1,519	121
1503	単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1504	その他の妊娠、分娩及び産じょく	32,528,181	0.5%	52	745	0.3%	90	217	1.1%	93	149,899	12
XVI.	周産期に発生した病態	36,151,139	0.6%		100	0.0%		48	0.2%		753,149	
1601	妊娠及び胎児発育に 関連する障害	32,081,580	0.5%	54	60	0.0%	116	27	0.1%	116	1,188,207	2
1602	その他の周産期に発生した病態	4,069,559	0.1%	101	53	0.0%	117	33	0.2%	114	123,320	17
XVII.	先天奇形, 変形及び染色体異常	20,172,447	0.3%		776	0.3%		266	1.3%		75,836	
1701	心臓の先天奇形	6,493,872	0.1%	93	151	0.1%	111	46	0.2%	112	141,171	14
1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	13,678,575	0.2%	83	641	0.2%	96	226	1.1%	92	60,525	35
	症状, 徴候及び異常臨床 異常検査所見で他に分類 いもの	120,417,521	1.9%		28,440	10.7%		6,666	33.0%		18,064	
1800	症状, 徴候及び異常臨床 所見・異常検査所見で他に分類 されないもの	120,417,521	1.9%	13	28,440	10.7%	7	6,666	33.0%	3	18,064	79
XIX.	損傷,中毒及びその他の外因の影響	170,156,638	2.8%		12,329	4.6%		3,949	19.6%		43,089	
1901	骨折	73,055,940	1.2%	25	3,546	1.3%	60	961	4.8%	56	76,021	28
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	15,836,630	0.3%	78	329	0.1%	103	158	0.8%	96	100,232	21
1903	熱傷及び腐食	1,319,596	0.0%	113	264	0.1%	108	107	0.5%	100	12,333	92
1904	中毒	2,495,335	0.0%	106	709	0.3%	91	343	1.7%	83	7,275	107
1905	その他の損傷及びその他の外因 の影響	77,449,137	1.3%	21	8,667	3.3%	35	3,131	15.5%	21	24,736	65
	. 健康状態に影響を及ぼす要因 健サービスの利用	19,910,460	0.3%		4,485	1.7%		881	4.4%		22,600	
2101	検査及び診査のための保健 サービスの利用者	163,627	0.0%	117	43	0.0%	118	14	0.1%	118	11,688	94
2102	予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103	正常妊娠及び産じょくの管理 並びに家族計画	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2104	歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 表示する。 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※	
	6,181,513,590	266,228	20,175	

	疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
	特定の処置(歯の補てつを 除く)及び保健ケアのための保健 サービスの利用者	1,626	0.0%	122	2	0.0%	122	2	0.0%	122	813	122
2106	その他の理由による保健サービス の利用者	19,745,207	0.3%	68	4,440	1.7%	53	868	4.3%	60	22,748	67
ХХII	. 特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外		645,649	0.0%		186	0.1%		64	0.3%		10,088	
9999	分類外	645,649	0.0%	116	186	0.1%	110	64	0.3%	107	10,088	101

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。 そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。 ※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

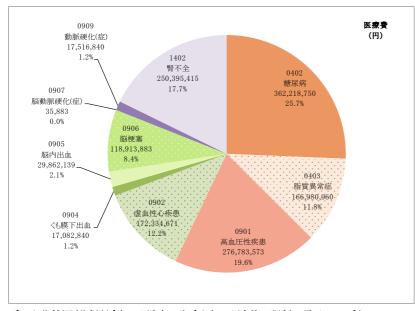
(4)生活習慣病に係る医療費

平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、生活習慣病の 医療費及び患者数を算出した。糖尿病医療費は3億6,222万円、脂質異常症医療費は1億6,698 万円、高血圧性疾患医療費は2億7,678万円となっている。

生活習慣病医療費

疾	病分類(中分類)	医療費(円)	構成比(%)	順位	患者数(人)	有病率(%) ※	順位	患者一人当たりの 医療費(円)	順位		
0402	糖尿病	362,218,750	25.7%	1	7,405	28.1%	1	48,915	6		
0403	脂質異常症	166,980,960	11.8%	5	5,459	20.7%	3	30,588	8		
0901	高血圧性疾患	276,783,573	19.6%	2	6,998	26.5%	2	39,552	7		
0902	虚血性心疾患	172,334,671	12.2%	4	2,570	9.7%	4	67,056	5		
0904	くも膜下出血	17,082,840	1.2%	9	57	0.2%	9	299,699	2		
0905	脳内出血	29,862,139	2.1%	7	286	1.1%	8	104,413	3		
0906	脳梗塞	118,913,883	8.4%	6	1,224	4.6%	6	97,152	4		
0907	脳動脈硬化(症)	35,883	0.0%	10	4	0.0%	10	8,971	10		
0909	動脈硬化(症)	17,516,840	1.2%	8	1,413	5.4%	5	12,397	9		
1402	腎不全	250,395,415	17.7%	3	425	1.6%	7	589,166	1		
	合計	1,412,124,954			10,751	40.8%		131,348			

生活習慣病医療費構成



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※有病率…被保険者数に占める患者数の割合。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第3版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

また、平成26年度から平成31年度における、生活習慣病医療費を年度別に示す。平成31年度を平成26年度と比較すると、糖尿病医療費3億6,222万円は、平成26年度4億410万円より4,188万円減少している。また、脂質異常症医療費1億6,698万円は、平成26年度2億786万円より4,088万円減少している。高血圧性疾患医療費2億7,678万円は、平成26年度4億3,572万円より1億5,894万円減少している。

年度別 生活習慣病医療費

	左宁八拓(九八粨)	平成26年度	:	平成27年度	:	平成28年度	:
	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%)	医療費(円) ※	構成比(%)	医療費(円) ※	構成比(%)
0402	糖尿病	404,097,913	21.8%	399,647,803	22.2%	388,422,757	23.0%
0403	脂質異常症	207,858,596	11.2%	208,563,947	11.6%	194,114,004	11.5%
0901	高血圧性疾患	435,718,786	23.6%	416,779,680	23.1%	383,034,695	22.7%
0902	虚血性心疾患	230,418,934	12.5%	217,355,807	12.1%	223,675,062	13.2%
0904	くも膜下出血	17,109,619	0.9%	9,965,682	0.6%	25,388,519	1.5%
0905	脳内出血	47,648,135	2.6%	48,438,487	2.7%	26,949,880	1.6%
0906	脳梗塞	126,193,381	6.8%	138,321,510	7.7%	122,228,825	7.2%
0907	脳動脈硬化(症)	42,465	0.0%	35,594	0.0%	56,769	0.0%
0909	動脈硬化(症)	35,171,146	1.9%	28,368,795	1.6%	23,793,425	1.4%
1402	腎不全	345,333,463	18.7%	335,530,429	18.6%	301,701,067	17.9%
	合計	1,849,592,438		1,803,007,734		1,689,365,003	

	在宁八拓(中八粨)	平成29年度	:	平成30年度	:	平成31年度		
	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%)	医療費(円) ※	構成比(%)	医療費(円) ※	構成比(%)	
0402	糖尿病	369,464,088	22.8%	358,749,867	26.1%	362,218,750	25.7%	
0403	脂質異常症	190,716,109	11.8%	170,317,905	12.4%	166,980,960	11.8%	
0901	高血圧性疾患	342,412,766	21.1%	295,855,318	21.5%	276,783,573	19.6%	
0902	虚血性心疾患	215,206,212	13.3%	153,483,820	11.2%	172,334,671	12.2%	
0904	くも膜下出血	39,065,777	2.4%	12,058,597	0.9%	17,082,840	1.2%	
0905	脳内出血	36,816,031	2.3%	29,957,552	2.2%	29,862,139	2.1%	
0906	脳梗塞	120,104,231	7.4%	110,624,340	8.0%	118,913,883	8.4%	
0907	脳動脈硬化(症)	46,052	0.0%	45,255	0.0%	35,883	0.0%	
0909	動脈硬化(症)	22,770,678	1.4%	16,596,626	1.2%	17,516,840	1.2%	
1402	腎不全	286,467,034	17.6%	227,564,018	16.5%	250,395,415	17.7%	
$\overline{}$	合計	1,623,068,978		1,375,253,298		1,412,124,954		

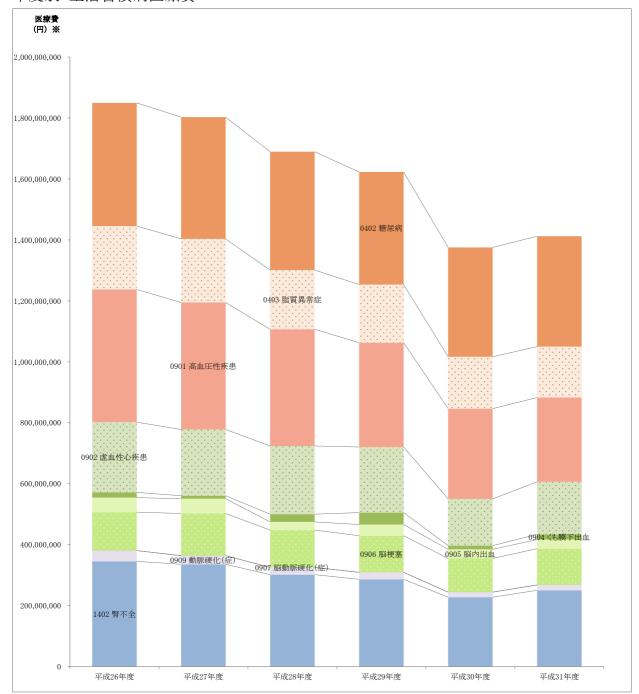
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成26年3月~令和2年2月診療分(72カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第3版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成26年3月~令和2年2月診療分(72カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第3版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合 集計できない。そのため他統計と一致しない。

第2章 第2期データヘルス計画

1. 計画策定について

(1)背景

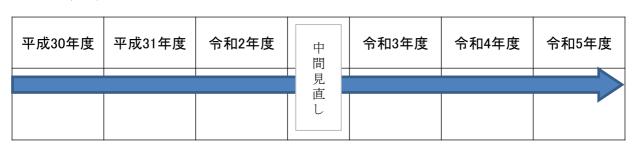
「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データへルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市区町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」としている。データへルス計画には健康・医療情報(健康診査の結果やレセプト等から得られる情報)を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととある。また、これら分析結果を踏まえ、直ちに取り組むべき健康課題、中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこととしている。実施計画に基づく事業の実施に当たっては、費用対効果を考慮することや、レセプトを活用し、生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できる者を明確にし、優先順位をつけて行うこととある。

また、「日本再興戦略2016」(平成28年6月2日閣議決定)においては、「データヘルス計画を通じた企業や保険者等による健康・予防に向けた取組を強化する。」としている。こうした背景を踏まえて策定した第1期データヘルス計画を見直すとともに、第2期データヘルス計画を策定して、被保険者の健康維持増進を図る。

(2) 計画期間

本データヘルス計画の計画期間は、平成30年度から令和5年度の6年間とする。

■計画期間



(3) 基本方針

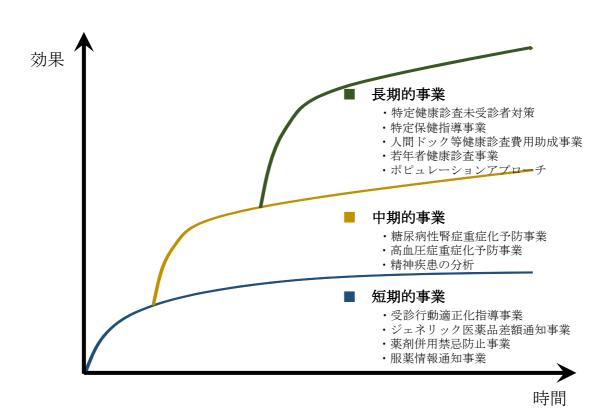
データヘルス計画では、短期的に取り組むべき対策と、中長期的に取り組むべき対策について、それぞれの段階にあった事業を行うことを計画する。

目標とする成果を達成するために、以下の基本方針でデータヘルス計画を策定する。

- 1. 潜在する課題を確認するため、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生元となる疾病の把握を行い課題を明確にする。
- 2. 明確となった課題より、「短期的な対策」・「中長期的な対策」を選択する。費用対効果の見込める集団を特定し、PDCAサイクルを意識した継続的な事業を実施する。
- 3. データヘルス計画には、実施事業に対する明確な目標を設定し、記載する。またこの目標を達成することのできる効果的な実施方法を検討し、明示する。目標に対する客観的な効果測定が必要であることから、事業実施後の効果測定方法についても記載することとする。

事業には、即効性があるが効果額が小さい短期的事業と、即効性はないが将来の大きな医療費削減につながる中・長期的な事業がある。

下記の保健事業を神栖市国民健康保険の実情に合わせて、効率良く実施する。



(4)データヘルス計画の位置づけ

「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21(第2次))」に示された基本方針を踏まえるとともに、「都道府県健康増進計画」及び「市町村健康増進計画」で用いた評価指標を用いる等、それぞれの計画と整合性を図る必要がある。

(5) 実施体制 · 関係者連携

本データヘルス計画の遂行にあたっては、保険担当部局が主体となり、関係部局(保健衛生、介護部門等)・保健師・栄養士等の専門職と共同で事業を推進するとともに、課題や評価について共有し、一体となって保健事業の実施に当たる。

また、学識経験者、地域の医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、栄養士会等の保健 医療関係者等の外部有識者や被保険者が議論に参画できる協議の場として、既存の協議会等 の活用、外部有識者からの支援体制を強化し、被保険者自身が当事者意識を持って主体的・ 積極的に取り組める体制を整備しながら事業を運営する。

■データ分析期間

・入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト 単年分析

平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)

年度分析

平成26年度…平成26年3月~平成27年2月診療分(12カ月分)

平成27年度…平成27年3月~平成28年2月診療分(12カ月分)

平成28年度…平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)

平成29年度…平成29年3月~平成30年2月診療分(12カ月分)

平成30年度…平成30年3月~平成31年2月診療分(12カ月分)

平成31年度…平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)

・健康診査データ

平成31年4月~令和2年3月健診分(12カ月分)

2. 過去の取組の振り返りと評価

(1) 第2期データヘルス計画の各事業達成状況

第2期データヘルス計画に基づき実施した事業についての達成状況を以下に示す。

なお、評価は、a: 改善している、b: 変わらない、c: 悪化している、d: 評価困難の4 段階で評価する。

データヘルス計画全体

		実績値			
指標	目標値	ベースライン (平成28年度)	平成29年度		
健康寿命	延伸	男 77.0歳 女 81.9歳	男 77.1歳 女 81.9歳		

個別保健事業計画

		目相	票値	実統	責値
事業名	事業概要	アウトプット	アウトカム	ベースライン (平成28年度)	平成29年度
特定健康診査 未受診者対策 (特定健診受診 率向上)	特定健診を受診していない人に、生活習慣病の予防の観点から受診するように訪問による個別勧奨、受診勧奨通知を行う。	再勧奨対象者へ の通知率 100% 訪問実施人数の モニタリング	特定健診受診者 数の増加	再勧奨対象者への 通知率100% 未受診者訪問数 対象者数 708人 訪問数 655人 うち受診者 53人 特定健診受診者数 5,486人 特定健診受診率 31.7%	再勧奨対象者への 通知率100% 未受診者訪問数 対象者数 453人 訪問数 376人 うち受診者 100人 特定健診受診者数 5,605人 特定健診受診率 34.4%
特定保健指導事業	特定健康診査の結果から 特定保健指導対象者を特 定し、生活習慣や検査値 が改善されるように、専 門職による支援を面接や 電話、e-mail等で行う。	指導対象者の指 導実施率向上 (法定報告確認)	積極的支援及び 動機付け支援対 象者数が減少す る(階層化人数で 確認していく)。	特定保健指導実施 率 33.7% 積極的支援対象者 数 280人 動機付け支援対象 者 536人	特定保健指導実施 率 30.6% 積極的支援対象者 数 269人 動機付け支援対象 者 600人

a:改善している b:変わらない c:悪化している d:評価困難

実統	実績値		まけに のわぶつ	ナキにっかぶて		旦级
平成30年度	平成31年度	評価 (※)	達成につながる 取組・要素	未達につながる 背景・要因	今後の方向性	最終 目標値
男 77.6歳女 81.9歳	男 77.6歳 女 82.5歳	b	-	_	健診の受診率、特定保健指導率の向上を図る。関係者との連携を図り、検討し、事業を進めていく。	延伸

実終	責値	評価	44.	-	A //a = 1.7.18	最終
平成30年度	平成31年度	(**)	成功要因	未達要因	今後の方向性	目標値
再勧奨対象者への 通知率100% 未受診者訪問数 対象者 316人 訪問数 213人 うち受診者数 100人 特定健診受診者数 5,692人 特定健診受診率 36.5%	再勧奨対象者への 通知率100% 未受診者訪問数 対象者 訪問者 81人 うち訪問者 9人 特定健診受診者数 5,274人 特定健診受診率 34.7% (令和2年9月30日 現在)	Ь		御奨通知や未受診 者訪問をして健康 前市民の健び で を が、 市上にがで さ いため、 の 向上が ないたが 望めてい ない。	家庭訪問やポピュレーションアプローチを継続し、市民の健康意識向上に取り組む。	特定健 診受診 率 43%
特定保健指導実施 率 32.4% 積極的支援対象者 数 261人 動機付け支援対象 者 584人	特定保健指導実施 率 38.3% 積極的支援対象者 数 223人 動機付け支援対象 者 516人	Ь	_	現状では訪問や電話連絡でのアプローチ施しているとが多くとが多ないことがらないがらないがある。	訪問や電話連絡以 外のアプローチ方 法を検討し、保健 指導率の向上を図 り、保健指導対象 者数の減少につと める。	特健率 45% 極援者動け対数 慢支線の 対数機支象の

		目相	票値	実統	責値
事業名	事業概要	アウトプット	アウトカム	ベースライン (平成28年度)	平成29年度
糖尿病性腎症 重症化 予防事業	特定健診の検査値とレセマプトの検査値と対象者を特定し、専門職指導とでする。 電話指導を背側を行う。・運してできるでは、服後では、服後では、服後では、正してできるでは、ないとは、アイスをはなりなりのは、アイスをは、アイスをはなりのは、アイスをは、アイスをは、アイスをは、アイスをはなりなりのは、アイスをはなりのはなりなりの	指導対象者の指 導実施率の向上 (実施人数を確認 していく)	指導実施後の対 象者のCKD重 症度分類を悪化 させない。	対象者 21人 保健指導実施者 10人 保健指導実施率 47.6% CKD重症度分類 正常または 医で 71.9% 軽度から中等度 低下 15.2% 中等度から高度 低下 1.6% 高度低下 0.2% 末期腎不全 0.01%	対象者 203人 保健指導実施者 71人 保健指導実施率 35.0% CKD重症度分類 正常または 低下 72.5% 軽度から中等度 低下 15.4% 中等度から高度 低下 1.5% 高度低下 0.2% 末期腎不全 0.01%
高血圧症重症化予防事業	特定健診の検査値と高上 高血及血 医症に関わるとのでは で日本高血圧学ライン2019 に基づけて対象するを を表すがでする。 下治療がでする。 下治療がでする。 では、 にでする。 では、 にでする。 では、 にできる。 できると できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	指導対象者の指 導実施率の向上	指導実施後の対 象者の血圧値が 低下する。	対象者 33人 保健指導実施者 13人 保健指導実施率 39.4%	対象者 32人 保健指導実施者 11人 保健指導実施率 34.4%
受診行動適正化 指導事業 (重複·頻回受診、 重複服薬)	レセプトデータから、医療機関への過度な受診が確認できる対象者、また 重複して服薬している対象者を特定し、通知書を 送付する。	対象者への通知 率 100% 以上	対象者の受診行動適正化 50% 通知後の医療費 50%減少 重複・頻回受診 者、重複服薬者 20%減少	通知率 100.0% 受診行動適正化 83.3%(20人/24人) 通知後の医療費 27.9%減少 多受診患者 5.2%減少 (内訳) 平成26年度1,004人 平成28年度 952人	通知率 100.0% 受診行動適正化 100%(11人/11人) 通知後の医療費 44.5%減少 多受診患者 21.8%減少 (内訳) 平成26年度1,004人 平成29年度 785人

a:改善している b:変わらない c:悪化している

d:評価困難

実終	責値	評価			今後の方向	最終
平成30年度	平成31年度	(※)	成功要因	未達要因	う後のが同 性 	目標値
対象者 264人 保健指導実施者 124人 保健指導実施率 47.0% CKD重症度分類 正常 71.3% 軽度 から中等度 低下 16.9% 中等度から高度 低下 1.7% 高度低下 0.2% 末期腎不全 0.01%	対象者 418人 保健指導対象者 80人 保健指導実施率 19.1% CKD重症度分類 正常または軽度 低下 71.5% 軽度から中等度 低下 18.4% 中等度から高度 低下 1.7% 高度低下 0.2% 末期腎不全 0.1%	b	_	現状では訪問や電話で解析ではではない。 電話ではいるではではないではでいるではでいるではでいるではでいるではないではないがある。 は、これではないである。 は、これではないである。	訪問や電話 連絡以外の アプはを健力 し、率図り は 等図り は り、対対 は を は り、 は り に の と は り に り に り に り に り に り に り に り に り に り	指導対象者のうち 45%以上の方へ保 健指導を実施する。
対象者 27人 保健指導実施者 10人 保健指導実施率 37.0%	対象者 40人 保健指導実施者 15人 保健指導実施率 37.5%	ь	_	現状では訪問やでは話問の保証ではないというではではない。 ではではでいるではではないがががかががある。 は、これにはないがががかがかがかがかがかがかがかがかがかがある。	訪問や電話 連絡以外の アプ法を保める リンスを健指 リンスを は リンスを は り、 は り、 が は り、 は り、 は り、 は り、 は り、 は	指導対象者のうち 45%以上の方へ保 健指導を実施する。
通知率 100.0% 受診行動適正化 94.7%(18人/19人) 通知後の医療費 47.2%減少 多受診患者 16.3%減少 (内訳) 平成26年度1,004人 平成30年度 840人	通知率 100.0% 受診行動適正化 81.5%(53人/65人) 通知後の医療費 27.5%減少 多受診患者 8.8%減少 (内訳) 平成26年度1,004人 平成31年度 916人	a	対象者へ通知した ことにより多受さる についてき、患者 自身が受診行動を 考えることにつな がった。	_	事業は継続する。	 ・通知率 100% ・通知対象者の受診行動適正化 50% ・重複・頻回受診、重複服薬者 20%減少

	事業概要	目札	票値	実績値		
事業名		アウトプット	アウトカム	ベースライン (平成28年度)	平成29年度	
ジェネリック 医薬品差額通知 事業	レセプトデータから、 ジェネリック医薬品の使 用率が低く、ジェ 替っ ク医薬剤 動経が よる薬剤 動経が よる薬剤 かまるを特定する。 通知書を対象者に送付す ることで、ジェネリック 医薬品への切り替えを促 す。	対象者への通知 率 100%	ジェネリック 医薬品普及率 (数量ベース) 令和2年9月まで に80%	通知率 100% ジェネリック 医薬品普及率 (数量ベース) 直近(H29年2月 診療分)67.3% 通知開始時(H27年 5月診療分)55.9%	通知率 100% ジェネリック 医薬品普及率 (数量ベース) 直近(H30年2月 診療分)69.0%	
薬剤併用禁忌防止事業	レセプトデータから、薬 剤併用禁忌の発生状況を 把握する。薬剤併用禁忌 の対象者リストを作成す る。	薬剤併用禁忌割 合 10%減少	併用禁忌薬剤に よる健康被害 0%	薬剤併用禁忌割合 3.3%減少 (内訳) 平成26年度 632人 平成28年度 611人	薬剤併用禁忌割合 18.5%減少 (内訳) 平成26年度 632人 平成29年度 515人	
服薬情報通知事業	レセプトデータから、長期多剤服薬者を特定し通知書を送付する。また、通知後のレセプトデータから効果を確認する。	対象者への通知 率 100%	対象者における 服薬の適正化 5% 減少 長期多剤服薬者 割合 5ポイント 減少	_	_	

a:改善している b:変わらない c:悪化している d:評価困難

実績値		評価				
平成30年度	平成31年度	(※)	成功要因	未達要因	今後の方向性	最終目標値
通知率 100% ジェネリック 医薬品普及率 (数量ベース) 直近(H31年2月 診療分)74.1%	通知率 100% ジェネリック 医薬品普及率 (数量ベース) 直近(R2年2月 診療分)77.9%	а	削減金額が100 円以上となる方 を対象に通知を したことが、 ジェネへの関心を 裏品普及率の向 上につながった。	_	事業は継続し、 ジェネリック医薬 品の普及に努める。	・通知率100% ・ジェネリック 医薬品普及率 (数量ベース) 85%
薬剤併用禁忌割合 20.1%減少 (内訳) 平成26年度 632人 平成30年度 505人	薬剤併用禁忌割合 27.2%減少 (内訳) 平成26年度 632人 平成31年度 460人	d	_	_	減少傾向にはある ため、引き続き状 況を把握していく。	薬剤禁忌対象者 の割合10%減少
・通知率100% ・長期服薬者数 2,864人 ・長期多剤服薬者 数1,120人 (対象診療月11 月~2月) ・長期服薬者にお ける多剤服薬者の 割合39.1%	 ・通知率100% ・長期服薬者数 1,829人 ・長期多剤服薬者数872人 (対象診療月11月~2月) ・長期服薬者における多剤服薬者の割合47.7% 	b	_	長期多剤服薬者 の人数は減少し ているが割合は 増加している。	事業は継続する。	・通知率100% ・対象者におけ る服薬の適正化 5%減少 ・長期多剤服薬 者割合 5ポイント減少

事業名	事業概要	目标	票値	実績値		
		アウトプット	アウトカム	ベースライン (平成28年度)	平成29年度	
人間ドック等 健康診査 費用助成事業	人間ドック等の検査費用 の助成を実施する。受診 者のうち特定保健指導対 象者を特定し、特定保健 指導を実施する。	事業の周知をす すめるとともに、 事業が円滑に進 むよう関係各課 や関係機関との 調整を行う。	人間ドック等健 康診査費用助成 事業利用者の増 加	利用者数 390人	利用者数 436人	
若年者健康診査 事業	16歳~39歳の市民を対象 に健康診査を実施する。 健康診査後、保健指導実 施の周知を行い、希望者 へ保健指導を実施する。	若年者への健康 診査事業の周知 方法の拡大	受診者を増加させる。	若年者健康診査受 診者数 1,245人	若年者健康診査受 診者数 1,195人	

a:改善している b:変わらない c:悪化している d:評価困難

実績値		評価				
平成30年度	平成31年度	(※)	成功要因	未達要因	今後の方向性	最終目標値
利用者数 463人	利用者数 437人	а	本事業の趣旨が 広報紙等の周知 により市民に浸 透してきている。 そのため、継続 して受診できて いる。	_	特定健診の受診方 法について、一人 一人の生活状況や 健康状態によって 受診方法を選択で きることによって、 特定健診受診率の 向上を図る。	
若年者健康診査受 診者数 1,123人	若年者健康診査 963人	С	_	勧奨通知や広報 記等が、大力に はまずが、大力に はまびできる。 を受望めている。 ではない。 では、が望めては、 では、では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	勧奨通知・広報誌 等でのやポピュ レーションアプ ローチを継続、市 民の健康意識向上 に取り組む。	受診率 5%

事業名	事業概要	目相	票値	実績値	
		アウトプット	アウトカム	ベースライン (平成28年度)	平成29年度
ポピュレーションデンプローリリング (健康できる) では、関連を発ります。	生活習慣病予防をはじめ とした健康づくりに関す る講演や教室、健康増進 事業を実施する。 年6回の医療費通知の送付 を実施する。	健康では くりを はで は が が が が が が が が が が が が が が が が が	健康づくり事業の参加者が増加する。	市民健康書 5回 128人 18回 128人 128人 18回者 128人 18回者 128人 18回者 18回者 18回 420人 48防 20人	市実施型 50回人の
精神疾患の分析	精神及び行動の障害の分析による傾向、課題の把握	レセプトの分析 や他保険者との 連携による傾向 や現状の把握	精神疾患発生の 仕組みや原因を 調べることで精 神疾患者の減少 を図る。	_	【入院】314人 【入院外】2,633人

a:改善している b:変わらない c:悪化している d:評価困難

01/左座	評価				
31年度	(※)	成功要因	未達要因	今後の方向性	最終目標値
講数数う 数数動数数数数数数 化動一 夕 座 教証数 座 症 教 室 一 検21 夕 ー・51室 で 156室 354事1、17 2 26 354事1、17 2 26 34 34 34 34 34 34 34 34 34 34 34 34 34	Ъ		生たのてにのるは日討る。生活の前に室者をあるのでは、時ずのの前のでは、一時であるのでは、時である。というでは、一時である。というでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	市民が参加しやすい内容・日時・場所等を検討し、市民の健康課人の健康課人を検討していた。	市民一人一人の健康意識を高め、健康教室等の参加者数の増加を目指す。
272人	d	_	_	継続して現状の把握をしていく。	・精神疾患にか かる医療費の削 減 ・精神疾患者の 減少
	数数う 数数動数数数数数 W 動一 夕 座 教 数数 数数数数数 数数 数数	数数 1回 156人 数数 156人 予 2回人 野 54室 2回人 1回人 1回人 1回人 1回人 1回人 1回人 1回人 1	数 1回 数 156人 う 数 2回 数 54人 動数 2回 54人 動数 2回 54人 数数 54人 シジョ 1,578 b 化 217 195人 一 夕 登 調理人 数 20回 を 514人 の 4 から の 54人 の 4 から の 54人 の 54人 の 54人 の 54人 の 54人 の 54人 の 6217 195人 の 7 から の 664人	数 1回 数 156人 方症予防教 数数 2回 数数 54人 動教室 3回 54人 200 200 200 200 200 200 200 200 200 20	数 1回 数 156人 う症予防教 数 2回 数 54人 動数 2回 数 62人 教室 3回 数 54人 レージ事業 数 1,578 b C化檢查実施 217人 動 195人 一ター予録 座・調理実 514人 教室 重 数 664人

(2) 第2期データヘルス計画の各事業実施内容

第2期データヘルス計画に基づき実施した事業の詳細は以下の通りである。

①特定健康診査未受診者対策

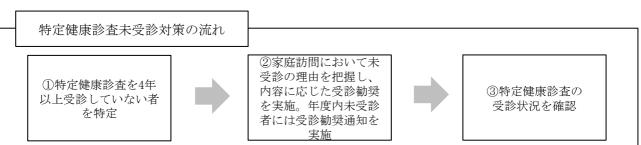
【事業目的】

被保険者の生活習慣病予防

【事業概要】

特定健康診査を受診していない人に、生活習慣病の予防の観点から受診するように訪問による個別勧奨、受診勧奨通知を行う。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウト		トカム
, , , , , , ,		目標値	評価方法
再勧奨対象者への通知率 100%	短期		事業対象者のうち特定健康診査を 受診した人数より確認する。
訪問実施人数のモニタリング	中長期	特定健康診査受診率 43%	特定健康診査受診率を確認する。

【達成状況】

	平成30年度		平成31年度	
勧奨通知や未受診者訪問をしているが、市民の健康意識向上に結びつけることができていないため受診率の向上につなげることができていない。	訪問数 2	知率 316人 213人 100人	再勧奨対象者への通 100% 未受診者訪問数 対象者 訪問者 うち訪問者 特定健診受診者数 5,274人 特定健診受診率 34.7% (令和2年9月30日野	81人 9人

【考察】平成31年度の受診率は34.6%であり、平成30年度の36.5%から1.9ポイント減少している。減少した原因を検討し、目標値達成のために更なる取り組みを実施する。

②特定保健指導事業

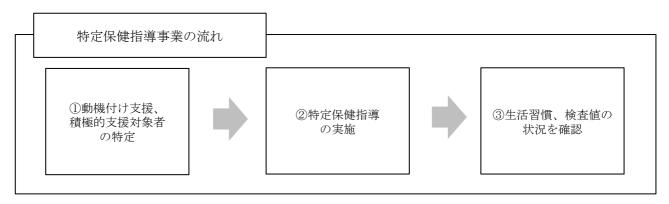
【事業目的】

被保険者の生活習慣病予防

【事業概要】

特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話で行う。

【事業内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウト		トカム
7 9 17 9 1		目標	評価方法
指導対象者への指導実施率向上	短期	積極的支援及び動機付け 支援対象者数が減少する	指導前後の階層化人数で確認する
(法定報告確認)	中長期	積極的支援及び動機付け 支援対象者15% 減少	特定保健指導対象者割合の推移を 確認する

【達成状況】

	平成30年度	平成31年度
訪問や電話連絡でのアプローチで保健指導を実施しているが、コンタクトがとれないことが多く指導率が上がらない。	特定保健指導実施率 32.4% 積極的支援対象者数 261人 動機付け支援対象者 584人	特定保健指導実施率 38.3% 積極的支援対象者数 223人 動機付け支援対象者 516人

【考察】平成31年度の実施率は32.2%であり、平成30年度の32.4%から6.1ポイント増加している。

③糖尿病性腎症重症化予防事業

【事業目的】

被保険者の糖尿病重症化予防

【実施概要】

特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けることができるように専門職より対象者に指導を行う。

【実施内容】

糖尿病性腎症重症化 予防事業の流れ

①健康診査データ及び レセプトデータから対 象者を特定



②専門職より対象者に 面談指導・電話指導実 施



③生活習慣、検査値の 改善状況を確認

【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		トカム
7 7 1 7 7 1		目標値	評価方法
松溢业各类の松溢中长克の台「	短期	指導実施後の対象者のCKD 重症度分類を悪化させない	指導後の結果から生活習慣や検査 値の改善状況を確認する。
指導対象者の指導実施率の向上	中長期	糖尿病治療患者に占める 新規人工透析患者割合の 維持(H28年度 1.19%)	レセプトデータより新規人工透析 患者数の推移を確認する。

【達成状況】

	平成30年度	平成31年度
	対象者 264人 保健指導実施者 124人 保健指導実施率 47.0%	対象者 418人 保健指導対象者 80人 保健指導実施率 19.1%
訪問や電話連絡でのアプローチで保健指導を実施しているが、コンタクトがとれないことが多く指導率が上がらない。	CKD重症度分類 正常または軽度低下 71.3% 軽度から中等度低下 16.9% 中等度から高度低下	CKD重症度分類 正常または軽度低下 71.5% 軽度から中等度低下 18.4% 中等度から高度低下
	1.7% 高度低下 0.2% 末期腎不全 0.01%	1.7% 高度低下 0.2% 末期腎不全 0.1%

【考察】平成31年度の実施率は19.1%であり、平成30年度の47.0%から27.9ポイント減少している。減少した原因を検討し、目標値達成のために更なる取り組みを実施する。

④高血圧症重症化予防事業

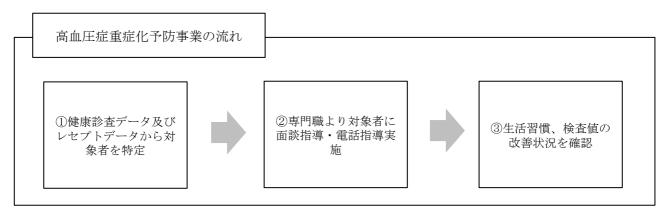
【事業目的】

高血圧症患者の減少

【実施概要】

特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けることができるように専門職より対象者に指導を行う。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット		アウトカム	
		目標値	評価方法
北海州在本本本	短期	指導実施後の対象者の血 圧値が低下する	指導後の検査値の改善状況を確認 する
指導対象者の指導実施の向上	中長期	高血圧患者の減少	レセプトデータより高血圧患者数の推移を確認する。

【達成状況】

	平成30年度	平成31年度
訪問や電話連絡でのアプローチで保健指導を実施しているが、コンタクトがとれないことが多く導率が上がらない。	対象者 27人 保健指導実施者 10人 保健指導実施率 37.0%	対象者 40人 保健指導実施者 15人 保健指導実施率 37.5%

【考察】平成31年度の実施率は37.5%であり、平成30年度の37.0%から0.5ポイント増加している。実施率が上がらない原因を検討し、目標値達成のために更なる取り組みを実施する。

⑤受診行動適正化指導事業(重複·頻回受診、重複服薬)

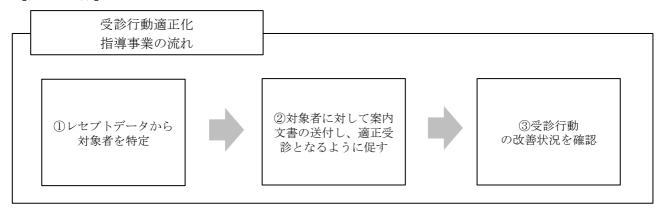
【事業目的】

重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少

【実施概要】

レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して 服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について通知書を送付する。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

マウレデ、レ	アウ		トカム	
アウトプット		目標値	評価方法	
対象者への通知率 100% 以上	短期	対象者の受診行動適正化 50% 通知後の医療費 50% 減少	通知後の医療機関受診状況を確認 する。	
	中長期		多受診対象者数の推移により確認 する。	

【達成状況】

平成30年度	平成31年度
通知率100%	通知率100%
受診行動適正化94.7%	受診行動適正化81.5%

【考察】平成30年度及び平成31年度ともに受診行動適正化は50%以上となった。事業を実施 した効果が高いと考える。

⑥ジェネリック医薬品差額通知事業

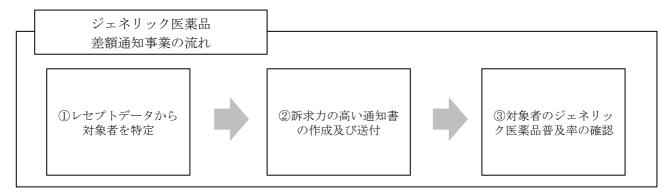
【事業目的】

ジェネリック医薬品の普及率向上

【実施概要】

レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム			
7 9 5 7 9 5	目標値	評価方法		
対象者への通知率 100%	通知対象者のジェネリック医薬品 普及率(数量ベース) 令和2年9月までに80%	通知前後のジェネリック医薬品普 及率(数量ベース)を確認する。		

【達成状況】

通知率	平成30年度	平成31年度
世 和 学	100%	100%
普及率(数量	平成31年2月診療分	令和2年2月診療分
ベース)	74. 1%	77. 9%

【考察】薬剤費軽減額が100円以上となる方を通知対象者として事業を行った。令和2年2月診療分の普及率(数量ベース)は77.9%であり、平成31年2月診療分の74.1%から3.8ポイント増加している。ジェネリック医薬品への関心を高め、更なる普及率の向上をめざし、取り組んでいく。

⑦薬剤併用禁忌防止事業

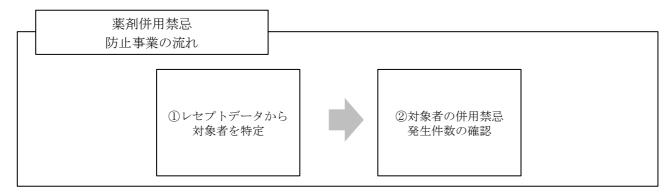
【事業目的】

薬剤併用禁忌の発生件数減少

【事業概要】

レセプトデータから、薬剤併用禁忌の発生状況を把握する。薬剤併用禁忌の対象者リストを作成する。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

マウィー	アウトカム	
アウトプット	目標値	評価方法
薬剤併用禁忌の対象者リストを 作成	対象者の薬剤併用禁忌発生 10% 減少	併用禁忌薬剤による健康被害 0%

【達成状況】

平成30年度	平成31年度
20.1%減	27.2%減

【考察】平成31年度の減少率は27.2%であり、平成30年度の20.1%から7.1ポイント増加している。薬剤併用禁忌の発生状況を引き続き把握し、更なる取り組みを検討する。

⑧服薬情報通知事業

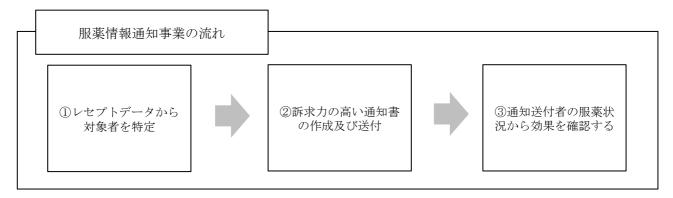
【事業目的】

服薬の適正化

【事業概要】

レセプトデータから、長期多剤服薬者を特定し通知書を送付する。また、通知後のレセプトデータから効果を確認する。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /		目標値	評価方法
	短期	対象者の長期多剤服薬 5% 減少	通知前後の服薬状況から確認する。
対象者への通知率 100%	中長期	長期多剤服薬者割合 5ポイント 減少	長期多剤服薬者割合の推移により 確認する。

【達成状況】

平成30年度	平成31年度
通知率100%	通知率100%
長期多剤服薬者数1,120人	長期多剤服薬者数872人

【考察】長期多剤服薬者数は減少している。結果に基づき目標値等の見直しを行い、更なる 取り組みを検討する。

⑨人間ドック等健康診査費用助成事業

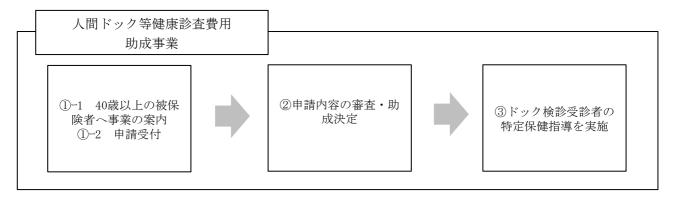
【事業目的】

被保険者の生活習慣病・疾病の予防

【実施概要】

人間ドック等の検査費用の助成を実施する。受診者のうち特定保健指導対象者を特定 し、特定保健指導を実施する。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	目標値	評価方法
事業の周知を進めるとともに、事 業が円滑に進むよう関係各課や関 係機関との調整を行う	人間ドック等健康診査費用助成 事業利用者の増加	利用状況の確認

【達成状況】

	平成30年度	平成31年度
事業の趣旨が広報誌等の 周知により浸透してきて いる。そのため、継続し て受診できている。	利用者数 463人	利用者数 437人

【考察】平成31年度の利用者数は437件であり、平成30年度の463件から26件減少している。 減少した原因を検討し、目標値達成のために更なる取り組みを実施する。

⑩若年者健康診査事業

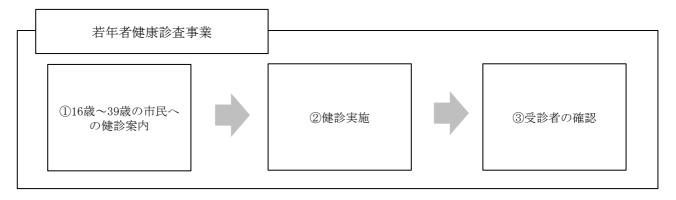
【事業目的】

生活習慣病の早期予防

【実施概要】

16歳~39歳の市民を対象に健康診査を実施する。健康診査後、保健指導実施の周知を行い、希望者へ保健指導を実施する。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
若年者への健康診査事業の周知 方法の拡大	受診者を増加させる	受診状況の確認

【達成状況】

	平成30年度	平成31年度
勧奨通知や広報誌等で周知しているが、市民の健康意識向上に結びつけることができていないため、受診率の向上が望めない。また生活習慣病健診の対象者の実態が把握できていない。	若年者健康診査受診者数 1,123人	若年者健康診査 963人

【考察】平成31年度の利用者数は963件であり、平成30年度の1123件から160件減少している。 減少した原因を検討し、目標値達成のために更なる取り組みを実施する。

⑪ポピュレーションアプローチ(健康づくりに関する普及啓発)事業

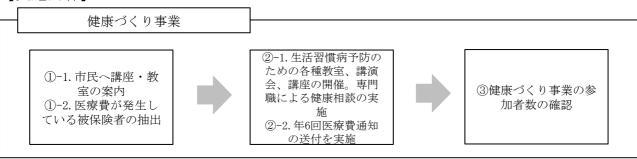
【事業目的】

健康に対する意識を向上させ、健康的な生活習慣を定着させる

【実施概要】

生活習慣病予防をはじめとした健康づくりに関する講演や教室、健康増進事業を実施する。年6回の医療費通知の送付を実施する。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

ノフトノフト ノフトスムとの上の通り臥たする。		
アウトプット	アウ	トカム
7 9 1 7 9 1	目標値	評価方法
健康づくり事業の効果的な開催時期や期間を見直しながら、実施回数を増加させる	健康づくり事業の参加者が増加する	健康づくり事業の参加者数の確認

【達成状況】

	平成30年度	平成31年度
生活習慣予防教育の目的 で実施しているが、教室 によって参加者のばらつ きがある。	市民健康講座 実施日数 4回 参加者数 74人 骨粗しより数 61人 健診前回数 2回 参加運動数 2回 参加運動数 3回 参加運動数 3回 参加運動数 3回 参加が進齢が上海が上海が上海が上海が上海が上海が上海が上海が上海が上海が上海が上海が上海が	市民健康講座 実施回数 1回 参加者数 156人 骨実施用者的 54人 健実参談 2回 参談 54人 健実参談 2回 参談 62人 秋 62人 秋 62人 秋 62人 秋 70 東施加運動数 3回 参加加マイン動数 3回 参加加マイン事業 参学動脈で、 金工ので、 一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一

【考察】全体的に平成31年度は、平成30年度よりも参加者の減少が見られる。減少した原因 を検討し、目標値達成のために更なる取り組みを実施する。

83

⑫精神疾患の分析

【事業目的】

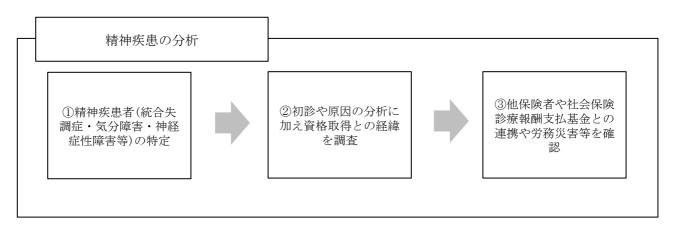
被保険者の精神的な健康増進

【実施概要】

精神及び行動の障害の分析

【実施内容】

傷病分類において0500番台の数値が与えられているレセプトを持つ患者の以前の受診 行動や治療内容が当該年度以降の受診行動に与える可能性を分析、また調剤の向精神薬 (抗不安薬・睡眠薬)との関連調査



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

マウィー・・・	アウトカム	
アウトプット	目標値	評価方法
精神及び行動の障害の分析から 傾向や現状の把握	精神疾患にかかる医療費の削減 精神疾患者の減少	精神疾患発生の仕組みや原因究明 自殺の減少

【達成状況】

平成30年度	平成31年度
【入院】269人 【入院外】2,493人	【入院】272人 【入院外】2,462人

【考察】対象者数は変わらない状況である。引き続き、傾向や現状を把握していき、更なる 取り組みを検討する。

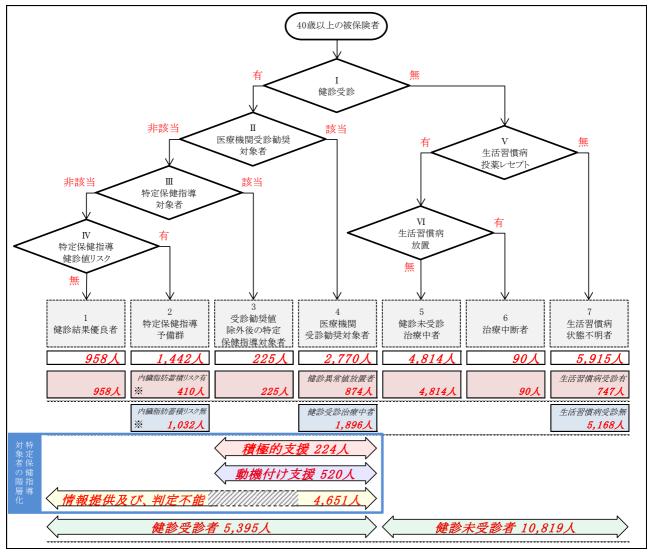
3. 保健事業実施に係る分析結果

(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析

特定健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類し、分析結果を以下に示す。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は特定健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループである。

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月~令和2年3月健診分(12カ月分)。 資格確認日…令和2年2月29日時点。

各フローの詳細については巻末資料「2.「指導対象者群分析」のグループ分けの見方」を参照。 ※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

(2)特定健康診査に係る分析

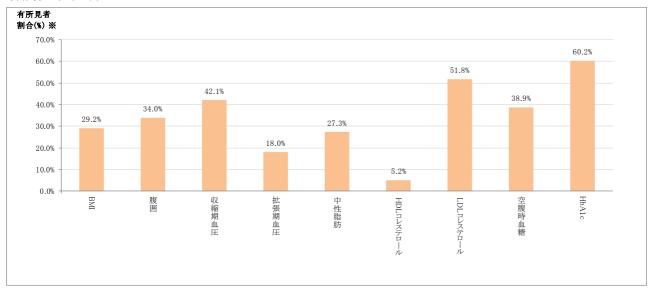
特定健康診査受診者の有所見者割合及び質問票への質問別回答状況を以下に示す。

有所見者割合

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧
対象者数(人) ※	5,395	5,395	5,395	5,395
有所見者数(人) ※	1,576	1,835	2,272	971
有所見者割合(%) ※	29.2%	34.0%	42.1%	18.0%

	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	空腹時血糖	HbA1c
対象者数(人) ※	5,395	5,395	5,395	2,413	5,395
有所見者数(人) ※	1,474	278	2,793	938	3,250
有所見者割合(%) ※	27.3%	5.2%	51.8%	38.9%	60.2%

有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月~令和2年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年2月29日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、 腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、 収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、中性脂肪:150mg/dl以上、 HDLコレステロール:39mg/dl以下、 LDLコレステロール:120mg/dl以上、

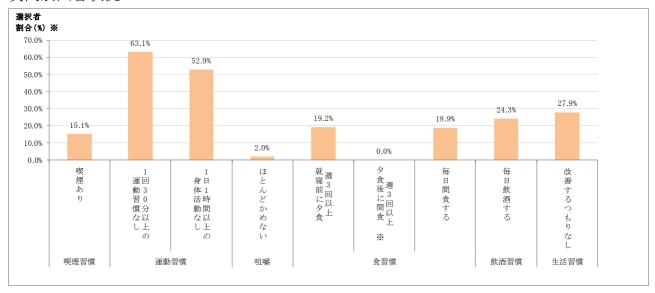
空腹時血糖值:100mg/dl以上、 HbA1c:5.6%以上

質問別回答状況

	喫煙習慣	運動	咀嚼		
質問の選択肢	喫煙あり	1回30分以上の 運動習慣なし	1日1時間以上の 身体活動なし	ほとんどかめない	
質問回答者数(人) ※	5,395	972	972	661	
選択者数(人) ※	814	613	514	13	
選択者割合(%) ※	15.1%	63.1%	52.9%	2.0%	

		食習慣	飲酒習慣	生活習慣	
質問の選択肢	週3回以上 就寝前に夕食	週3回以上 夕食後に間食 ※	毎日間食する	毎日飲酒する	改善するつもりなし
質問回答者数(人) ※	971	0	962	5,395	972
選択者数(人) ※	186	0	182	1,312	271
選択者割合(%) ※	19.2%	0.0%	18.9%	24.3%	27.9%

質問別回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月~令和2年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年2月29日時点。

- ※質問回答者数…質問に回答した人数。
- ※選択者数 …質問の選択肢を選択した人数。
- ※選択者割合 …質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

喫煙あり

…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

1回30分以上の運動習慣なし …「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数

87

を集計。 1日1時間以上の身体活動なし …「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数 を集計。

…「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。」の質問に対し、「ほとんどかめない」の回 答数を集計。

週3回以上就寝前に夕食

ほとんどかめない

…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。 …「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集

週3回以上夕食後に間食

計。※平成30年度以降で廃止された質問項目。 …「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。

毎日間食する 毎日飲酒する 改善するつもりなし

- …「お酒(日本酒・焼酎・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
- …「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対し、「改善するつもりはな い」の回答数を集計。

(3) 特定保健指導に係る分析

日本人の生活習慣の変化や高齢者の増加等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群が増加しており、生活習慣病を原因とする死亡は、全体の約3分の1にのぼると推計されている。厚生労働省は、40歳以上の被保険者へメタボリックシンドロームの予防・解消に重点を置いた、生活習慣病予防のための特定健康診査・特定保健指導の実施を義務付けている。

「(1)特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」にある「3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者」「4. 医療機関受診勧奨対象者」に該当する対象者より、特定保健指導対象者は744人である。このうち、積極的支援の対象者は224人、動機付け支援の対象者は520人である。

特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

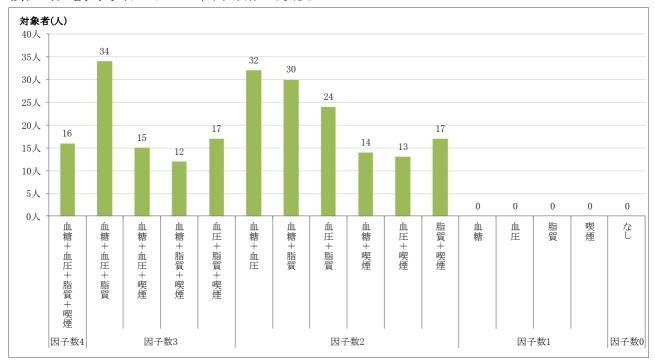
	יע	スク半 (該当	引定 áに●)				対象者		
特定保健指導対象者		② 血 圧	③脂質	④ 喫 煙	リスク因子数	リスク因子組み合わせ	744人		
	•				因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	16人		
						血糖+血圧+脂質	34人		
				•	因子数3	血糖+血圧+喫煙	15人		
	•				四 1 数70	血糖+脂質+喫煙	12人		
			•			血圧+脂質+喫煙	17人		
	•	•				血糖+血圧	32人		
						血糖+脂質	30人		
積極的支援					因子数2	血圧+脂質	24人	224人	30%
IN I					[2] 1 XX2	血糖+喫煙	14人		30/0
						血圧+喫煙	13人		
						脂質+喫煙	17人		
	•				_	血糖	0人		
					因子数1	血圧	0人		
	●	0人							
					- W	喫煙	0人		
					因子数0	なし	0人		
	•	•	•		因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	12人		
	•	•				血糖+血圧+脂質	58人		
					因子数3	血糖+血圧+喫煙	9人		
						血糖+脂質+喫煙	9人		
		-	•			血圧+脂質+喫煙	7人		
	•	•				血糖+血圧 血糖+脂質	75人 32人		
	•					<u> </u>	34人		
動機付け支援	•				因子数2	血糖+喫煙	8人	520人	70%
						血圧+喫煙	10人		
						<u> </u>	7人		
						血糖	85人		
						血圧	118人		
					因子数1	脂質	55人		
						喫煙	0人	_	
					因子数0	なし	1人		

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月~令和2年3月健診分(12カ月分)。 資格確認日…令和2年2月29日時点。

※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。また、医師の判断等により、リスク因子数が0であっても特定保健指導対象者に分類される場合がある。

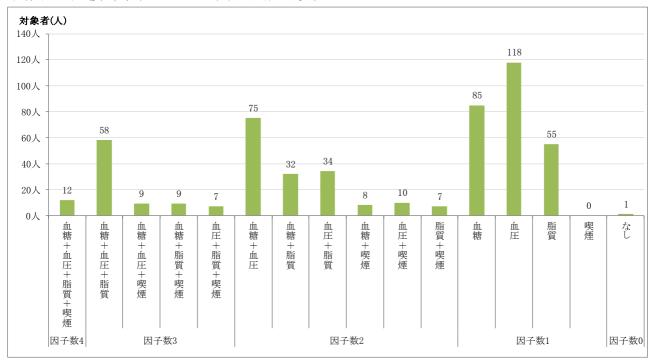
- リスク判定の詳細は以下の通りとする。
 - ①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)
 - ②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
 - ③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
 - ④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

積極的支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月~令和2年3月健診分(12カ月分)。 資格確認日…令和2年2月29日時点。

動機付け支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月~令和2年3月健診分(12カ月分)。 資格確認日…令和2年2月29日時点。

(4) 健診異常値放置者に係る分析

特定健康診査では異常値があった場合、医療機関での精密検査を勧めている。しかし、異常値があるにもかかわらず、医療機関への受診をしていない者が存在する。これらの対象者をレセプトにより見極める。

「(1)特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において「4. 医療機関受診 勧奨対象者」のうち、医療機関への受診をしていない「健診異常値放置者」に該当する874人が 健診異常値放置受診勧奨対象者となる。

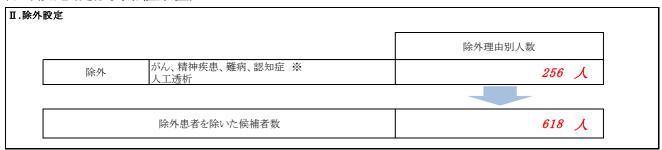
条件設定による指導対象者の特定(健診異常値放置)

I.条件設定による指導対象者の特定							
・健診異常値放置者 …健診受診後、医療機関へ受診していない人 厚生労働省受診勧奨判定値以上の検査数値のある人を対象とする							
条件設定により対象となった候補者数	874 人						

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月~令和2年3月健診分(12カ月分)。 資格確認日…令和2年2月29日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、健診異常が発生している状態についても認知していると考えられるためである。また、指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(健診異常値放置)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月~令和2年3月健診分(12カ月分)。 資格確認日…令和2年2月29日時点。

※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者618人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。健診異常値放置受診勧奨対象者の判定は、厚生労働省の定める受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)を用いた結果、異常が認められ、かつ生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に対するレセプトが発生していない対象者を特定する。ここでは受診勧奨判定異常値因子数(血糖、血圧、脂質)が多い患者を優先とし、喫煙は生活習慣病のリスクを高めることから、喫煙の有無によりリスクを判定した。

これら対象者はすべてが受診勧奨対象者ではあるが、通知件数の制約により優先順位を設定する必要がある場合、候補者Aより順に対象者を選択する。

優先順位(健診異常値放置)

医療機関受診勧奨	候補者A	候補者C		
判定異常値因子数 3つ	1 人		7	人
医療機関受診勧奨	候補者B	候補者D		
判定異常値因子数 2つ	23 J		98	人
医療機関受診勧奨	候補者E	候補者F		
判定異常値因子数 1つ	98 J		<i>391</i>	人
	喫煙	非喫煙		
	←良	効率 悪→		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月~令和2年3月健診分(12カ月分)。 資格確認日…令和2年2月29日時点。

健診異常値放置者の判定について

・健康診査にて異常値があるとされた被保険者を対象とし、健康診査受診後に医療機関への受診がない被保険者を健診異常値放置者 と判定する。

(5)生活習慣病治療中断者に係る分析

生活習慣病は一度発症すると治癒することは少ないため病状の維持が重要となる。そのためには定期的な診療が必要であり、継続的な服薬が求められる。しかし、生活習慣病となった患者の中には服薬を適切に行わないケース、定期的な診療を自己の判断により止めてしまうケースがある。その結果、生活習慣病が進行し、脳卒中、心筋梗塞等の重篤な疾病を引き起こしてしまう可能性がある。

「(1)特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において治療中断が発生している患者121人が対象となる。

条件設定による指導対象者の特定(生活習慣病治療中断者)

4件設定による指導対象者の特定						
・生活習慣病治療中断者 …かつて、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で定期受診をしていたが、その後、定期受診を中断した患者						
	候補者人数					
6 治療中断者	90 人					
上記以外のグループ	31 人					
条件設定により対象となった候補者数 (合計) 121 人						
	つて、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で定期受診をしていたが、その後、定 6 治療中断者 上記以外のグループ					

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年2月29日時点。

上記以外のグループ…治療中断者は健康診査受診の有無にかかわらず発生する。「(1)特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者 群分析」では、最初の分岐で健康診査の受診の有無を見ているため、「6 治療中断者」には健康診査未受診者のみ 格納される。事業を実施するためには健康診査受診者の治療中断者も併せて事業を実施する必要があるため、ここ で健康診査受診者における治療中断者の人数を特定している。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、生活習慣病の治療を意図的に中止している可能性も考えられる。合わせて指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(生活習慣病治療中断者)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年2月29日時点。

※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者118人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。生活習慣病治療中断者の判定は、過去のレセプトデータから医療機関への受診頻度を確認し、その受診頻度に応じた期間を超えて、医療機関への受診が確認されない患者を特定する。ここでは生活習慣病の有病数が多い患者を優先とした。

優先順位(生活習慣病治療中断者)

Ⅲ.優先	順位			
	生活習慣病有病数 3つ	候補者A1	候補者A2	候補者A3
		1 人	5 人	2 人
がh	生活習慣病有病数	候補者B1	候補者B2	候補者B3
果	生活習慣病有病数 2つ 2つ 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 人	15 人	10 人
低	生活習慣病有病数	候補者C1	候補者C2	候補者C3
V	19	11 人	46 人	26 人
		毎月受診	2~3カ月に1度受診	4カ月以上の定期受診

効果が高く効率の良い候補者A1~候補者C3の患者数	118 人
---------------------------	-------

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年2月29日時点。

生活習慣病治療中断者の判定について

・分析期間内において生活習慣病の治療を行っている人の生活習慣病での医療機関受診頻度を特定する。その後、毎月受診していた 方が毎月受診せず中断している等、現在の受診状況と比較し、生活習慣病の医療機関受診を中断している判定を行う。

(6) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

人工透析患者の分析を行った。「透析」は傷病名ではないため、「透析」にあたる診療行為が 行われている患者を特定し、集計した。

人工透析の患者は減少傾向にあるが、起因が明らかとなった患者のうち、Ⅱ型糖尿病を起因として透析となる、本態性高血圧の割合は増えている。

対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

透析療法の種類	透析患者数 (人)							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
血液透析のみ	77	73	71	71	55	60		
腹膜透析のみ	2	2	1	0	0	0		
血液透析及び腹膜透析	2	2	1	2	3	2		
透析患者合計	81	77	73	73	58	62		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成26年3月~令和2年2月診分(72カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。 現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

透析患者の起因分析

	Maria de Anton	平成2	6年度	平成2	7年度	平成2	8年度	生活習慣を	食事療法等指導することで
	透析に至った起因	透析患者数	割合 ※ (%)	透析患者数 (人)	割合 ※ (%)	透析患者数	割合 ※ (%)	起因とする疾病	重症化を遅延できる 可能性が高い疾病
1	糖尿病性腎症 I 型糖尿病	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-	-
2	糖尿病性腎症 Ⅱ型糖尿病	53	65.4%	46	60.0%	49	67.1%	•	•
3	糸球体腎炎 IgA腎症	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-	-
4	糸球体腎炎 その他	8	9.9%	6	7.7%	6	8.2%	-	•
(5)	腎硬化症 本態性高血圧	5	6.2%	5	6.4%	5	6.8%	•	•
6	腎硬化症 その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-	-
7	痛風腎	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	•	•
8	起因が特定できない患者 ※	15	18.5%	20	25.9%	13	17.8%	-	_
_	透析患者合計	81		77		73			

	透析に至った起因	平成2		平成3			1年度	生活習慣を	食事療法等指導することで 重症化を遅延できる
	透析に主つた起囚	透析患者数 (人)	割合 ※ (%)	透析患者数 (人)	割合 ※ (%)	透析患者数 (人)	割合 ※ (%)	起因とする疾病	可能性が高い疾病
1	糖尿病性腎症 I型糖尿病	0	0.0%	1	1.7%	0	0.0%	-	-
2	糖尿病性腎症 Ⅱ型糖尿病	41	56.2%	29	50.0%	34	54.8%	•	•
3	糸球体腎炎 IgA腎症	2	2.7%	0	0.0%	0	0.0%	=	-
4	糸球体腎炎 その他	6	8.2%	6	10.3%	5	8.1%	=	•
(5)	腎硬化症 本態性高血圧	5	6.8%	7	12.1%	9	14.5%	•	•
6	腎硬化症 その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-	-
7	痛風腎	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	•	•
8	起因が特定できない患者 ※	19	26.0%	15	25.9%	14	22.6%	-	-
	透析患者合計	73		58		62			

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成26年3月~令和2年2月診分(72カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

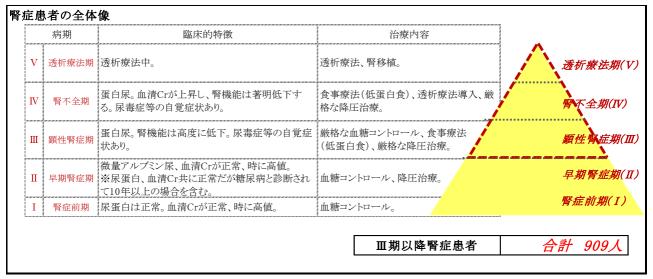
※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

※⑧起因が特定できない患者…①~⑦の傷病名組み合わせに該当しない患者。

「腎症の起因分析」「II型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定する。その結果、腎症患者909人中265人の適切な指導対象者を特定した。

腎症患者の全体像を以下に示す。

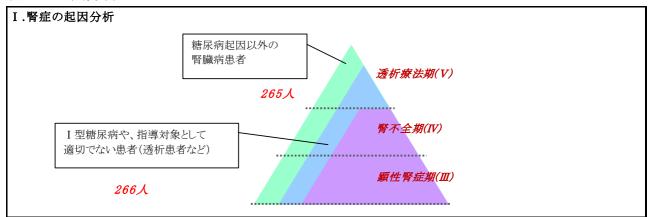
腎症患者の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。 資格確認日…令和2年2月29日時点。

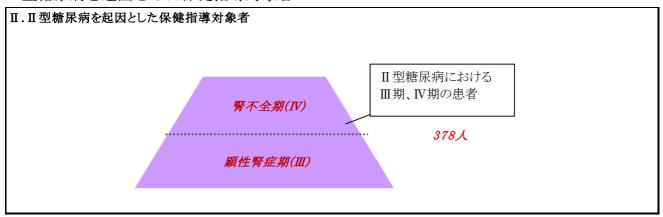
「腎症の起因分析」を以下に示す。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、265人の患者が存在する。また、青色部分は糖尿病患者であるが、生活習慣を起因としていない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、すでに資格喪失している等)と考えられ、266人の患者が存在する。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となる。

腎症の起因分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。 資格確認日…令和2年2月29日時点。 次に、「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」を以下の通り示す。腎不全期または顕性腎症期の患者は合わせて378人となった。重症化予防を実施するに当たり、適切な病期は、透析への移行が近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期となる。

Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者



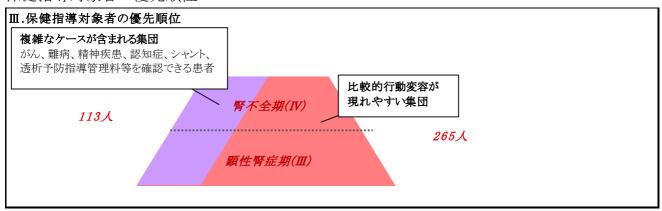
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年2月29日時点。

次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析した。378人の うち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる 患者は、113人存在する。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、265人存在する。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがある。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者である。

保健指導対象者の優先順位

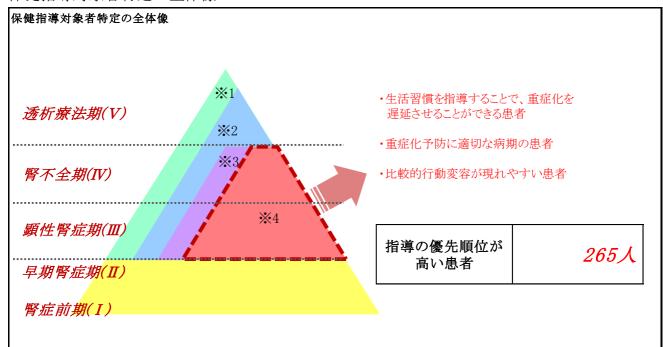


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年2月29日時点。

以上の分析のように「腎症の起因分析」「II型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、265人となった。この分析の全体像を以下に示す。

保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年2月29日時点。

- ※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者
- ※2… I 型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)
- ※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)
- ※4…比較的行動変容が現れやすい患者

(7) 受診行動適正化に係る分析

多受診(重複受診、頻回受診、重複服薬)は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。指導対象者数の分析結果は以下の通りである。

ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)のレセプトデータを用いて分析した。

重複受診者数

	平成31年3月	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月	令和2年1月	令和2年2月
重複受診者数(人) ※	17	23	24	18	24	21	23	16	25	17	20	23
12カ月間の延べ人数										251人		
12カ月間の実人数										126人		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年2月29日時点。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※重複受診者数…1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

頻回受診者数

	平成31年3月	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月	令和2年1月	令和2年2月
頻回受診者数(人) ※	44	49	44	42	38	31	36	49	40	30	33	35
12カ月間の延べ人数 47										471人		
12カ月間の実人数 18									183人			

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年2月29日時点。

※頻回受診者数…1カ月間で12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

重複服薬者数

	平成31年3月	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月	令和2年1月	令和2年2月
重複服薬者数(人) ※	114	156	141	117	104	103	89	107	98	99	83	76
12カ月間の延べ人数									人数		1,287人	
								127	カ月間の実ん	人数		669 <i>)</i>

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年2月29日時点。

※重複服薬者数…1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

分析結果より、12カ月間で重複受診者は126人、頻回受診者は183人、重複服薬者は669人存在する。機械的に多受診患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに「必要な医療」の可能性がある患者も含まれることである。機械的に多受診患者を特定するのではなく、十分な分析の上、指導対象者を特定する必要がある。ここでは、平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析した。

はじめに、「条件設定による指導対象者の特定」を行う。重複受診・頻回受診・重複服薬を併せ持つ患者がいるため前述の分析結果より患者数は減少する。

条件設定による指導対象者の特定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

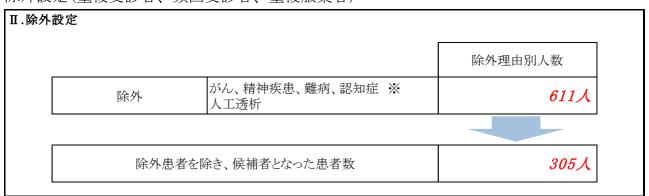
I.条件設定	定による指	導対象者の特定	
•頻	回受診患者	…1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者 …1カ月間で同一医療機関に12回以上受診している患者 …1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数	合計が60日を超える患者
		条件設定により候補者となった患者数	916人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年2月29日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。 必要な医療の可能性がある患者、また指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定で きない患者についても除外する。

除外設定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年2月29日時点。

※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者305人のうち、指導することでより効果が高く、より効率の良い対象者を特定する。これらは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。効果については、レセプト期間最終月から、6カ月間遡ったレセプトのうち5~6カ月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を最優先する。効率については、指導のアポイントメントが取りやすい等の理由から60歳以上を最優先とし、次に、50歳~59歳を対象とした。以下の通り、効果が高く効率の良い候補者A~候補者Fは17人となった。

優先順位(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

Ⅱ.優先	順位					
	最新6カ月レセプトのうち 5~6カ月	候補者A	候補者C			
^	重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	6人	2 <u>/</u>	候		
高	最新6カ月レセプトのうち 3~4カ月	候補者B	候補者D	補 者 と		
効果	重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	6A	01	しな		
低	最新6カ月レセプトのうち 2カ月 重複・頻回・重複服薬に	候補者E	候補者F	V		
\downarrow	該当する患者 (ただし直近2カ月レセに該当)	3人	<i>0</i> 人			
	その他の 重複・頻回・重複服薬患者			288 A		
		60歳以上	50~59歳	50歳未満		
		←良	效率	悪→		
	効果が高く効率の	Fの患者数	17,	ノ		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。 資格確認日…令和2年2月29日時点。

(8) ジェネリック医薬品普及率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図る。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点がある。

以下に平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)のジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を示す。現在、ジェネリック医薬品普及率は45.6%(金額ベース)、75.6%(数量ベース)である。

ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

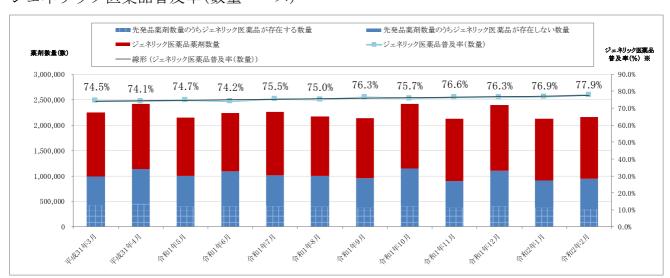


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



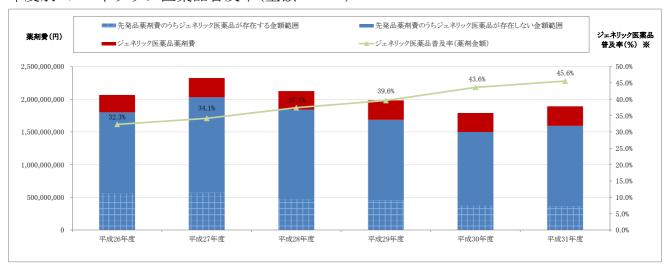
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

平成26年度から平成31年度における、ジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を年度別に示す。平成31年度ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)45.6%は、平成26年度32.3%より13.3ポイント上昇しており、平成31年度ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)75.6%は、平成26年度58.6%より17.0ポイント上昇している。

年度別 ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

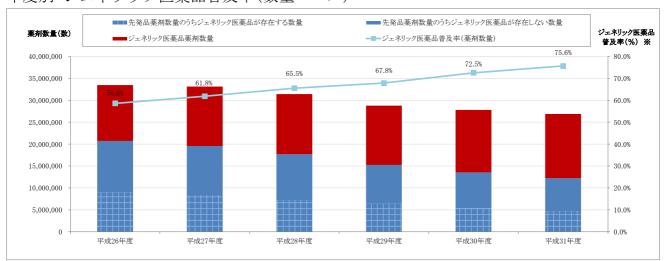


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成26年3月~令和2年2月診療分(72カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

年度別 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



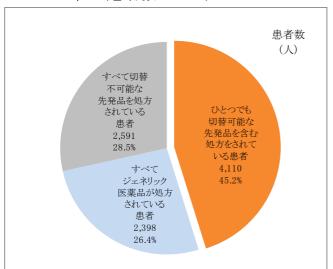
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成26年3月~令和2年2月診療分(72カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

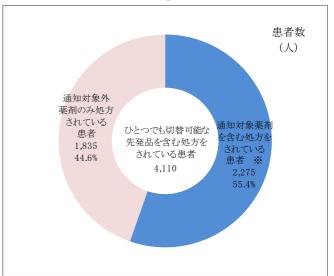
※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

次に、令和2年2月診療分のレセプトで薬剤処方状況別の患者数を以下に示す。患者数は9,099人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者は4,110人で患者数全体の45.2%を占める。さらにこのうちデータ分析会社基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、2,275人がジェネリック医薬品切り替え可能な薬剤を含む処方をされている患者となり、ひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者の55.4%を占める。

ジェネリック医薬品への切り替えポテンシャル(患者数ベース)



「ひとつでも切替可能な先発品を含む 処方をされている患者」の内訳



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は令和2年2月診療分(1カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※通知対象薬剤を含む処方をされている患者…データ分析会社通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方のものは含まない)。 ※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

(9)薬剤併用禁忌に係る分析

薬剤の相互作用は、効果の増強または減弱、副作用などを生じさせ、時に患者に重大な影響を与える可能性がある。通常、薬剤師がお薬手帳等で薬剤の相互作用等を確認するが、患者がお薬手帳を持たず、さらに処方箋発行医療機関と処方する調剤薬局も異なる場合、すでに処方された薬と新たに処方される薬とで併用禁忌の状態になる可能性がある。

現在、平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)の対象者延べ人数は683人、実人数は460人である。

薬剤併用禁忌対象者数

	平成31年3月	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月	令和2年1月	令和2年2月
薬剤併用禁忌 対象者数(人)※	44	50	57	54	45	41	44	65	54	74	87	68

12カ月間の延べ人数	683 人
12カ月間の実人数	460 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年2月29日時点。

※薬剤併用禁忌対象者…1カ月間に併用禁忌とされる薬剤を処方された人を対象とする。

薬剤併用禁忌 医薬品リスト

実人数(人)	460
件数合計(件)	956

No.	(A) 剤型名	(A) 医薬品 コード	(A) 医薬品名	(B) 剤型名	(B) 医薬品 コード	(B) 医薬品名	件数
1	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160501	PL配合顆粒	144
2	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	621498101	カフコデN配合錠	135
3	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	88
4	内服	622081101	トラムセット配合錠	内服	621558101	SG配合顆粒	29
5	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	18
6	内服	622028201	インヴェガ錠3mg	内服	620005621	リスペリドン錠2mg「CH」	18
7	内服	622028401	インヴェガ錠9mg	内服	620005621	リスペリドン錠2mg「CH」	18
8	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160301	ペレックス配合顆粒	18
9	内服	610443020	ネオーラル50mgカプセル	内服	622271901	ピタバスタチンカルシウム錠2mg「日医工」	18
10	内服	620161401	ピーエイ配合錠	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	17
11	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620160501	PL配合顆粒	15
12	内服	616240001	小児用バクシダール錠50mg	内服	620090601	イブプロフェン錠100mg「タイヨー」	13
13	内服	622556901	アセトアミノフェン錠300mg「マルイシ」	内服	620161401	ピーエイ配合錠	12
14	内服	622454201	オルメテックOD錠40mg	内服	621932501	ラジレス錠150mg	12
15	内服	620155101	スルトプリド塩酸塩錠200mg「アメル」	内服	620152501	ブロムペリドール錠3mg「アメル」	12
16	内服	621974601	レザルタス配合錠HD	内服	621932501	ラジレス錠150mg	10
17	内服	620005824	セララ錠25mg	内服	620006951	スローケー錠600mg	Ć
18	内服	622081101	トラムセット配合錠	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	í
19	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	622652301	トアラセット配合錠「日医工」	3
20	内服	620008614	ケーサプライ錠600mg	内服	620005824	セララ錠25mg	3
21	内服	620266132	スピロノラクトン錠25mg「日医工」	内服	620005825	セララ錠50mg	8
22	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	660421116	ホクナリンテープ1mg	8
23	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	7
24	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620161001	マリキナ配合顆粒	7
25	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620160801	トーワチーム配合顆粒	7
26	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	620160801	トーワチーム配合顆粒	7
27	内服	611170693	バルネチール錠200 200mg	内服	610453151	レボトミン錠25mg	1
28	内服	622028401	インヴェガ錠9mg	内服	622129801	リスペリドン内用液分包1mg「日医工」 0.1%1mL	(
29	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620161401	ピーエイ配合錠	(
30	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	622657101	トアラセット配合錠「トーワ」	(
31	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	622658501	トアラセット配合錠「日新」	6
32	内服	622081101	トラムセット配合錠	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	6
33	内服	620161301	幼児用PL配合顆粒	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	6
34	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	621558101	SG配合顆粒	5
35	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	620160301	ペレックス配合顆粒	
36	内服	621558101	SG配合顆粒	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	5
37	内服	620008279	アセトアミノフェン原末「マルイシ」	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	į
38	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160801	トーワチーム配合顆粒	
39	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620161401	ピーエイ配合錠	
40	内服	620155101	スルトプリド塩酸塩錠200mg「アメル」	内服	611170713	コントミン糖衣錠12.5mg	5
41	内服	620160301	ペレックス配合顆粒	内服	621498101	カフコデN配合錠	5
42	内服	620160301	ペレックス配合顆粒	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	5
43	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	620009062	ベネトリン吸入液0.5%	5
44	内服	621520803	アセトアミノフェン錠200mg「JG」	内服	620160501	PL配合顆粒	4
45	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	622661701	トアラセット配合錠「杏林」	4
46	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	621558101	SG配合顆粒	4
47	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	620160601	サラザック配合顆粒	4
48	内服	622671001	グルベス配合OD錠	内服	622017401	グリメピリド錠1mg「三和」	4
49	内服	622306501	ザルティア錠5mg	内服	620326001	ニコランジル錠5mg「サワイ」	4
50	内服	620266132	スピロノラクトン錠25mg「日医工」	内服	620005824	セララ錠25mg	4

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年2月29日時点。

※リストは51件以上省略

(10)服薬情報に係る分析

薬剤の多剤服薬は、副作用が起こりやすく様々なリスクがある。特に高齢者に起こりやすい副作用にはふらつき・転倒、物忘れがある。転倒による骨折をきっかけに寝たきりになったり、うつ、せん妄、食欲低下、便秘、排尿障害等が起こりやすくなる。

本分析では、服薬状況を把握し適切な服薬を促すことを目的に、対象となる患者の特定を 行う。薬剤種類数別対象者数は以下の通りである。複数医療機関から内服薬が長期(14日以 上)処方されており、その長期処方の内服薬が6種類以上の対象者は872人である。

薬剤種類数別対象者数

						象者数(丿	()			
	年齢階層	~39歳	40歳 ~44歳	45歳 ~49歳	50歳 ~54歳	55歳 ~59歳	60歳 ~64歳	65歳 ~69歳	70歳~	合計
被	保険者数(人)	6,033	1, 129	1,432	1, 372	1,476	2,276	4, 168	4, 365	22, 251
	2種類	20	3	4	8	7	18	37	37	134
	3種類	21	5	10	6	12	27	77	82	240
	4種類	29	11	10	11	17	31	70	103	282
	5種類	23	6	8	17	12	39	80	116	301
	6種類	12	5	11	11	11	30	62	71	213
	7種類	5	2	3	8	16	14	42	69	159
	8種類	7	5	8	6	5	18	32	62	143
	9種類	6	2	5	3	5	14	28	54	117
薬	10種類	1	2	0	8	2	5	21	26	65
剤	11種類	3	2	1	4	2	7	10	17	46
種	12種類	2	1	1	2	2	5	10	11	34
類	13種類	1	0	0	1	3	2	4	10	21
数	14種類	2	3	2	0	3	2	7	5	24
	15種類	1	2	1	1	0	0	3	5	13
	16種類	0	0	0	0	0	0	3	2	5
	17種類	0	0	0	1	0	3	0	3	7
	18種類	1	0	0	0	1	1	1	1	5
	19種類	1	0	2	0	0	1	0	0	4
	20種類	1	1	0	0	0	1	3	2	8
	21種類以上	1	0	3	1	0	0	0	3	8
	合計	137	50	69	88	98	218	490	679	1,829



長期多剤服薬者数(人)※ 872

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和1年11月~令和2年2月診療分(4カ月分)。

長期(14日以上)処方されている内服薬を集計対象とする。

※長期多剤服薬者数…複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されており、その長期処方の内服薬が6種類以上の人数。

また、長期多剤服薬者872人が被保険者全体に占める割合は3.9%、長期服薬者全体に占める割合は47.7%である。

長期多剤服薬者の状況

		~39歳	40歳 ~44歳	45歳 ~49歳	50歳 ~54歳	55歳 ~59歳	60歳 ~64歳	65歳 ~69歳	70歳~	合計
A	被保険者数(人)	6, 033	1, 129	1, 432	1, 372	1, 476	2, 276	4, 168	4, 365	22, 251
В	長期服薬者数(人)※	137	50	69	88	98	218	490	679	1, 829
С	長期多剤服薬者数(人)※	44	25	37	46	50	103	226	341	872
C/A	被保険者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	0.7%	2. 2%	2. 6%	3. 4%	3.4%	4.5%	5. 4%	7.8%	3.9%
С/В	長期服薬者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	32. 1%	50.0%	53. 6%	52. 3%	51.0%	47. 2%	46.1%	50. 2%	47.7%

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は令和1年11月~令和2年2月診療分(4カ月分)。

長期(14日以上)処方されている内服薬を集計対象とする。

※長期服薬者数…複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されている人数。

※長期多剤服薬者数…複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されており、その長期処方の内服薬が6種類以上の人数。

4. 分析結果に基づく健康課題の把握

(1)分析結果

平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)における分析結果を以下に示す。

【疾病大分類別】

1 /2 1 /1 3 /2			
医療費力	が高い疾病	医療費	構成比
1位	新生物<腫瘍>	1, 098, 515, 656円	17.8%
2位	循環器系の疾患	1,060,677,398円	17. 2%
3位	内分泌,栄養及び代謝疾患	650, 073, 638円	10.5%
患者数為	が多い疾病	患者数	
1位	呼吸器系の疾患	-	10,965人
2位	消化器系の疾患	-	10,402人
3位	内分泌,栄養及び代謝疾患		10, 178人
患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの	医療費
1位	周産期に発生した病態	75	53, 149円
2位	新生物<腫瘍>	18	81,333円
3位	妊娠,分娩及び産じょく	14	45,841円

【疾病中分類別】

医療費	が高い疾病	医療費	構成比
1位	糖尿病	362, 218, 750円	5. 9%
2位	その他の悪性新生物<腫瘍>	358, 514, 450円	5. 8%
3位	その他の心疾患	299, 849, 960円	4. 9%

患者数	が多い疾病	患者数
1位	糖尿病	7,405人
2位	高血圧性疾患	6, 998人
3位	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他 に分類されないもの	6,666人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	白血病	1, 227, 733円
2位	妊娠及び胎児発育に関連する障害	1, 188, 207円
3位	腎不全	589, 166円

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

高額レ	セプト件数	1,940件
高額レ	セプト件数割合	0.7%
高額レ	セプト医療費割合	33. 2%
高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)		患者一人当たりの医療費
1位	皮膚及び皮下組織の感染症	8, 682, 300円
2位	白血病	8, 366, 314円

7,018,398円

【健診異常値放置者の状況】

3位

健診異常値放置者	874人
----------	------

妊娠及び胎児発育に関連する障害

【生活習慣病治療中断者の状況】

中断者 121人
中断者 12

【人工透析患者の状況】

人工透析患者	62人
(Ⅱ型糖尿病起因患者)	34人

【医療機関受診状況】

重複受診者	126人
頻回受診者	183人
重複服薬者	669人

[※]平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)期間中の実人数

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

ジェネリック医薬品普及率	75. 6%
--------------	--------

【薬剤併用禁忌の発生状況】

薬剤併用禁忌対象者 460	人
---------------	---

【服薬状況】

長期多剤服薬者	872人
---------	------

平成26年度から平成31年度における疾病分類別の順位、高額レセプトの件数と割合等を年度別に示す。

【疾病大分類別】

医	療費	が高い疾病	医療費	構成比
平	1位	循環器系の疾患	1, 305, 673, 539円	18. 7%
成 26	2位	新生物<腫瘍>	897, 749, 765円	12. 9%
年度	3位	内分泌、栄養及び代謝疾患	741, 195, 787円	10.6%
平成	1位	循環器系の疾患	1, 283, 322, 403円	17.8%
27 年	2位	新生物<腫瘍>	950, 026, 812円	13. 2%
度	3位	内分泌、栄養及び代謝疾患	745, 294, 225円	10.3%
平成	1位	循環器系の疾患	1, 195, 004, 787円	17. 3%
28	2位	新生物<腫瘍>	1,007,373,829円	14. 6%
年度	3位	内分泌,栄養及び代謝疾患	708, 802, 784円	10. 2%
平成	1位	循環器系の疾患	1, 227, 799, 678円	18. 7%
29	2位	新生物<腫瘍>	980, 288, 887円	14. 9%
年度	3位	内分泌、栄養及び代謝疾患	683, 141, 444円	10. 4%
平成	1位	循環器系の疾患	1,069,789,270円	17. 7%
30	2位	新生物<腫瘍>	982, 216, 791円	16. 2%
年度	3位	内分泌,栄養及び代謝疾患	641, 156, 568円	10.6%
平成	1位	新生物<腫瘍>	1, 098, 515, 656円	17. 8%
31	2位	循環器系の疾患	1,060,677,398円	17. 2%
年度	3位	内分泌、栄養及び代謝疾患	650, 073, 638円	10. 5%

【疾病中分類別】

医	療費を	が高い疾病	医療費	構成比
平	1位	高血圧性疾患	435, 718, 786円	6. 3%
成 26	2位	糖尿病	404, 097, 913円	5.8%
年度	3位	腎不全	345, 333, 463円	5.0%
平成	1位	高血圧性疾患	416, 779, 680円	5.8%
27	2位	糖尿病	399, 765, 505円	5. 5%
年度	3位	腎不全	335, 530, 429円	4. 6%
平成	1位	糖尿病	388, 423, 565円	5. 6%
28	2位	高血圧性疾患	383, 056, 428円	5. 5%
年度	3位	その他の悪性新生物<腫瘍>	344, 522, 176円	5.0%
平成	1位	糖尿病	369, 464, 088円	5. 6%
29	2位	その他の悪性新生物<腫瘍>	359, 265, 543円	5. 5%
年度	3位	高血圧性疾患	342, 412, 766円	5. 2%
平成	1位	糖尿病	358, 749, 867円	5. 9%
30	2位	その他の悪性新生物<腫瘍>	341, 712, 466円	5. 6%
年度	3位	その他の心疾患	320, 226, 652円	5.3%
平成	1位	糖尿病	362, 218, 750円	5. 9%
31	2位	その他の悪性新生物<腫瘍>	358, 514, 450円	5.8%
年度	3位	その他の心疾患	299, 849, 960円	4.9%

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

		[
平成	高額レセプト件数 	2,033件
26 年	高額レセプト件数割合	0.6%
度	高額レセプト医療費割合	28.5%
平成	高額レセプト件数	2,166件
27	高額レセプト件数割合	0.7%
年度	高額レセプト医療費割合	31.1%
平成	高額レセプト件数	2,079件
28	高額レセプト件数割合	0.7%
年度	高額レセプト医療費割合	31.5%
平成	高額レセプト件数	2,048件
29	高額レセプト件数割合	0.7%
年度	高額レセプト医療費割合	32.7%
平成	高額レセプト件数	1,868件
30	高額レセプト件数割合	0.7%
年度	高額レセプト医療費割合	31.7%
平成	高額レセプト件数	1,940件
31	高額レセプト件数割合	0.7%
年度	高額レセプト医療費割合	33.2%

高額患者		発生患者の疾病傾向 りの医療費順(中分類)	患者一人当たりの医療費
平成	1位	くも膜下出血	6,877,800円
26	2位.	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	6,794,450円
年度	3位	白血病	6,662,578円
平成	1位	白血病	10,118,436円
27	2位	悪性リンパ腫	8,445,645円
年度	3位	くも膜下出血	6,523,700円
平成	1位	白血病	9,114,528円
28	2位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	7,438,670円
年度	3位	自律神経系の障害	6,954,750円
平成	1位	自律神経系の障害	10,102,260円
29	2位	その他の精神及び行動の障害	7,373,020円
年度	3位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	7,275,987円
平成	1位	白血病	10,804,204円
30	2位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	10,421,210円
年度	3位	熱傷及び腐食	9,928,990円
平成	1位	皮膚及び皮下組織の感染症	8,682,300円
31	2位	白血病	8,366,314円
年度	3位	妊娠及び胎児発育に関連する障害	7,018,398円

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
ジェネリック 医薬品普及率	58. 6%	61.8%	65. 5%	67.8%	72.5%	75. 6%

(2)分析結果に基づく課題とその対策

分析結果からみた課題と対策

22.7.7.7.	<u>, </u>
課題と対策	対策となる事業
◆特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率生活習慣病患者が多数存在し、医療費も多額な状況である。特に糖尿病と高血圧は患者が多く、それらが重症化した心疾患や脳梗塞、腎不全の医療費も高額化している。また平成31年度の特定健康診査の受診率は34.6%、保健指導の実施率は38.3%となっている。さらなる受診率向上を図り、必要な人に特定保健指導を行うことにより生活習慣病を予防する。	・特定健康診査未受診者 対策・特定保健指導事業・人間ドック等健康診査 費用助成事業・若年者健康診査事業
◆生活習慣病の予防と知識普及啓発 生活習慣病の予防と早期発見・早期治療のため、市民に広く健康づくりを意識し、 生活習慣改善に取り組めるよう、啓発活動を行う。	・ポピュレーション アプローチ (健康づくりに関する 普及啓発)事業
◆糖尿病性腎症 人工透析に至ってしまった患者の半数以上がⅡ型糖尿病が起因である(平成31年度 62人中34人)。また中分類疾病の分析では3年連続で医療費の高い疾病の1位に糖尿病 が挙がっている。糖尿病は進行すると腎症に至り透析が必要になる。腎症以外の合 併症も併発し、医療費が高額となると同時に患者のQOLの低下が問題となる。そこで 早期に保健指導を行い生活習慣を改善することで、腎症の悪化を遅延させることが できると考える。	・糖尿病性腎症 重症化予防
◆高血圧症患者 高血圧症の患者が多く、虚血性心疾患や脳梗塞など重症化し、医療費が高額と なった患者が多く存在する。早期に保健指導を行い生活習慣を改善することで、重 症化を予防する。	• 高血圧症重症化予防 事業
◆重複·頻回受診者、重複服薬者 重複受診者、頻回受診者、重複服薬者が多数存在している(平成31年度 重複受診 者126人、頻回受診者183人、重複服薬者669人)。それらの患者を正しい受診行動に 導く指導が必要である。	・受診行動適正化指導 事業
◆ジェネリック医薬品の普及率 直近の普及率(数量ベース)は、77.9%で、国が定める目標(80%以上)と比較して低いため、切り替え勧奨を行う必要がある。	・ジェネリック医薬品 差額通知
◆薬剤併用禁忌 多数の薬剤併用禁忌対象者が存在する(平成31年度 460人)。医療機関等に情報提供し、併用禁忌となる薬剤の処方を防止する。またお薬手帳の啓発活動を行い、健康被害の減少を目指す。	・薬剤併用禁忌防止
◆服薬の状況 多数の長期多剤服薬者が存在する(平成31年度 6剤以上872人)。多剤服薬は副作用 が起こりやすく様々なリスクがあるため、適正な服薬を促す必要がある。	・服薬情報通知
◆精神疾患 統合失調症やうつ病など、精神疾患者が多く存在しており、一人当たり医療費も 高額であるため(平成31年度大分類で、一人当たり医療費4位)、被保険者の精神的な 健康増進を図る必要がある。	・精神疾患の分析

5. 保健事業実施計画

(1)各事業の目的と概要一覧

第2期データヘルス計画にて、実施する事業一覧を以下に示す。

事業名	事業目的	事業概要
特定健康診査 未受診者対策 (特定健診受診率向上)	被保険者の生活習慣病予防	特定健診を受診していない人に、生活習慣病の予防の 観点から受診するように訪問による個別勧奨、受診勧 奨通知を行う。
特定保健指導事業	被保険者の生活習慣病予防	特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、 生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による 支援を面接や電話、e-mail等で行う。
糖尿病性腎症重症化予防事業	被保険者の糖尿病重症化予防	特定健診の検査値とレセプトの治療状況から対象者を 特定し、専門職より対象者個人に面談指導と電話指導 を行う。指導内容は、食事指導・運動指導・服薬管理 等とし、指導完了後も自立して正しい生活習慣を持続 できるように日常に根付いたものとする。
高血圧症重症化 予防事業	高血圧症患者の減少	特定健診の検査値と高血圧症に関わるレセプト及び日本 高血圧学会の高血圧治療ガイドライン2014に基づいて対 象者を特定し、専門職より対象者個人に面談指導と電話 指導を行う。指導内容は、食事指導・運動指導・服薬管 理等とし、指導完了後も自立して正しい生活習慣を持続 できるように日常に根付いたものとする。
受診行動適正化 指導事業 (重複·頻回受診、 重複服薬)	重複・頻回受診者数、重複服薬 者数の減少	レセプトデータから、医療機関への過度な受診が確認 できる対象者、また重複して服薬している対象者を特 定し、通知書を送付する。
ジェネリック 医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品の普及率 向上	レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。
薬剤併用禁忌防止事業	薬剤併用禁忌の発生件数減少	レセプトデータから、薬剤併用禁忌の発生状況を把握 する。薬剤併用禁忌の対象者リストを作成する。
服薬情報通知事業	服薬の適正化	レセプトデータから、長期多剤服薬者を特定し通知書 を送付する。また、通知後のレセプトデータから効果 を確認する。

実施内容	目標値				
平成30年度~令和5年度	アウトプット	アウトカム			
4年以上の健診未受診者の中から対象者 を選定し家庭訪問を行う。未受診の理由 を把握し、内容別に応じた受診勧奨を実 施する。 年度内未受診者に対し、受診勧奨通知を 実施する。	再勧奨対象者への通知率 100% 訪問実施人数のモニタリング	特定健診受診者数の増加			
神栖市国民健康保険第2期特定健康診査 等実施計画に基づき、指導対象者に対し て適切な保健指導を行う。健診データよ り検査値の推移を確認する。	指導対象者の指導実施率向上 (法定報告確認)	積極的支援及び動機付け支援対象 者数が減少する(階層化人数で確認 していく)			
健診結果から指導対象者を抽出し、指導 対象者に対して適切な保健指導を行う。 指導実施者に対し、健診、レセプトデー タより検査値の推移、定期的な通院の有 無等を確認する。	指導対象者の指導実施率の向上 (実施人数を確認していく)	指導実施後の対象者のCKD重症 度分類を悪化させない			
健診結果から指導対象者を抽出し、適切な指導を行う。健診、レセプトデータより検査値の推移、定期的な通院の有無等を確認する。	指導対象者の指導実施率の向上	指導実施後の対象者の血圧値が低 下する			
対象者に対して適切な受診行動に促す案 内文書を送付する。	対象者への通知率 100% 以上	対象者の受診行動適正化 50% 通知後の医療費 50% 減少 重複・頻回受診者、重複服薬者 20% 減少			
年3回、2,000通/回 程度を想定。対象者 特定方法や効果検証方法、実施後の効果 を考慮し、継続を検討する。	対象者への通知率 100%	ジェネリック医薬品普及率(数量 ベース)85%			
薬剤併用禁忌の対象者リストを作成する。	薬剤併用禁忌割合 10%減少	併用禁忌薬剤による健康被害 0%			
対象者を特定し、服薬情報通知書を発送 する。通知後に対象者の服薬状況が適正 となっているかを確認する。	対象者への通知率 100%	対象者における服薬の適正化 5% 減少 長期多剤服薬者割合 5ポイント 減少			

事業名	事業目的	事業概要
人間ドック等健康診査 費用助成事業	被保険者の生活習慣病・疾病の 予防	人間ドック等の検査費用の助成を実施する。受診者のう ち特定保健指導対象者を特定し、特定保健指導を実施す る。
若年者健康診査事業	生活習慣病の早期予防	16歳〜39歳の市民を対象に健康診査を実施する。健康診査後、保健指導実施の周知を行い、希望者へ保健指導を 実施する。
ポピュレーション アプローチ (健康づくりに関する 普及啓発) 事業	健康に対する意識を向上させ、 健康的な生活習慣を定着させる	生活習慣病予防をはじめとした健康づくりに関する講演 や教室、健康増進事業を実施する。 年6回の医療費通知の送付を実施する。
精神疾患の分析	被保険者の精神的な健康増進 (精神疾患者の減少)	精神及び行動の障害の分析による傾向、課題を把握す る。

目札	票値
アウトプット	アウトカム
事業の周知をすすめるとともに、 事業が円滑に進むよう関係各課や 関係機関との調整を行う。	人間ドック等健康診査費用助成 事業利用者の増加
	受診者を増加させる
健康づくり事業の効果的な開催時 期や期間を見直しながら、実施回 数を増加させる	健康づくり事業の参加者が増加する
	精神疾患発生の仕組みや原因を調べることで精神疾患者の減少を図る
	アウトプット 事業の周知をすすめるとともに、 事業が円滑に進むよう関係各課や 関係機関との調整を行う。 若年者への健康診査事業の周知方 法の拡大 健康づくり事業の効果的な開催時 期や期間を見直しながら、実施回

(2)全体スケジュール

各事業におけるスケジュールについて以下に示す。

		第1期		第2期					
事業名	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
特定健康診査 未受診者対策		実施	評価	Р	D	CA	Р	I	CA
特定保健指導事業		実施	評価	P		CA	P	I	CA
糖尿病性腎症 重症化予防事業		実施	評価	P		CA	P	Ι	CA
高血圧症 重症化予防事業		実施	評価	P	D	CA	P	I	CA
受診行動適正化 指導事業 (重複·頻回受診、重複服薬)		実施	評価	P	D	CA	P	I	CA
ジェネリック 医薬品差額通知事業		実施	評価	P	D	CA	P	Ι	CA
薬剤併用禁忌 防止事業		実施	評価	P	D	CA	P	I	CA
服薬情報通知事業		実施	評価	Р	D	CA	P	I	CA
人間ドック等 健康診査費用助成事業				P	D	CA	P	Ι	CA
若年者健康診査事業		実施	評価	P	D	CA	P	I	CA
ポピュレーションアプローチ (健康づくりに関する普及啓発) 事業		実施	評価	P	D	CA	P	Ι	CA
精神疾患の分析		実施	評価	P	D	CA	P	Ι	CA

(3)各事業の実施内容と評価方法

本計画(第2期データヘルス計画)における実施事業及び評価方法は以下の通りである。

①特定健康診査未受診者対策

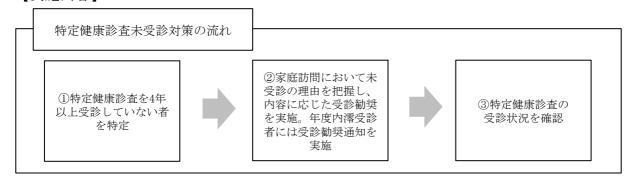
【事業目的】

被保険者の生活習慣病予防

【事業概要】

特定健康診査を受診していない人に、生活習慣病の予防の観点から受診するように訪問による個別勧奨、受診勧奨通知を行う。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット		アウト	トカム
7 9 17 9 1		目標値	評価方法
再勧奨対象者への通知率 100% 訪問実施人数のモニタリング	短期	2 4 10 10 2 4 1 4 1 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	事業対象者のうち特定健康診査を受 診した人数より確認する。
	中長期	特定健康診査受診率 45%	特定健康診査受診率を確認する。

【実施スケジュール】

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	D(実行)	対象者特定、準備	\bigcup	\bigcap										
		指導実施												
△和9年度。	C(効果測定)	効果測定												
令和3年度~ 令和5年度		効果確認												
	A(改善)	改善計画												
	P(計画)	実施計画策定 (次年度)												\bigoplus

②特定保健指導事業

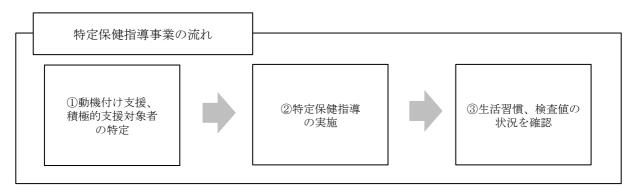
【事業目的】

被保険者の生活習慣病予防

【事業概要】

特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話で行う。

【事業内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット		アウトカム								
791791		目標	評価方法							
指導対象者への指導実施率向上	短期	積極的支援及び動機付け支 援対象者数が減少する	指導前後の階層化人数で確認する							
(法定報告確認)	中長期	積極的支援及び動機付け支 援対象者15% 減少	特定保健指導対象者割合の推移を確 認する							

【実施スケジュール】

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	D (9747)	対象者特定、準備				\bigcup								\Longrightarrow
	D(実行)	指導実施	\blacksquare		l	l								$ \leftarrow $
令和3年度~	C(効果測定)	効果測定												
令和5年度~ 令和5年度		効果確認												
	A(改善)	改善計画												
	P(計画)	実施計画策定 (次年度)												\bigoplus

③糖尿病性腎症重症化予防事業

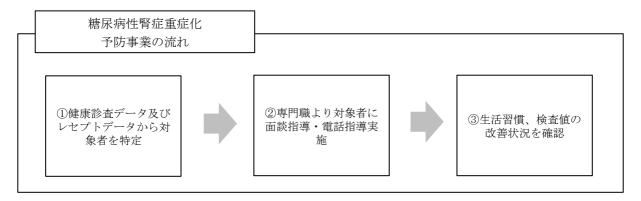
【事業目的】

被保険者の糖尿病重症化予防

【実施概要】

特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けることができるように専門職より対象者に指導を行う。

【実施内容】



【目標】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム									
7 9 5 7 9 5		目標値	評価方法							
	短期	指導実施後の対象者のCKD 重症度分類を悪化させない	指導後の結果から生活習慣や検査値 の改善状況を確認する。							
指導対象者の指導実施率の向上	中長期	糖尿病治療患者に占める新 規人工透析患者割合の維持 (H28年度 1.19%)	レセプトデータより新規人工透析患 者数の推移を確認する。							

【実施スケジュール】

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	D (HH)	対象者特定、準備				$\overline{\parallel}$								
	D(実行)	指導実施	\bigcup		l	 	 						l	
△和9年度。	C(効果測定)	効果測定												
令和3年度~ 令和5年度		効果確認												
	A(改善)	改善計画												
	P(計画)	実施計画策定 (次年度)												\iff

④高血圧症重症化予防事業

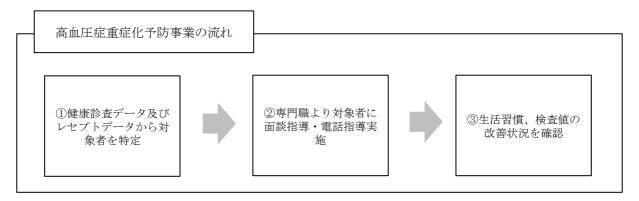
【事業目的】

高血圧症患者の減少

【実施概要】

特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けることができるように専門職より対象者に指導を行う。

【実施内容】



【目標】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット		アウトカム								
/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /		目標値	評価方法							
指導対象者の指導実施の向上	短期	指導実施後の対象者の血圧 値が低下する	指導後の検査値の改善状況を確認す る							
	中長期	高血圧患者の減少	レセプトデータより高血圧患者数の 推移を確認する。							

【実施スケジュール】

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	D(実行)	対象者特定、準備												\prod
	D(X 11)	指導実施	\prod			 								
今和2年度へ	C(効果測定)	効果測定												\bigcap
令和3年度~ 令和5年度		効果確認											•	
节和5年度	A(改善)	改善計画											•	\bigcap
	P(計画)	実施計画策定 (次年度)											•	\bigoplus

⑤受診行動滴正化指導事業(重複·頻回受診、重複服薬)

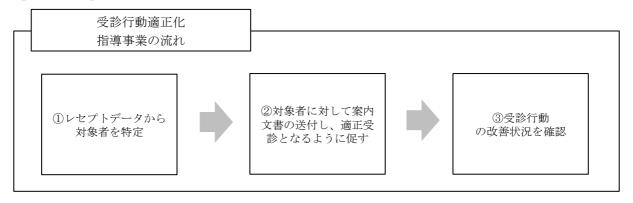
【事業目的】

重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少

【実施概要】

レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して 服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について通知書を送付する。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット		アウ	トカム
7 9 17 9 1		目標値	評価方法
対象者への通知率 100% 以上	短期	対象者の受診行動適正化 50% 通知後の医療費 50% 減少	通知後の医療機関受診状況を確認する。
	中長期	重複·頻回受診者、重複服 薬者 20% 減少	多受診対象者数の推移により確認す る。

【実施スケジュール】

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	D (2747-)	対象者特定、準備		$igcup_{}$										
	D(実行)	指導実施				lacksquare								
令和3年度~ ○ C(効果測定)	効果測定													
令和5年度	((効果測定)	効果確認												$\widehat{\mathbb{I}}$
	A(改善)	改善計画												
	P(計画)	実施計画策定 (次年度)												\bigoplus

⑥ジェネリック医薬品差額通知事業

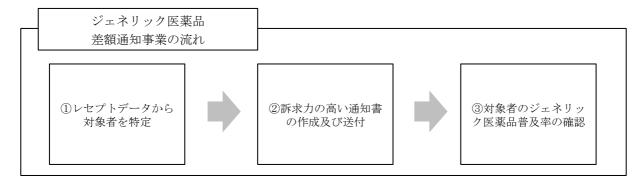
【事業目的】

ジェネリック医薬品の普及率向上

【実施概要】

レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウ	トカム
7 9 1 7 9 1	目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	通知対象者のジェネリック医薬品普 及率(数量ベース) 85%	通知前後のジェネリック医薬品普及率(数量ベース)を確認する。

【実施スケジュール】

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	D(実行)		lacksquare	l	l	l					l			
	ν(夫仃)	指導実施	(<u> </u>										
令和3年度~ C(効果測定)	効果測定													
令和3年度~ 令和5年度	C(効果測定)	効果確認					$\overline{\parallel}$							
	A(改善)	改善計画												
	P(計画)	実施計画策定 (次年度)												\bigoplus

⑦薬剤併用禁忌防止事業

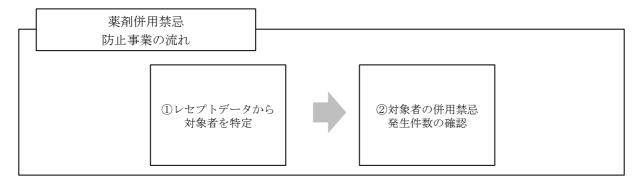
【事業目的】

薬剤併用禁忌の発生件数減少

【事業概要】

レセプトデータから、薬剤併用禁忌の発生状況を把握する。薬剤併用禁忌の対象者リストを作成する。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウ	トカム
7 9 17 9 1	目標値	評価方法
薬剤併用禁忌の対象者リストを 作成	対象者の薬剤併用禁忌発生 10% 減少	併用禁忌薬剤による健康被害 0%

【実施スケジュール】

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	D (2747=)	対象者特定、準備 4												
	D(実行)	指導実施												
A #10 /F 195	C(効果測定)	効果測定												
令和3年度~ 令和5年度		効果確認				\bigoplus								
	A(改善)	改善計画						\prod						
	P(計画)	実施計画策定 (次年度)												\bigoplus

⑧服薬情報通知事業

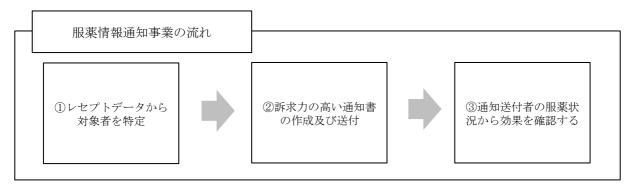
【事業目的】

服薬の適正化

【事業概要】

レセプトデータから、長期多剤服薬者を特定し通知書を送付する。また、通知後のレセプトデータから効果を確認する。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット		アウト	トカム				
7 9 5 9 5		目標値	評価方法				
	短期	対象者の長期多剤服薬 5% 減少	通知前後の服薬状況から確認する。				
対象者への通知率 100%	中長期	長期多剤服薬者割合 5ポイント 減少	長期多剤服薬者割合の推移により確 認する。				

【実施スケジュール】

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	D(実行)	対象者特定、準備	J.		\Rightarrow									
	か(美行)	指導実施					\bigcirc	,						
会和3年度~	C(効果測定)	効果測定					·							
令和3年度~ 令和5年度		効果確認												
	A(改善)	改善計画												
	P(計画)	実施計画策定 (次年度)												\bigoplus

⑨人間ドック等健康診査費用助成事業

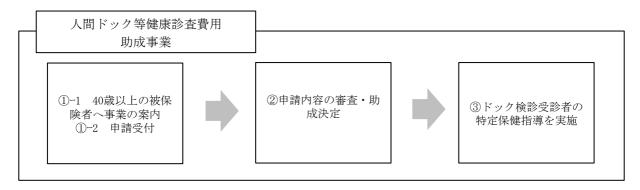
【事業目的】

被保険者の生活習慣病・疾病の予防

【実施概要】

人間ドック等の検査費用の助成を実施する。受診者のうち特定保健指導対象者を特定 し、特定保健指導を実施する。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウ	トカム
7 9 5 7 9 5	目標値	評価方法
事業の周知を進めるとともに、事業 が円滑に進むよう関係各課や関係機 関との調整を行う		利用状況の確認

【実施スケジュール】

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	D (9747)	対象者特定、準備	$\overline{\parallel}$			l				•					
	D(実行)	指導実施				l									
A T-0 F- W-	C(効果測定)	C(効果測定)	効果測定												
令和3年度~ 令和5年度		効果確認													
	A(改善)	改善計画													
	P(計画)	実施計画策定 (次年度)												\bigoplus	

⑩若年者健康診査事業

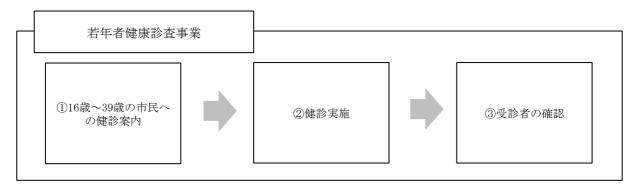
【事業目的】

生活習慣病の早期予防

【実施概要】

16歳~39歳の市民を対象に健康診査を実施する。健康診査後、保健指導実施の主値を行い、希望者へ保健指導を実施する。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウ	トカム
797797	目標値	評価方法
若年者への健康診査事業の周知 方法の拡大	受診者を増加させる	受診状況の確認

【実施スケジュール】

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	D (2774=)	D(実行) 対象者特定、準備												
	D(夫1])	指導実施												
△和9年度。	C(効果測定)	効果測定												\bigoplus
令和3年度~ 令和5年度		効果確認												
	A(改善)	改善計画												\bigcup
	P(計画)	実施計画策定 (次年度)												\bigoplus

⑪ポピュレーションアプローチ(健康づくりに関する普及啓発)事業

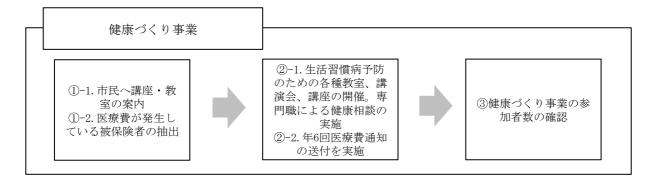
【事業目的】

健康に対する意識を向上させ、健康的な生活習慣を定着させる

【実施概要】

生活習慣病予防をはじめとした健康づくりに関する講演や教室、健康増進事業を実施する。年6回の医療費通知の送付を実施する。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウ	トカム
7 9 8 2 9 8	目標値	評価方法
健康づくり事業の効果的な開催時期 や期間を見直しながら、実施回数を 増加させる	健康づくり事業の参加者が増加する	健康づくり事業の参加者数の確認

【実施スケジュール】

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	D (HH)	対象者特定、準備	\prod		 	 	 				 					
	D(実行)	指導実施			l	l	l				l		l			
A Too to the	C(効果測定)	C(効果測定)	C(効果測定)	効果測定												
令和3年度~ 令和5年度				効果確認												
	A(改善)	改善計画														
	P(計画)	実施計画策定 (次年度)												\bigoplus		

②精神疾患の分析

【事業目的】

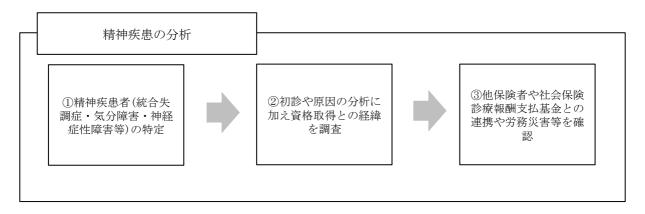
被保険者の精神的な健康増進

【実施概要】

精神及び行動の障害の分析

【実施内容】

傷病分類において0500番台の数値が与えられているレセプトを持つ患者の以前の受診 行動や治療内容が当該年度以降の受診行動に与える可能性を分析、また調剤の向精神薬 (抗不安薬・睡眠薬)との関連調査を実施する。



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウ	トカム
7 9 1 2 9 1	目標値	評価方法
精神及び行動の障害の分析から 傾向や現状の把握	精神疾患にかかる医療費の削減 精神疾患者の減少	精神疾患発生の仕組みや原因究明自殺の減少

【実施スケジュール】

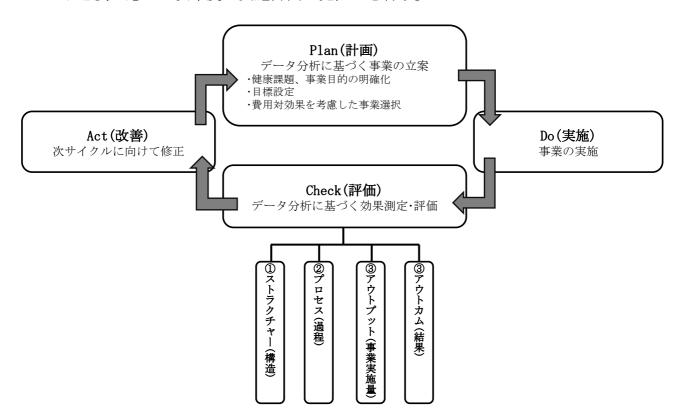
実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	D(実行)	対象者特定、準備		IJ	$\widehat{\prod}$									
	D(美仃)	指導実施				$\widehat{\mathbb{H}}$								
△和9年度。	C(効果測定)	効果測定					\bigcup		\prod					
令和3年度~ 令和5年度		効果確認							Ť	\iint				
	A(改善)	改善計画												\bigoplus
	P(計画)	実施計画策定 (次年度)												\bigoplus

6. その他

(1)データヘルス計画の見直し

①評価

本計画の目的及び目標の達成状況については、毎年度評価を行うこととし、達成状況により必要に応じて次年度の実施計画の見直しを行う。



②評価時期

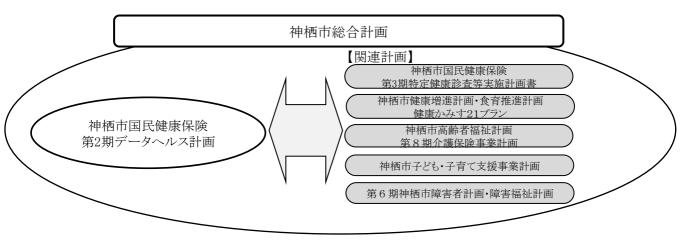
本計画の評価については、各事業のスケジュールに基づき実施する。

(2)計画の公表・周知

本計画は、広報、ホームページ等で公表するとともに、本実施計画をあらゆる機会を通じて周知・啓発を図る。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めるものとする。

(3) 本計画の位置付け

本計画は、当市の関連計画で定めた評価指標を用いるなど、それぞれの計画との整合性を図る。

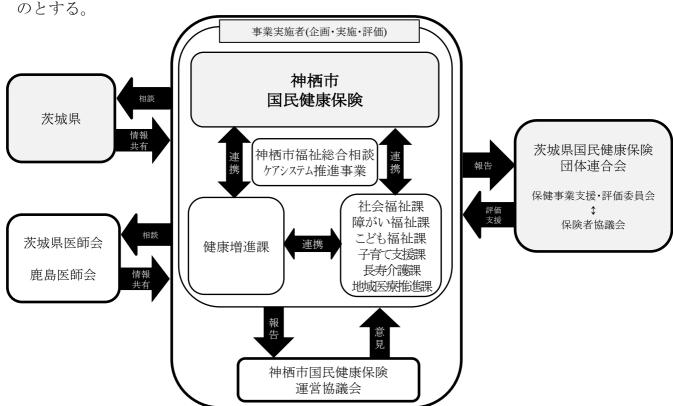


(4)事業運営上の留意事項

保健事業の推進に当たっては、一般衛生部門等との連携が重要になる。地域全体の健康課題を底上げするためのポピュレーションアプローチの実施等は一般衛生部門との連携により事業を実施する。また、生活習慣病の合併症は、要介護状態の原因疾患になることも多いため、65歳以上の前期高齢者に関する事業は、介護部門と連携する。

さらに、福祉サービス等を総合的、包括的に提供するための支援体制として実施している「神栖市福祉総合相談ケアシステム推進事業」に参画し、国民健康保険の立場で福祉部門全般と連携する。

また、計画の評価・見直しについては、茨城県国民健康団体連合会の支援を受けるものとする



(5)個人情報の保護

個人情報の取り扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」「国民健康保険組合における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」「個人情報保護条例」「情報セキュリティーポリシー」に基づき管理する。また、業務を外部に委託する際も同様に取り扱われるよう委託契約書に定めるものとする。

第3章 第3期特定健康診査等実施計画

1. 計画策定にあたって

(1)計画策定の趣旨

近年、急速な少子高齢化、経済の低成長への移行、国民生活や意識の変化など、大きな環境変化に直面し、医療制度を今後も持続していくための構造改革が急務となっている。

このような状況に対応するため、健康と長寿を確保しつつ、医療費の伸びの抑制にもつながることから、生活習慣病を中心とした疾病予防を重視することとし、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号。以下「法」という。)に基づき、被保険者に対し生活習慣病に関する健康診査及び保健指導を実施することとされた。

神栖市国民健康保険においては、法第19条に基づき第1期特定健康診査等実施計画、第2期特定健康診査等実施計画を策定し特定健康診査及び特定保健指導を実施してきた。このたび、前期計画の計画期間満了に伴い、令和3年度を初年度とする第3期特定健康診査等実施計画を策定する。

(2)特定健康診査等実施計画の位置づけ

法第18条を踏まえるとともに、「第3次健康いばらき21プラン」、「第2次健康かみす21プラン」及び「データヘルス計画」で用いた評価指標を用いる等、それぞれの計画との整合性を図る必要がある。

(3)計画期間

第3期特定健康診査等実施計画の計画期間は、平成30年度から令和5年度までの第3期特定健康診査等実施計画において、前期計画の計画期間満了に伴い、計画期間は令和3年度から令和5年度までの3年間とする。

■計画期間

令和3年度	令和4年度	令和5年度
		LN

■データ分析期間

・入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト 単年分析

平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)

年度分析

平成29年度…平成29年3月~平成30年2月診療分(12カ月分)

平成30年度…平成30年3月~平成31年2月診療分(12カ月分)

平成31年度…平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)

健康診査データ

単年分析

平成31年4月~令和2年3月健診分(12カ月分)

年度分析

平成29年度…平成29年4月~平成30年3月健診分(12カ月分)

平成30年度…平成30年4月~平成31年3月健診分(12カ月分)

平成31年度…平成31年4月~令和2年3月健診分(12カ月分)

2. 特定健康診査及び特定保健指導の実施状況

(1)特定健康診査の受診率

平成22年度から令和2年度(見込み値)における、特定健康診査の受診状況等は以下の通りである。

特定健康診査受診率及び目標値

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
特定健康診査対象者数(人)	19,073	20,467	19,183	19,197	19,004	18,496	17,279
特定健康診査受診者数(人)	6,226	6,656	6,340	6,542	6,294	6,354	5,486
特定健康診査受診率(%)※	32.6%	32.5%	33.1%	33.1%	33.1%	34.4%	31.7%
受診率目標値(%)	50.5%	58.4%	65.0%	35.0%	42.0%	48.0%	55.0%

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度 (見込み値)
特定健康診査対象者数(人)	16,297	15,593	15,211	
特定健康診査受診者数(人)	5,605	5,692	5,274	
特定健康診査受診率(%)※	34.4%	36.5%	34.7%	
受診率目標値(%)	60.0%	32.0%	34.0%	36.0%

特定健康診査対象者数、特定健康診査受診者数、特定健康診査受診率は法定報告値。 ※特定健康診査受診率…特定健康診査対象者に対する特定健康診査受診者数の割合。

特定健康診査受診率及び目標値



特定健康診査対象者数、特定健康診査受診者数、特定健康診査受診率は法定報告値。 ※特定健康診査受診率…特定健康診査対象者に対する特定健康診査受診者数の割合。

(2)特定保健指導の実施率

平成22年度から令和2年度(見込み値)における、特定保健指導の実施状況等は以下の通りである。

特定保健指導実施率及び目標値

14/00/10/01/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/		<u> </u>					
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
特定保健指導対象者数(人)	1,176	1,188	1,150	1,101	1,024	997	816
特定保健指導利用者数(人)	406	396	532	538	472	520	456
特定保健指導実施者数(人)※	123	136	375	381	320	354	275
特定保健指導実施率(%)※	10.5%	11.4%	32.6%	34.6%	31.3%	35.5%	33.7%
実施率目標値(%)	50.5%	58.4%	45.0%	25.0%	35.0%	45.0%	55.0%
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度 (見込み値)			
特定保健指導対象者数(人)	869	845	739	556			
特定保健指導利用者数(人)	684	459	411	310			
特定保健指導実施者数(人)※	266	274	281	210			
特定保健指導実施率(%)※	30.6%	32.4%	38.0%	37.8%			
実施率目標値(%)	60.0%	40.0%	43.0%	46.0%			

特定保健指導対象者数、特定保健指導利用者数、特定保健指導実施者数、特定保健指導実施率は法定報告値。

特定保健指導実施率及び目標値



特定保健指導実施率は法定報告値。

[※]特定保健指導実施者数…特定保健指導を終了した人数。

[※]特定保健指導実施率…特定保健指導対象者に対する特定保健指導実施者の割合。

[※]特定保健指導実施率…特定保健指導対象者に対する特定保健指導実施者の割合。

支援レベル別の特定保健指導の実施状況等は以下の通りである。

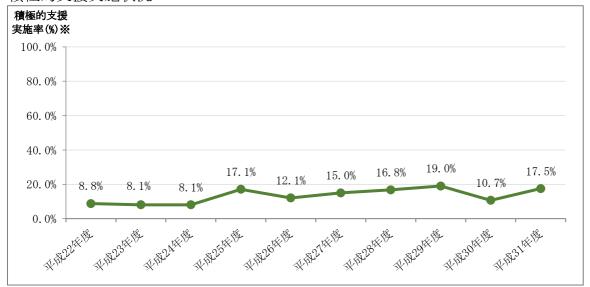
積極的支援実施状況

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
積極的支援対象者数(人)	476	459	442	420	404	366	280
積極的支援利用者数(人)	181	171	181	202	168	175	160
積極的支援実施者数(人)※	42	37	37	72	49	55	47
積極的支援実施率(%)※	8.8%	8.1%	8.1%	17.1%	12.1%	15.0%	16.8%

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
積極的支援対象者数(人)	269	261	223
積極的支援利用者数(人)	248	179	136
積極的支援実施者数(人)※	51	28	39
積極的支援実施率(%)※	19.0%	10.7%	17.5%

積極的支援対象者数、積極的支援利用者数、積極的支援実施者数、積極的支援実施率は法定報告値。

積極的支援実施状況



積極的支援実施率は法定報告値。

※積極的支援実施率…積極的支援対象者に対する積極的支援実施者の割合。

[※]積極的支援実施者数…積極的支援を終了した人数。

[※]積極的支援実施率…積極的支援対象者に対する積極的支援実施者の割合。

動機付け支援実施状況

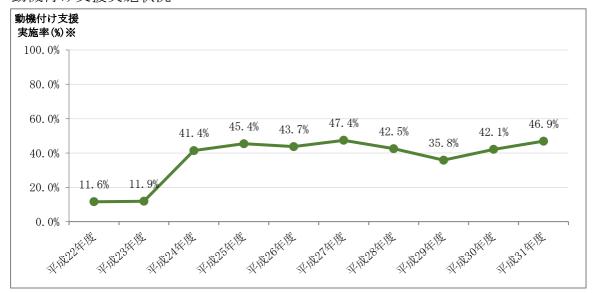
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
動機付け支援対象者数(人)	700	729	708	681	620	631	536
動機付け支援利用者数(人)	200	351	351	336	304	345	296
動機付け支援実施者数(人)※	81	293	293	309	271	299	228
動機付け支援実施率(%)※	11.6%	11.9%	41.4%	45.4%	43.7%	47.4%	42.5%

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
動機付け支援対象者数(人)	600	584	516
動機付け支援利用者数(人)	436	280	275
動機付け支援実施者数(人)※	215	246	242
動機付け支援実施率(%)※	35.8%	42.1%	46.9%

動機付け支援対象者数、動機付け支援利用者数、動機付け支援実施者数、動機付け支援実施率は法定報告値。

※動機付け支援実施率…動機付け支援対象者に対する動機付け支援実施者の割合。

動機付け支援実施状況



動機付け支援実施率は法定報告値。

※動機付け支援実施率…動機付け支援対象者に対する動機付け支援実施者の割合。

[※]動機付け支援実施者数…動機付け支援を終了した人数。

3. 特定健康診査及び特定保健指導に係る主な取り組み

特定健康診査及び特定保健指導に係る、これまでの主な取り組みを以下に示す。

【特定健康診査】

実施年度	取り組み	目的	概要	実施状況
平成31 年度	広報・ホーム ページへの 掲載	特定健康診査の周 知	特定健康診査の重要性を 知ってもらうために、市の 広報紙やホームページ等の 媒体を利用する。	広報誌「かみす」に掲載(6月号) ホームページに掲載(6月より)
平成31 年度	休日健診の導 入	特定健康診査の受 診体制充実	平日に受診が困難な対象者に、休日の健診日を設ける。	休日健診11回実施
平成31 年度	特定健康診査受診勧奨	特定健康診査の受 診率向上	特定健康診査を受けていな い者を対象者とし特定健康 診査の受診を促す。	通知書1686通送付

【特定保健指導】

実施 年度	取り組み	目的	概要	実施状況
平成31 年度	特定保健指導利用勧奨	特定保健指導実施 率の向上	特定保健指導を受けていない者を対象者とし個別に案内を送付するとともに、電話による利用勧奨を行う。	対象者274人に実施
平成31 年度	二次検査	特定保健指導後の指導効果の評価」	特定保健指導後に, 腹囲・血 圧・血液(脂質・糖)検査を実 施。その結果をもとに, 特定 保健指導の効果を評価する	121人実施

4. 特定健康診査及び特定保健指導に係る分析結果

(1)特定健康診査結果の分析

①有所見者割合

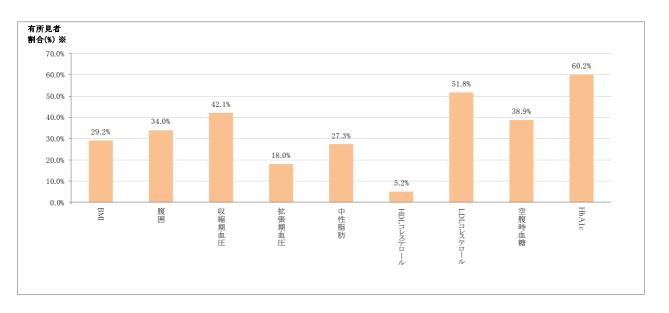
平成31年4月~令和2年3月健診分(12カ月分)における、特定健康診査受診者の有所見者割合は以下の通りである。

有所見者割合

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧
対象者数(人) ※	5,395	5,395	5,395	5,395
有所見者数(人) ※	1,576	1,835	2,272	971
有所見者割合(%) ※	29.2%	34.0%	42.1%	18.0%

	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	空腹時血糖	HbA1c
対象者数(人) ※	5,395	5,395	5,395	2,413	5,395
有所見者数(人) ※	1,474	278	2,793	938	3,250
有所見者割合(%) ※	27.3%	5.2%	51.8%	38.9%	60.2%

有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月~令和2年3月健診分(12カ月分)。 資格確認日…令和2年2月29日時点。

- ※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。
- ※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。
- ※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、 腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、 収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、 HDLコレステロール:39mg/dl以下、 LDLコレステロール:120mg/dl以上、

空腹時血糖值:100mg/dl以上、 HbA1c:5.6%以上

平成29年度から平成31年度における、特定健康診査受診者の有所見者割合を年度別に示す。

年度別 有所見者割合

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
BMI	対象者数(人) ※	5,635	5,745	5,352
	有所見者数(人) ※	1,739	1,757	1,566
	有所見者割合(%) ※	30.9%	30.6%	29.39
腹囲	対象者数(人) ※	5,635	5,745	5,352
	有所見者数(人) ※	1,955	2,010	1,826
	有所見者割合(%) ※	34.7%	35.0%	34.19
収縮期血圧	対象者数(人) ※	5,635	5,745	5,352
	有所見者数(人) ※	2,285	2,405	2,255
	有所見者割合(%) ※	40.6%	41.9%	42.19
拡張期血圧	対象者数(人) ※	5,635	5,745	5,352
	有所見者数(人) ※	1,003	1,033	968
	有所見者割合(%) ※	17.8%	18.0%	18.19
中性脂肪	対象者数(人) ※	5,635	5,745	5,352
	有所見者数(人) ※	1,674	1,645	1,459
	有所見者割合(%) ※	29.7%	28.6%	27.39
HDLコレステロール	対象者数(人) ※	5,635	5,745	5,352
	有所見者数(人) ※	289	318	273
	有所見者割合(%) ※	5.1%	5.5%	5.19
LDLコレステロール	対象者数(人) ※	5,635	5,745	5,352
	有所見者数(人) ※	2,920	3,040	2,780
	有所見者割合(%) ※	51.8%	52.9%	51.99
空腹時血糖	対象者数(人) ※	2,556	2,469	2,394
	有所見者数(人) ※	1,029	970	933
	有所見者割合(%) ※	40.3%	39.3%	39.09
HbA1c	対象者数(人) ※	5,635	5,743	5,352
	有所見者数(人) ※	3,568	3,782	3,223
	有所見者割合(%) ※	63.3%	65.9%	60.29

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月〜令和2年3月健診分(36カ月分)。 資格確認日…各年度末時点。

BMI:25以上、 腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、 収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、 HDLコレステロール:39mg/dl以下、 LDLコレステロール:120mg/dl以上、

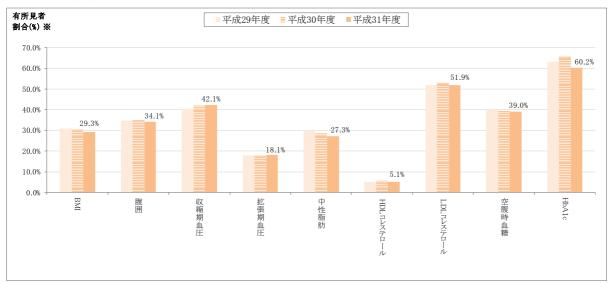
空腹時血糖値:100mg/d1以上、 HbA1c:5.6%以上

[※]対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

[※]有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

[※]有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。 保健指導判定値

年度別 有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月~令和2年3月健診分(36カ月分)。 資格確認日…各年度末時点。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、 腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、 収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、中性脂肪:150mg/dl以上、 HDLコレステロール:39mg/dl以下、 LDLコレステロール:120mg/dl以上、 空腹時血糖値:100mg/dl以上、 HbA1c:5.6%以上

②質問別回答状況

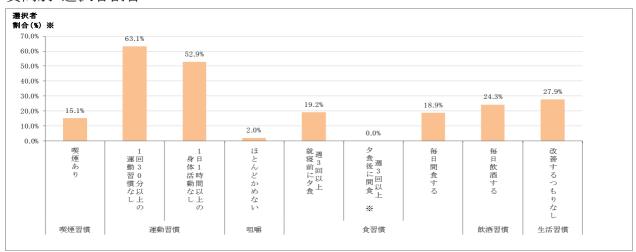
平成31年4月~令和2年3月健診分(12カ月分)における、特定健康診査受診者の喫煙習慣・ 運動習慣・咀嚼・食習慣・飲酒習慣・生活習慣に関する質問別回答状況は以下の通りである。

質問別 回答状況

	喫煙習慣	運動	咀嚼	
質問の選択肢	喫煙あり	1回30分以上の 運動習慣なし	1日1時間以上の 身体活動なし	ほとんどかめない
質問回答者数(人) ※	5,395	972	972	661
選択者数(人) ※	814	613	514	13
選択者割合(%) ※	15.1%	63.1%	52.9%	2.0%

	食習慣			飲酒習慣	生活習慣
質問の選択肢	週3回以上 就寝前に夕食	週3回以上 夕食後に間食 ※	毎日間食する	毎日飲酒する	改善するつもりなし
質問回答者数(人) ※	971	0	962	5,395	972
選択者数(人) ※	186	0	182	1,312	271
選択者割合(%) ※	19.2%	0.0%	18.9%	24.3%	27.9%

質問別 選択者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月~令和2年3月健診分(12カ月分)。 資格確認日…令和2年2月29日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数 …質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合 …質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

喫煙あり

1回30分以上の運動習慣なし

- …「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- …「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数 を集計。

1日1時間以上の身体活動なし …「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答 数を集計。

ほとんどかめない

…「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。」の質問に対し、「ほとんどかめない」の 回答数を集計。

週3回以上就寝前に夕食 週3回以上夕食後に間食 …「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。 …「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を 集計。※平成30年度以降で廃止された質問項目。

毎日間食する 毎日飲酒する 改善するつもりなし

- …「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
- …「お酒(日本酒・焼酎・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
- …「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対し、「改善するつもりはな い」の回答数を集計。

平成29年度から平成31年度における、特定健康診査受診者の喫煙習慣・運動習慣・咀嚼・食 習慣・飲酒習慣・生活習慣に関する質問別回答状況を年度別に示す。

年度·質問別 回答状況

			平成29年度	平成30年度	平成31年度
喫		質問回答者数(人) ※	5,634	5,745	5,352
煙習		選択者数(人) ※	867	925	809
慣		選択者割合(%) ※	15.4%	16.1%	15.1%
		質問回答者数(人) ※	741	1,155	961
	1回30分以上の 運動習慣なし	選択者数(人) ※	439	719	606
運動		選択者割合(%) ※	59.2%	62.3%	63.1%
習慣		質問回答者数(人) ※	740	1,155	962
良	1日1時間以上の 身体活動なし	選択者数(人) ※	396	631	508
	37111133700	選択者割合(%) ※	53.5%	54.6%	52.8%
		質問回答者数(人) ※	0	980	654
咀嚼		選択者数(人) ※	0	12	13
μ,		選択者割合(%) ※	0.0%	1.2%	2.0%
		質問回答者数(人) ※	741	1,153	960
	週3回以上 就寝前に夕食	選択者数(人) ※	130	232	182
		選択者割合(%) ※	17.5%	20.1%	19.0%
食		質問回答者数(人) ※	741	0	0
習	週3回以上 夕食後に間食 ※	選択者数(人) ※	100	0	0
慣	220 1172 11	選択者割合(%) ※	13.5%	0.0%	0.0%
		質問回答者数(人) ※	0	1,152	951
	毎日間食する	選択者数(人) ※	0	216	179
		選択者割合(%) ※	0.0%	18.8%	18.8%
飲		質問回答者数(人) ※	5,634	5,742	5,352
酒習	毎日飲酒する	選択者数(人) ※	1,416	1,429	1,306
慣		選択者割合(%) ※	25.1%	24.9%	24.4%
生		質問回答者数(人) ※	740	1,154	961
活習	改善するつもりなし	選択者数(人) ※	166	332	267
慣		選択者割合(%) ※	22.4%	28.8%	27.8%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月~令和2年3月健診分(36カ月分)。 資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数 …質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合 …質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

喫煙あり

…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

1回30分以上の運動習慣なし …「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数 を集計。

1日1時間以上の身体活動なし …「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答 数を集計。

ほとんどかめない

…「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。」の質問に対し、「ほとんどかめない」の 回答数を集計。

週3回以上就寝前に夕食

…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。 …「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を

週3回以上夕食後に間食

…「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。

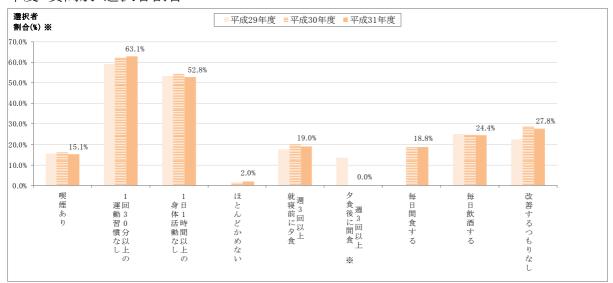
毎日飲酒する 改善するつもりなし

毎日間食する

- …「お酒(日本酒・焼酎・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
- …「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対し、「改善するつもりはな い」の回答数を集計。

集計。※平成30年度以降で廃止された質問項目。

年度·質問別 選択者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月~令和2年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

喫煙あり

1回30分以上の運動習慣なし

…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

- …「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数 を集計。
- 1日1時間以上の身体活動なし …「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答 数を集計。

ほとんどかめない

…「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。」の質問に対し、「ほとんどかめない」の

週3回以上就寝前に夕食

回答数を集計。

週3回以上夕食後に間食

…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。 …「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を 集計。※平成30年度以降で廃止された質問項目。

毎日間食する 毎日飲酒する 改善するつもりなし

- …「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
- …「お酒(日本酒・焼酎・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
- …「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対し、「改善するつもりはな い」の回答数を集計。

③特定健康診査の受診者と未受診者の生活習慣病治療状況

特定健康診査受診状況別に、生活習慣病の医療機関受診状況を分析した結果を以下に示す。特定健康診査受診者のうち生活習慣病のレセプトがあるのは特定健康診査受診者全体の49.1%である。特定健康診査未受診者のうち生活習慣病のレセプトがあるのは特定健康診査未受診者全体の45.3%である。

特定健康診査受診状況別 生活習慣病の医療機関受診状況

			生活習慣病医療費(円) ※			
	人数(人)	構成比(%)	入院	入院外	合計	
健診受診者	5,395	33.3%	5,341,927	218,648,823	223,990,750	
健診未受診者	10,819	66.7%	27,012,360	470,755,742	497,768,102	
合計	16,214		32,354,287	689,404,565	721,758,852	

	生活習慣病患者数 ※						生活習慣病患	者一人当たり医	医療費(円) ※
	入院		入院外		合計 ※		入院	入院外	合計
	患者数(人)	割合(%)	患者数(人)	割合(%)	患者数(人)	割合(%)	八阮	八四分	(D) FT
健診受診者	123	2.3%	2,651	49.1%	2,651	49.1%	43,430	82,478	84,493
健診未受診者	417	3.9%	4,890	45.2%	4,904	45.3%	64,778	96,269	101,502
合計	540	3.3%	7,541	46.5%	7,555	46.6%	59,915	91,421	95,534

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

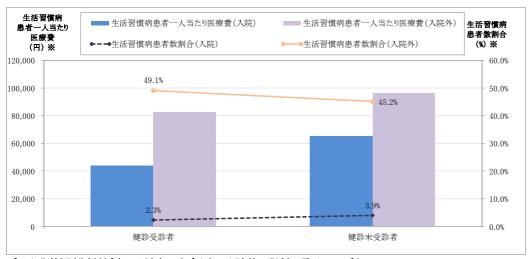
対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月~令和2年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年2月29日時点。

- ※生活習慣病医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者の生活習慣病医療費。
- ※生活習慣病患者数…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者数。合計人数は、入院、入院外の区分けなく集計した実人数。
- ※生活習慣病患者一人当たり医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者一人当たりの生活習慣病医療費。

特定健康診査受診状況別生活習慣病の医療機関受診状況



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月~令和2年3月健診分(12カ月分)。 資格確認日…令和2年2月29日時点。

※生活習慣病患者一人当たり医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者一人当たりの生活習慣病医療費。 ※生活習慣病患者数割合…健診受診者、健診未受診者それぞれに占める、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者数の割合。

(2) 特定保健指導の効果分析

特定保健指導の効果について、平成31年4月~令和2年3月健診分(12カ月分)における、特定健康診査受診者のメタボリックシンドローム該当状況より分析する。基準該当1,073人、 予備群該当554人である。

メタボリックシンドローム該当状況

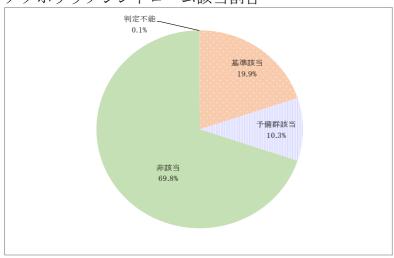
	健診受診者数	基準該当	予備群該当	非該当	判定不能
該当者数(人)	5,395	1,073	554	3,764	4
割合(%) ※	-	19.9%	10.3%	69.8%	0.1%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月~令和2年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年2月29日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

メタボリックシンドローム該当割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月~令和2年3月健診分(12カ月分)。 資格確認日…令和2年2月29日時点。

※メタボリックシンドローム判定基準

腹囲	追加リスク (①血糖 ②脂質 ③血圧)	該当状況
≧85cm (男性)	2つ以上該当	メタボリックシンドローム基準該当者
≧90cm (女性)	1つ該当	メタボリックシンドローム予備群該当者

※追加リスクの基準値は以下の通りである。

①血糖:空腹時血糖が110mg/dl以上

②脂質:中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満

③血圧:収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上

※糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者も対象となる。

平成29年度から平成31年度における、特定健康診査受診者のメタボリックシンドローム該当状況を年度別に示す。平成31年度基準該当19.9%は平成29年度20.1%より低下しており、平成31年度予備群該当10.3%は平成29年度11.0%より低下している。

年度別 メタボリックシンドローム該当状況

年度	健診受診者数(人)
平成29年度	5,635
平成30年度	5,745
平成31年度	5,352

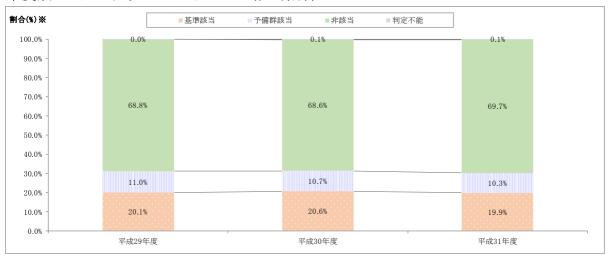
年度	基準該当		予備群該当		非該当		判定不能	
平及	人数(人)	割合(%) ※						
平成29年度	1,134	20.1%	620	11.0%	3,879	68.8%	2	0.0%
平成30年度	1,186	20.6%	614	10.7%	3,939	68.6%	6	0.1%
平成31年度	1,065	19.9%	553	10.3%	3,730	69.7%	4	0.1%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月~令和2年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

年度別 メタボリックシンドローム該当割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月~令和2年3月健診分(36カ月分)。 資格確認日…各年度末時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

(3)特定保健指導対象者の分析

①保健指導レベル該当状況

平成31年4月~令和2年3月健診分(12カ月分)における、保健指導レベル該当状況は以下の通りである。積極的支援対象者は224人、動機付け支援対象者は520人である。

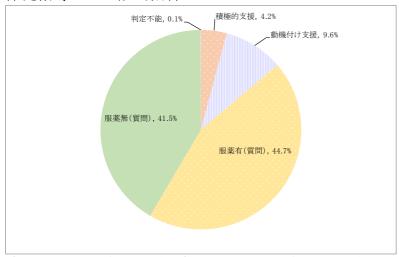
保健指導レベル該当状況

			該当レベル						
	健診受診者数 (人)	特定	特定保健指導対象者(人)			情報提供			
			積極的支援	動機付け支援	服薬有(質問)	服薬無(質問)	判定不能		
該当者数(人)	5,395	744	224	520	2,409	2,238	4		
割合(%) ※	-	13.8%	4.2%	9.6%	44.7%	41.5%	0.1%		

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月~令和2年3月健診分(12カ月分)。 資格確認日…令和2年2月29日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

保健指導レベル該当割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月~令和2年3月健診分(12カ月分)。 資格確認日…令和2年2月29日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

※特定保健指導の対象者(階層化の基準)

腹囲/BMI	追加リスク	喫煙歴(注)	対象		
/发/四/ DMI	①血糖 ②脂質 ③血圧	医压压(任)	40歳-64歳	65歳-74歳	
>05 (田州)	2つ以上該当		積極的	●14% (-1-)-}-	
≥85cm (男性) ≥90cm (女性)	1つ該当	あり	支援	動機付け 支援	
至900m (女性)	1 700 =	なし		又1友	
	3つ該当		積極的		
上記以外でBMI	2つ該当	あり	支援	動機付け	
≧25	2 700	なし		支援	
	1つ該当				

(注) 喫煙歴の欄の斜線は、階層化の判定が喫煙歴の有無と無関係であることを意味する。

※追加リスクの基準値は以下の通りである。

①血糖:空腹時血糖が100mg/dl以上、またはHbA1c (NGSP値)5.6%以上(空腹時血糖及びHbA1c (NGSP値)の両方を測定している場合には、空腹時血糖の値を優先。)

②脂質:中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満

③血圧:収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上

※特定保健指導では、糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者については、対象から除いている。 ※65歳以上75歳未満の者については、動機付け支援のみを行っている。

また、年齢階層別保健指導レベル該当状況は以下の通りである。

年齢階層別 保健指導レベル該当状況

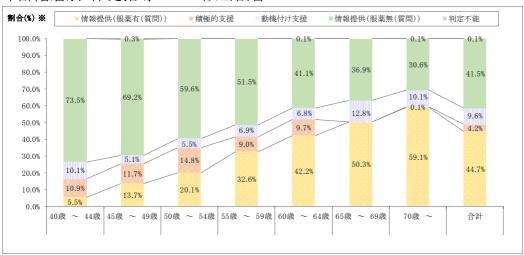
			特定保健指導対象者数(人)				
年齢階層	健診受診者数(人)		積極的	的支援	動機付	け支援	
			人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	
40歳 ~ 44歳	238	50	26	10.9%	24	10.1%	
45歳 ~ 49歳	315	53	37	11.7%	16	5.1%	
50歳 ~ 54歳	344	70	51	14.8%	19	5.5%	
55歳 ~ 59歳	390	62	35	9.0%	27	6.9%	
60歳 ~ 64歳	761	126	74	9.7%	52	6.8%	
65歳 ~ 69歳	1,603	205	0	0.0%	205	12.8%	
70歳 ~	1,744	178	1	0.1%	177	10.1%	
合計	5,395	744	224	4.2%	520	9.6%	

			情報	提供		判定不能	
年齢階層	健診受診者数(人)	服薬有(質問)		服薬無(質問)		刊足个能	
		人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※
40歳 ~ 44歳	238	13	5.5%	175	73.5%	0	0.0%
45歳 ~ 49歳	315	43	13.7%	218	69.2%	1	0.3%
50歳 ~ 54歳	344	69	20.1%	205	59.6%	0	0.0%
55歳 ~ 59歳	390	127	32.6%	201	51.5%	0	0.0%
60歳 ~ 64歳	761	321	42.2%	313	41.1%	1	0.1%
65歳 ~ 69歳	1,603	806	50.3%	592	36.9%	0	0.0%
70歳 ~	1,744	1,030	59.1%	534	30.6%	2	0.1%
合計	5,395	2,409	44.7%	2,238	41.5%	4	0.1%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月~令和2年3月健診分(12カ月分)。 資格確認日…令和2年2月29日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

年齢階層別 保健指導レベル該当割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月~令和2年3月健診分(12カ月分)。 資格確認日…令和2年2月29日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

平成29年度から平成31年度における、保健指導レベル該当状況を年度別に示す。平成31年度積極的支援223人は平成29年度266人より減少しており、平成31年度動機付け支援519人は平成29年度603人より減少している。

年度別 保健指導レベル該当状況

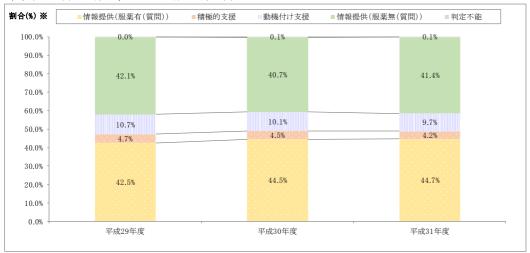
			特定保	健指導対象者	·数(人)		
年度	健診受診者数(人)	沙受診者数(人) 積極的支援		的支援	動機付け支援		
			人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	
平成29年度	5,635	869	266	4.7%	603	10.7%	
平成30年度	5,745	843	260	4.5%	583	10.1%	
平成31年度	5,352	742	223	4.2%	519	9.7%	

			情報	判定不能			
年度	健診受診者数(人)	版薬有(質問)				服薬無(質問)	
		人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※
平成29年度	5,635	2,394	42.5%	2,370	42.1%	2	0.0%
平成30年度	5,745	2,559	44.5%	2,337	40.7%	6	0.1%
平成31年度	5,352	2,390	44.7%	2,216	41.4%	4	0.1%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月〜令和2年3月健診分(36カ月分)。 資格確認日…各年度末時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

年度別 保健指導レベル該当割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月~令和2年3月健診分(36カ月分)。 資格確認日…各年度末時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

②特定保健指導リスク因子別該当状況

平成31年4月~令和2年3月健診分(12カ月分)における、特定保健指導対象者のリスク因子 別該当状況を以下に示す。

特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

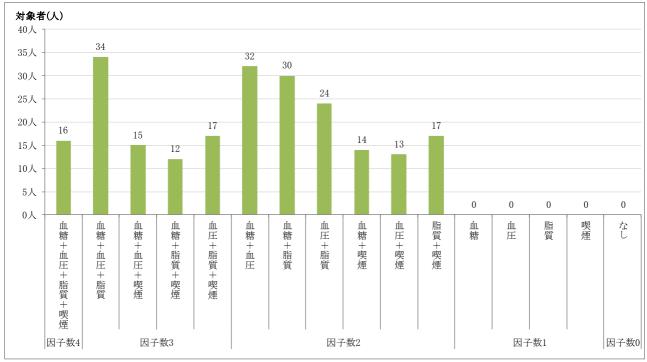
	リスク判定 ※ (該当に●)				対象者	
特定保健指導対象者	① ② ③ ④ 血 血 脂 喫 糖 圧 質 煙	リスク因子数	リスク因子組み合わせ	744人		
		因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	16人		
			血糖+血圧+脂質	34人		
		因子数3	血糖+血圧+喫煙	15人		
			血糖+脂質+喫煙	12人		
			血圧+脂質+喫煙	17人		
			血糖+血圧	32人		
積極的支援		1	血糖+脂質	30人		
		因子数2	血圧+脂質	24人	224人	30%
12.12.142			血糖+喫煙	14人		3070
		-	血圧+喫煙	13人		
			脂質+喫煙	17人		
		1	血糖	0人		
		因子数1	血圧	0人		
		-	脂質 喫煙	0人		
		四乙粉0	なし	0人		
	0 0 0	因子数0 因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	12人		
		四丁剱4	血糖+血圧+脂質	58人		
		1	血糖+血圧+喫煙	9人		
		因子数3	血糖+脂質+喫煙	9人		
		1	血圧+脂質+喫煙	7人		
			血糖+血圧	75人		
		1	血糖+脂質	32人		
414/11/14/2		D → W o	血圧+脂質	34人	500 [7.00/
動機付け支援		因子数2	血糖+喫煙	8人	520人	70%
			血圧+喫煙	10人		
			脂質+喫煙	7人		
			血糖	85人		
		7 - 因子数1	血圧	118人		
		四丁奴1	脂質	55人		
			喫煙	0人		
		因子数0	なし	1人		

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月~令和2年3月健診分(12カ月分)。 資格確認日…令和2年2月29日時点。

※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。また、医師の判断等により、リスク因子数が0であっても特定保健指導対象者に分類される場合がある。

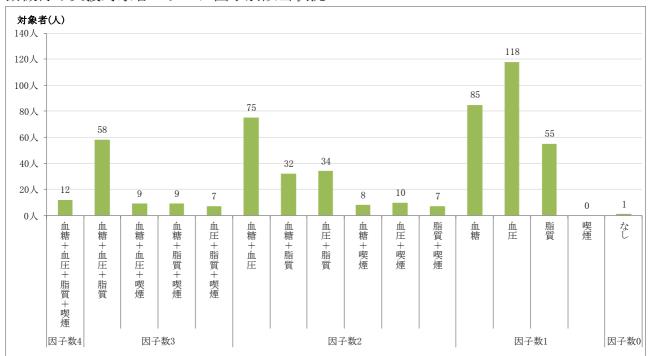
- リスク判定の詳細は以下の通りとする。
 - ①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)
 - ②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
 - ③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
 - ④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

積極的支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月~令和2年3月健診分(12カ月分)。 資格確認日…令和2年2月29日時点。

動機付け支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月~令和2年3月健診分(12カ月分)。 資格確認日…令和2年2月29日時点。

③特定保健指導対象者と非対象者の医療費の比較

平成31年4月~令和2年3月健診分(12カ月分)の積極的支援及び動機付け支援の該当者を「対象者」とし、情報提供の該当者を「非対象者」とする。ただし、情報提供の該当者には質問票で服薬有と回答した者が含まれるため、「非対象者」を「非対象者(服薬有)」と「非対象者(服薬無)」に分ける。特定保健指導により「対象者」の生活習慣改善を促し、服薬開始を防ぐことが重要である。

特定保健指導対象者·非対象者別 生活習慣病医療費

		人数(人)	生活	習慣病医療費(円	3) ※	生活習慣病患者数(人) ※		
		八剱(八)	入院	入院外	合計	入院	入院外	合計 ※
対象者	積極的支援、動機付け支援	744	25,355	3,493,881	3,519,236	7	100	100
北地布式	情報提供 (服薬無(質問))	2,238	511,332	6,526,064	7,037,396	11	176	176
非対象者	情報提供 (服薬有(質問))	2,409	4,805,240	208,628,878	213,434,118	105	2,375	2,375

		人数(人)	生活習慣病患者一人当たり医療費(円) ※			
			入院	入院外	合計	
対象者	積極的支援、動機付け支援	744	3,622	34,939	35,192	
北社各学	情報提供 (服薬無(質問))	2,238	46,485	37,080	39,985	
非対象者	情報提供 (服薬有(質問))	2,409	45,764	87,844	89,867	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月~令和2年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年2月29日時点。

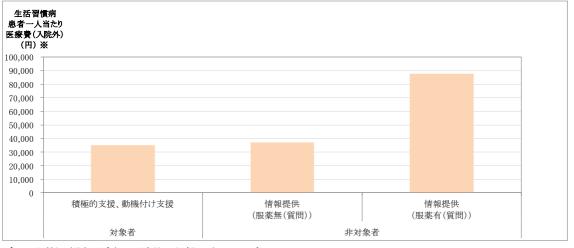
非対象者…健康診査受診における質問表の服薬の項目にて一項目でも「はい」と回答した健康診査受診者は「服薬有」、服薬の全項目 「なし」と回答した健康診査受診者は「服薬無」で表記。

※生活習慣病医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者の生活習慣病医療費。

※生活習慣病患者数…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者数。合計人数は、入院、入院外の区分けなく集計した実人数。

※生活習慣病患者一人当たり医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者一人当たりの生活習慣病医療費。

特定保健指導対象者・非対象者別 生活習慣病患者一人当たり医療費(入院外)



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月~令和2年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年2月29日時点。

※生活習慣病患者一人当たり医療費(入院外)…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者一人当たりの入院外生活習慣病医療費 159

5. 特定健康診査及び特定保健指導実施状況に基づく課題と対策

課題と対策は以下の通りである。

【特定健康診查】

◆特定健康診査受診率

平成31年度特定健康診査受診率34.6%は、第3期計画期間における市区町村国保の到達目標値60%に未到達である。自分自身の健康に関心を持ち、健康診断を受けるという行動をとることができるために健康教育や家庭訪問等を実施しているが、行動変容まで至っていない状況である。今後、受診率向上のためには、地区組織のさらなる活用やメールマガジンや子育てアプリ等での情報発信を利用し、多角的な受診勧奨の取り組みをさらに行う必要がある。

※KDBより算出

◆有所見者の状況

HbA1c、LDLコレステロール、収縮期血圧の有所見者割合が高い。このことは市民の運動習慣のないことや毎日間食をするなどの生活習慣の乱れが大きく影響していると考えられる。特定健康診査を受けるだけでなく,市民一人一人が自分自身の体調を理解し,生活習慣と体の変化を理解することができるように働きかけることが必要であり,そのことが被保険者に生活習慣を見直すきっかけをつくり、生活習慣病を予防する。

※健康診査データより算出

◆質問票の回答状況

喫煙習慣では「喫煙あり」15.1%、飲酒習慣では「毎日飲酒する」24.3%、生活習慣では「改善するつもりなし」27.9%である。このことは市民が生活習慣が自分自身の健康に影響することを認識することができていない人の割合が多いことと思われる。健診を受けることから自分自身の生活に目を向けることができるようにポピュレーションアプローチで市民の健康意識を向上させ、自らの生活習慣を見直す動きがとれるように支援する必要がある。 ※健康診査データより算出

【特定保健指導】

◆特定保健指導実施率

平成31年度特定保健指導実施率38.3%は、第3期計画期間における市区町村国保の到達目標値60%に未到達である。このことは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、家庭訪問が思うように実施できなかったことが大きく影響している。しかし経年的に目標値には達成しない状況である。原因としては被保険者との接点がとれないことが多く、面談ができていないことが影響している。今後は面接方法等を検討し、実施率向上を目指し利用勧奨の取り組みをさらに行う必要がある。

※KDBより算出

◆メタボリックシンドローム及び特定保健指導該当状況

メタボリックシンドローム基準該当割合は19.9%、予備群該当割合は10.3%である。また、積極的支援対象者割合は4.2%、動機付け支援対象者割合は9.6%である。メタボリックシンドローム及び特定保健指導該当者数を減少させるため、年齢が比較的若い対象者に対して優先的に指導する等、効果的・効率的な特定保健指導を実施する必要がある。 ※健康診査データより算出

6. 特定健康診査等実施計画

(1)目標

国では、市区町村国保において、計画期間の最終年度である令和5年度までに特定健康診査受診率60.0%以上、特定保健指導実施率60.0%以上、特定保健指導対象者の減少率25.0%以上(平成20年度比)を達成することとしている。本市の状況として特定健康診査受診率が34.6%,特定保健指導実施率が38.0%となっている。国基準を目標に据えながら、実現可能な目標値とする。

目標値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度 (国基準)
特定健康診査受診率(%)	38.0%	40.0%	43.0%	60.0%以上
特定保健指導実施率(%)	38.0%	45.0%	50.0%	60.0%以上
特定保健指導対象者の 減少率(%)※			25.0%	25.0%以上

※平成20年度比

(2) 対象者数推計

①特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

令和3年度から令和5年度までの特定健康診査対象者数及び受診者数について、各年度の 見込みを示す。

特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特定健康診査対象者数(人)	15,000	14,500	14,000
特定健康診査受診率(%) (目標值)	38.0%	40.0%	43.0%
特定健康診査受診者数(人)	5,700	5,800	6,020

年齢階層別 特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
特定健康診査	40歳~64歳	7,100	6,900	6,700
対象者数(人)	65歳~74歳	7,900	7,600	7,303
特定健康診査	40歳~64歳	2,698	2,760	2,881
受診者数(人)	65歳~74歳	3,002	3,040	3,139

②特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み

令和3年度から令和5年度までの特定保健指導対象者数及び実施者数について、各年度の 見込みを示す。

特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特定保健指導対象者数(人)	798	812	850
特定保健指導実施率(%) (目標値)	38.0%	45.0%	50.0%
特定保健指導実施者数(人)	303	365	425

支援レベル別 特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み

			令和3年度	令和4年度	令和5年度
積極的	対象者数(人)	40歳~64歳	115	117	144
支援	実施者数(人)	40歳~64歳	18	20	21
	対象者数(人)	40歳~64歳	247	271	283
動機付け	对家有奴(八)	65歳~74歳	269	296	310
支援	支援		116	127	133
	実施者数(人)	65歳~74歳	126	139	145

(3) 実施方法

①特定健康診査の実施方法

ア. 対象者

実施年度中に40歳~74歳になる被保険者(実施年度中に75歳になる75歳未満の者も含む)。ただし、妊産婦、刑務所入所者、海外在住、長期入院等厚生労働省令で定める除外規定に該当する者は対象者から除くものとする。

イ. 実施場所

集団健診もしくは医療機関で実施する。

ウ. 実施項目

国が定める対象者全員に実施する「基本的な健診項目」と、医師が必要と判断した場合に実施する「詳細な健診項目」に基づき実施する。

健診項目

基本的	た健	きょうしょう シャスティ シャスティ シャスティ シャスティ シャスティ シェスティ シェスティ シェスティ かいしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	1(全	昌に	宝施)
A-A-H-1	'A IX	コクィスト	J (T.	□ (

- ○質問票(服薬歴、喫煙歴等) ○身体計測(身長、体重、BMI、腹囲)
- ○血圧測定 ○理学的検査(身体診察) ○尿検査(尿糖、尿蛋白)
- ○血液検査
 - ・脂質検査(中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール)
 - ・血糖検査(空腹時血糖またはHbA1c)
 - 肝機能検査(AST (GOT)、ALT (GPT)、 γ -GT (γ -GTP))
- ■詳細な健診項目(医師が必要と判断した場合に実施)
 - ○心電図 ○眼底検査 ○貧血検査(赤血球、血色素量、ヘマトクリット値)
 - ○血清クレアチニン検査(eGFRによる腎機能の評価を含む)

工. 実施時期

令和3年6月から令和4年2月に実施する。

才,案内方法

対象者に、特定健康診査受診券と受診案内を個別に発送する。また、広報やホームページ等で周知を図る。

②特定保健指導の実施方法

ア. 対象者

国が定める「特定保健指導対象者の選定基準」に基づき、特定健康診査の結果を踏まえ、 内臓脂肪蓄積の程度とリスク要因数による階層化を行い、対象者を抽出する。

ただし、質問票により服薬中と判断された者は、医療機関における継続的な医学的管理のもとでの指導が適当であるため、対象者から除くこととする。また、65歳以上75歳未満の者については、動機付け支援のみ実施する。

特定保健指導対象者の選定基準

11 VC NV C 11 T V V V V V V V						
腹囲/BMI	追加リスク		対象			
が多四/DMI	①血糖 ②脂質 ③血圧	英庭歷(在)	40歳-64歳	65歳-74歳		
>05 (⊞\ \ \)	2つ以上該当		積極的	新松 仁立		
≥85cm (男性) ≥90cm (女性)	1つ該当	あり なし		動機付け 支援		
	3つ該当		積極的	····		
上記以外でBMI	2つ該当	あり	支援	動機付け		
≥ 25	2.7畝日	なし		支援		
	1つ該当					

⁽注) 喫煙歴の欄の斜線は、階層化の判定が喫煙歴の有無と無関係であることを意味する。

イ. 実施場所

個別・集団面接、健康教育、指導後の二次検査で実施する。

[※]追加リスクの基準値は以下の通りである。

①血糖:空腹時血糖が100mg/d1以上、またはHbA1c (NGSP値) 5.6%以上(空腹時血糖及びHbA1c (NGSP値)の両方を測定している場合には、空腹時血糖の値を優先。)

②脂質:中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満

③血圧:収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上

[※]特定保健指導では、糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者については、対象から除いている。 ※65歳以上75歳未満の者については、動機付け支援のみを行っている。

ウ. 実施項目

保健指導レベルに応じた内容の保健指導を実施する。

保健指導の内容

	支援形態	支援内容
積極的支援	a. 初回面接 一人当たり20分以上の個別支援、または1グループ当たりおおむね80分以上のグループ支援。 b. 3カ月以上の継続支援 個別支援、グループ支援の他、電話、e-mail等の通信手段を組み合わせて行う。 c. 3カ月経過後の評価面接または通信手段を利用して行う。	特定健康診査の結果から、対象者自らが 自分の身体に起こっている変化を理解し、 生活習慣改善の必要性を実感できるよう な働きかけを行う。また、具体的に実践 可能な行動目標を対象者が選択できるよ うに支援する。 支援者は目標達成のために必要な支援計 画を立て、行動が継続できるように定期 的・継続的に介入する。
動機付け支援	a. 初回面接 一人当たり20分以上の個別支援、 または1グループ当たりおおむね80 分以上のグループ支援。 b. 3カ月経過後の評価 面接または通信手段を利用して行 う。	対象者自らが、自分の生活習慣の改善すべき点を自覚することで行動目標を設定し、目標達成に向けた取り組みが継続できるように動機付け支援を行う。

工. 実施時期

令和3年7月から令和4年7月に実施する。

才. 案内方法

市から個別連絡をする。

(4) 実施スケジュール

		当年度							次年度								
	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
	対象者抽出 '	1															
特定健康診査	受診券送付 '		$\widehat{\mathbb{L}}$														
康診査	特定健康診査実施		•	Ų						\int							
	未受診者受診勧奨									J							
	対象者抽出				1												
特定保	利用券送付				\												
特定保健指導	特定保健指導実施																
.,	未利用者利用勧奨						1										
	前年度の評価																
	次年度の計画																

7. 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施(新規)

本市の後期高齢者の課題を、健診データ・レセプト等を活用して分析したところ、高血 圧や糖尿病を治療している者の約7割が、脳血管疾患、虚血性心疾患等の重症化した疾患 も治療していた。また、介護保険の有病状況としては糖尿病や脳血管疾患が多く、高血圧 や高脂血症などの健診有所見者が多いことから生活習慣病の重症化が介護の原因になって いることが分かった。そのため、後期高齢者に対する保健事業では、国民健康保険の保健 事業で取り組む糖尿病性腎症重症化予防を後期高齢者の方にも継続的に実施し、市民の健 康寿命の延伸を推進していくこととする。

国民健康保険の保健事業でも、特定保健指導非対象者の保健指導や、糖尿病性腎症重症 化予防の取組において、後期高齢者の保健事業と連携した取り組みを行う。

本市では制度上、65~74歳で透析を開始した場合に後期高齢者医療制度に移行するため、 保健事業の一体的な実施を評価するため、後期高齢者医療制度加入者の新規透析者患者数 を取り組みの成果指標として追加する。

対象者	・特定保健指導非対象者への保健指導の対象者で75歳到達者の者・糖尿病性腎症重症化予防の保健指導対象者で支援中に後期高齢者医療制度に移行した者・糖尿病性腎症重症化予防の後期高齢者
実施方法	・保健事業については各事業に準ずる ・後期高齢者医療制度の健康診査の案内や、介護予防事業の案内、 必要に応じて後期高齢者の保健事業につなぐ支援を実施
実施時期	通年
評価方法	保健指導実施数、後期高齢者医療の健診受診率、後期高齢者医療における新規透析患者数

8. その他

(1)個人情報の保護

①個人情報保護関係規定の遵守

個人情報の保護に関する法律及び同法に基づくガイドライン等に準じて、厳格な運用管理を行い、役員・職員の義務(データの正確性の確保、漏洩防止措置、従業者の監督、委託先の監督)について周知を図る。

また、外部委託を行う場合は個人情報の厳重な管理や、目的外使用の禁止等を契約書に明示し、委託先の契約遵守状況を管理する。

②データの管理

特定健康診査・特定保健指導結果のデータの保存年限は原則5年とし、保存期間経過後適切に破棄する。また、他の医療保険に異動する等で被保険者でなくなった場合は、異動年度の翌年度末まで保管し、その後適切に破棄する。

(2)特定健康診査等実施計画の公表及び周知

法第19条3において、「保険者は、特定健康診査等実施計画を定め、又はこれを変更した ときは、遅滞なく、これを公表しなければならない。」とあるため、広報、ホームページ等 で公表し、広く周知を図る。

(3) 特定健康診査等実施計画の評価及び見直し

①評価

特定健康診査の受診率、特定保健指導の実施率、メタボリックシンドローム該当者及び 予備群の減少率等について、客観的に評価を行う。

②計画の見直し

計画の見直しについては、毎年度目標の達成状況を評価し、必要に応じて見直しを行うものとする。

(4)事業運営上の留意事項

①各種検(健)診等との連携

特定健康診査の実施に当たっては、健康増進法に基づき実施する検(健)診等についても可能な限り連携して実施するものとする。

②健康づくり事業との連携

特定健康診査・特定保健指導の対象となる年代だけでなく、生活習慣病予防のためには、40歳より若い世代へ働きかけ、生活習慣病のリスクの周知や日々の生活スタイルを見直していくことが重要になる。そのためには、関係部署が実施する保健事業とも連携しながら、生活習慣病予防を推進していく必要がある。

巻末資料

- 1. 自治会分析
- 2. 年度別 特定健康診査結果分析
- 3.「指導対象者群分析」のグループ分けの見方
- 4. 用語解説集
- 5. 疾病分類
- 6. 分析方法

■データ分析期間

- ・入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト 平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)
- ・健康診査データ

平成29年度…平成29年4月~平成30年3月健診分(12カ月分) 平成30年度…平成30年4月~平成31年3月健診分(12カ月分) 平成31年度…平成31年4月~令和2年3月健診分(12カ月分)

1. 自治会分析

(1) 大分類による疾病別医療費自治会別統計

平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に 医療費統計を自治会別に示す。

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

【神柄第一中学校】大分類による疾病別医療費統計

【神栖第一中学校】大分類による独						図出)ナ			
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	領目毎に	こ上/	位5疾病を		網掛け		表示する	5。
	А			В		С		A/C	
疾病分類(大分類)	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	23,721,427	2.9%	11	3,058	12	751	10	31,586	12
Ⅱ. 新生物<腫瘍>	167,823,259	20.7%	1	3,416	10	846	8	198,373	1
Ⅲ. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	8,008,681	1.0%	15	1,158	15	277	15	28,912	14
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	85,283,663	10.5%	3	13,113	2	1,405	3	60,700	6
V. 精神及び行動の障害	48,334,337	6.0%	6	3,777	9	363	14	133,152	2
VI. 神経系の疾患	36,948,862	4.6%	8	6,003	6	582	12	63,486	5
VII. 眼及び付属器の疾患	23,644,317	2.9%	12	2,572	13	808	9	29,263	13
Ⅷ. 耳及び乳様突起の疾患	2,385,523	0.3%	17	603	16	153	16	15,592	18
IX. 循環器系の疾患	132,547,351	16.4%	2	15,063	1	1,302	4	101,803	3
X. 呼吸器系の疾患	46,214,329	5.7%	7	7,258	5	1,410	2	32,776	11
X I . 消化器系の疾患 ※	69,890,177	8.6%	4	11,502	3	1,453	1	48,101	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	17,791,335	2.2%	14	4,304	7	886	6	20,081	17
XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	60,151,919	7.4%	5	8,669	4	1,108	5	54,289	7
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	36,272,053	4.5%	9	3,178	11	679	11	53,420	9
XV. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,861,837	0.2%	18	60	19	20	19	93,092	4
XVI. 周産期に発生した病態 ※	1,110	0.0%	21	1	21	1	21	1,110	21
X WI. 先天奇形, 変形及び染色体異常	316,954	0.0%	19	76	18	32	18	9,905	19
XVIII. 症状、微候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	18,420,705	2.3%	13	3,962	8	866	7	21,271	16
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	28,053,152	3.5%	10	1,779	14	525	13	53,435	8
XXI.健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,726,323	0.3%	16	551	17	122	17	22,347	15
XXⅡ. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

合計

分類外

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。 そのため他統計と一致しない。

38,206

810,435,520

0.0% 20

16 | 20

36,704

7 | 20

2,645

5,458

306,403

20

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。 ※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、"男性"においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…AB0因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

【神栖第二中学校】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

	А			В		С		A/C	
疾病分類(大分類)	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	36,700,533	3.2%	11	4,599	10	1,201	8	30,558	15
Ⅱ. 新生物<腫瘍>	204,925,674	18.1%	2	3,952	13	1,075	10	190,629	2
Ⅲ. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	24,366,302	2.1%	14	1,605	15	399	15	61,068	10
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	117,130,800	10.3%	3	17,798	2	1,731	3	67,667	9
V. 精神及び行動の障害	58,210,635	5.1%	8	4,998	9	505	14	115,269	5
VI. 神経系の疾患	55,112,303	4.9%	9	8,082	6	812	12	67,872	8
VII. 眼及び付属器の疾患	36,933,562	3.3%	10	4,032	12	1,149	9	32,144	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	4,670,251	0.4%	19	1,081	16	319	16	14,640	20
IX. 循環器系の疾患	206,274,788	18.2%	1	17,900	1	1,539	4	134,032	4
X. 呼吸器系の疾患	62,892,497	5.5%	7	11,511	4	2,114	1	29,750	16
X I . 消化器系の疾患 ※	77,087,763	6.8%	4	13,827	3	1,771	2	43,528	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	25,173,341	2.2%	13	5,953	7	1,273	6	19,775	17
XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	74,817,520	6.6%	6	10,143	5	1,331	5	56,212	11
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	77,041,860	6.8%	5	4,414	11	947	11	81,354	7
XV. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	10,316,562	0.9%	16	277	18	70	18	147,379	3
X VI. 周産期に発生した病態 ※	7,357,387	0.6%	17	13	21	9	21	817,487	1
X WI. 先天奇形, 変形及び染色体異常	4,690,169	0.4%	18	146	19	52	19	90,196	6
XVIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	21,962,854	1.9%	15	5,383	8	1,240	7	17,712	18
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	26,782,039	2.4%	12	1,876	14	682	13	39,270	13
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,543,554	0.2%	20	870	17	182	17	13,976	21
ХХⅡ. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	281,876	0.0%	21	54	20	18	20	15,660	19
合計	1,135,272,270			48,955		3,711		305,921	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。 そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。 ※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、"男性"においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

【神栖第三中学校】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

	※谷垻日毎に上1			以5次州℃ □		W-0.121 ()		表示する。	
	А			В		С		A/C	
疾病分類(大分類)	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	21,964,084	3.7%	10	2,492	10	642	9	34,212	12
Ⅱ. 新生物<腫瘍>	103,238,916	17.3%	1	2,434	12	578	10	178,614	1
Ⅲ. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	5,723,752	1.0%	15	879	15	213	15	26,872	16
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	73,687,679	12.4%	3	9,681	1	1,066	3	69,125	9
V. 精神及び行動の障害	26,424,498	4.4%	9	2,499	9	280	14	94,373	4
VI. 神経系の疾患	32,732,313	5.5%	8	4,631	6	467	12	70,091	8
VII. 眼及び付属器の疾患	19,078,553	3.2%	11	2,132	13	660	7	28,907	15
WII. 耳及び乳様突起の疾患	1,544,294	0.3%	19	517	16	146	16	10,577	21
IX. 循環器系の疾患	101,513,662	17.0%	2	9,294	2	938	4	108,224	2
X. 呼吸器系の疾患	33,421,196	5.6%	7	5,370	5	1,068	1	31,293	14
X I . 消化器系の疾患 ※	47,783,012	8.0%	5	7,861	3	1,068	1	44,741	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	11,679,228	2.0%	12	3,049	7	697	6	16,756	19
XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	39,303,759	6.6%	6	5,962	4	810	5	48,523	10
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	48,898,301	8.2%	4	2,454	11	555	11	88,105	5
XV. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,839,009	0.3%	18	67	19	22	19	83,591	6
XVI. 周産期に発生した病態 ※	404,972	0.1%	20	5	21	4	21	101,243	3
X WI. 先天奇形, 変形及び染色体異常	2,730,510	0.5%	16	110	18	35	18	78,015	7
XVIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	10,825,661	1.8%	14	2,612	8	644	8	16,810	18
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	11,182,181	1.9%	13	1,106	14	356	13	31,411	13
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,103,284	0.4%	17	475	17	82	17	25,650	17
XXⅡ. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	-
分類外	79,846	0.0%	21	15	20	7	20	11,407	20
合計	596,158,710			25,358		2,052		290,526	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。 そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。 ※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、"男性"においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

【神栖第四中学校】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

	※台·	リロザ(느ㅗ	<u> 1</u> 5疾病を		M9111 ()		表示する	<u>ه</u> ه
	A			В		С		A/C	
疾病分類(大分類)	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	29,728,448	2.9%	11	3,915	11	1,003	9	29,640	16
Ⅱ. 新生物<腫瘍>	169,405,618	16.6%	2	3,840	12	995	10	170,257	3
Ⅲ. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	12,500,223	1.2%	15	1,406	15	349	15	35,817	13
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	104,388,184	10.3%	3	16,451	2	1,612	3	64,757	9
V. 精神及び行動の障害	46,541,583	4.6%	9	4,247	10	428	14	108,742	5
VI. 神経系の疾患	52,570,620	5.2%	8	6,904	6	716	12	73,423	8
VII. 眼及び付属器の疾患	36,341,890	3.6%	10	3,400	13	1,089	8	33,372	14
WII. 耳及び乳様突起の疾患	5,987,471	0.6%	17	681	16	230	16	26,032	17
IX. 循環器系の疾患	179,003,716	17.6%	1	17,074	1	1,479	4	121,030	4
X. 呼吸器系の疾患	59,889,309	5.9%	7	10,137	4	1,915	1	31,274	15
X I . 消化器系の疾患 ※	73,743,291	7.2%	6	13,047	3	1,667	2	44,237	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	23,053,611	2.3%	13	5,466	7	1,148	6	20,082	18
XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	79,646,093	7.8%	5	10,070	5	1,307	5	60,938	10
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	81,804,597	8.0%	4	4,429	9	881	11	92,854	6
XV. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	10,017,816	1.0%	16	183	18	57	18	175,751	2
XVI. 周産期に発生した病態 ※	5,519,211	0.5%	18	23	21	9	21	613,246	1
X WI. 先天奇形, 変形及び染色体異常	3,686,415	0.4%	19	145	19	48	19	76,800	7
XVIII. 症状、 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	16,721,534	1.6%	14	5,085	8	1,114	7	15,010	20
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	25,130,030	2.5%	12	1,937	14	649	13	38,721	12
XXI.健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,088,508	0.2%	20	635	17	132	17	15,822	19
XXⅡ. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	101,312	0.0%	21	47	20	12	20	8,443	21
合計	1,017,869,480			45,739		3,357		303,208	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。 そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。 ※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、"男性"においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…AB0因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

【波崎第一中学校】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

		<u> М.П.</u>	尺口四八	4	立3次州で				衣小りな	√ ം
		А			В		С		A/C	
疾病分類(大分類)		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症		26,907,315	3.2%	11	2,762	13	721	11	37,319	12
Ⅱ. 新生物<腫瘍>		167,278,103	19.9%	1	3,361	11	807	10	207,284	2
Ⅲ. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害		7,850,886	0.9%	16	1,097	15	299	15	26,257	16
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患		88,980,466	10.6%	4	13,406	2	1,434	3	62,051	9
V. 精神及び行動の障害		37,509,207	4.5%	9	3,151	12	318	14	117,953	4
VI. 神経系の疾患		45,046,957	5.4%	6	6,106	6	638	12	70,607	8
VII. 眼及び付属器の疾患		32,300,831	3.8%	10	3,970	7	889	6	36,334	13
Ⅷ. 耳及び乳様突起の疾患		3,237,778	0.4%	18	939	16	259	16	12,501	20
IX. 循環器系の疾患		133,754,565	15.9%	2	13,461	1	1,289	4	103,766	5
X. 呼吸器系の疾患		42,078,802	5.0%	7	7,038	5	1,457	2	28,880	15
X I . 消化器系の疾患	*	53,307,979	6.3%	5	10,206	3	1,497	1	35,610	14
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患		16,158,547	1.9%	13	3,737	9	839	9	19,259	17
XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患		90,310,145	10.7%	3	9,599	4	1,173	5	76,991	7
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患		39,018,617	4.6%	8	3,675	10	866	7	45,056	10
XV. 妊娠, 分娩及び産じょく	*	5,140,413	0.6%	17	75	19	26	19	197,708	3
XVI. 周産期に発生した病態	*	12,351,702	1.5%	14	20	20	11	20	1,122,882	1
X WI. 先天奇形, 変形及び染色体異常		3,167,413	0.4%	19	102	18	34	18	93,159	6
XVIII. 症状、微候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの		12,175,447	1.4%	15	3,756	8	840	8	14,495	19
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響		22,294,555	2.7%	12	2,213	14	586	13	38,045	11
XXI.健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用		1,808,675	0.2%	20	598	17	101	17	17,908	18
X X Ⅱ. 特殊目的用コード		0	0.0%		0		0		0	
分類外		16,097	0.0%	21	6	21	5	21	3,219	21
合計		840,694,500			36,379		2,675		314,278	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。 そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。 ※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、"男性"においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…AB0因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

【波崎第二中学校】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

		∕•\ ⊔ ·	八日母(느ㅗ	近3次州で				衣小りな	യ ം
		A			В		С		A/C	
疾病分類(大分類)		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数(人)※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症		8,989,764	2.0%	13	1,553	13	438	10	20,525	17
Ⅱ. 新生物<腫瘍>		64,281,702	14.2%	2	1,736	10	498	9	129,080	3
Ⅲ. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害		9,373,433	2.1%	12	501	15	152	15	61,667	8
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患		44,608,334	9.9%	3	6,709	2	794	3	56,182	10
V. 精神及び行動の障害		20,434,571	4.5%	9	1,687	11	172	14	118,806	4
VI. 神経系の疾患		24,899,123	5.5%	7	3,341	6	333	12	74,772	6
VII. 眼及び付属器の疾患		19,160,830	4.2%	10	1,889	8	535	7	35,815	14
Ⅷ. 耳及び乳様突起の疾患		1,228,471	0.3%	19	346	16	112	16	10,968	20
IX. 循環器系の疾患		82,910,334	18.4%	1	7,270	1	754	4	109,961	5
X. 呼吸器系の疾患		28,339,678	6.3%	6	3,721	5	803	2	35,292	15
X I . 消化器系の疾患	*	36,735,280	8.1%	5	5,160	3	804	1	45,691	13
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患		8,658,495	1.9%	14	2,307	7	560	6	15,462	18
XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患		40,721,600	9.0%	4	4,995	4	681	5	59,797	9
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患		23,992,310	5.3%	8	1,687	11	376	11	63,809	7
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく	*	1,059,232	0.2%	20	43	18	20	18	52,962	11
XVI. 周産期に発生した病態	*	8,386,153	1.9%	15	21	20	6	20	1,397,692	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常		1,705,850	0.4%	17	40	19	13	19	131,219	2
XVIII. 症状、微候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの		7,928,617	1.8%	16	1,858	9	520	8	15,247	19
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響		16,765,387	3.7%	11	1,030	14	332	13	50,498	12
XXI.健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用		1,526,109	0.3%	18	308	17	68	17	22,443	16
X X Ⅱ. 特殊目的用コード		0	0.0%		0		0		0	
分類外		9,077	0.0%	21	5	21	2	21	4,539	21
合計		451,714,350		$\overline{}$	20,026	/	1,556		290,305	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。 そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。 ※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、"男性"においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

【波崎第三中学校】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

		只日 毋(_ <u>_</u>	立5疾病を		M9111 ()		表示する	ა ⁰
	A			В		С		A/C	
疾病分類(大分類)	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	42,400,087	4.8%	9	3,459	10	850	10	49,882	11
Ⅱ. 新生物<腫瘍>	156,146,681	17.6%	1	3,534	9	887	9	176,039	3
Ⅲ. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	10,199,254	1.1%	15	1,124	15	275	15	37,088	15
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	88,424,034	10.0%	3	13,066	2	1,499	1	58,989	9
V. 精神及び行動の障害	54,055,203	6.1%	7	3,288	12	334	14	161,842	4
VI. 神経系の疾患	58,814,013	6.6%	5	5,870	6	629	12	93,504	7
VII. 眼及び付属器の疾患	31,650,855	3.6%	11	3,207	13	955	7	33,142	16
Ⅷ. 耳及び乳様突起の疾患	2,845,855	0.3%	19	548	17	179	16	15,899	20
IX. 循環器系の疾患	151,181,043	17.0%	2	13,496	1	1,311	4	115,317	5
X. 呼吸器系の疾患	41,621,834	4.7%	10	7,219	5	1,454	3	28,626	17
X I . 消化器系の疾患 ※	56,669,839	6.4%	6	10,799	3	1,491	2	38,008	14
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	17,660,736	2.0%	14	4,249	7	914	8	19,322	19
XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	65,144,983	7.3%	4	8,665	4	1,216	5	53,573	10
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	47,356,613	5.3%	8	3,342	11	734	11	64,519	8
XV. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	5,009,555	0.6%	17	74	19	19	19	263,661	2
XVI. 周産期に発生した病態 ※	1,486,515	0.2%	20	12	21	5	21	297,303	1
X WI. 先天奇形, 変形及び染色体異常	3,619,288	0.4%	18	111	18	34	18	106,450	6
XVIII. 症状、微候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	21,543,406	2.4%	13	3,848	8	967	6	22,279	18
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	26,807,354	3.0%	12	1,626	14	561	13	47,785	12
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	5,745,535	0.6%	16	776	16	145	17	39,624	13
XXⅡ. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	97,137	0.0%	21	33	20	10	20	9,714	21
合計	888,479,820			35,772		2,823		314,729	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。 そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。 ※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、"男性"においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…AB0因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

神栖第一四	中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二四	中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

【波崎第四中学校】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

		∕•\ ⊔ ·	スロ <i>四</i> (느ㅗ	近3次州で				衣小りな	o ر	
疾病分類(大分類)		А			В		С	С		A/C	
		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数(人)※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位	
I. 感染症及び寄生虫症		8,405,932	2.1%	13	1,411	11	376	9	22,356	15	
Ⅱ. 新生物<腫瘍>		62,841,901	15.6%	2	1,378	12	361	10	174,077	1	
Ⅲ. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害		5,472,518	1.4%	15	481	15	139	15	39,371	11	
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患		46,382,009	11.5%	3	5,782	2	612	3	75,788	7	
V. 精神及び行動の障害		23,073,953	5.7%	8	1,632	9	162	14	142,432	3	
VI. 神経系の疾患		24,482,614	6.1%	7	2,874	6	292	12	83,845	6	
VII. 眼及び付属器の疾患		11,894,861	2.9%	10	1,345	13	383	8	31,057	14	
Ⅷ. 耳及び乳様突起の疾患		1,004,949	0.2%	16	327	16	100	16	10,049	20	
IX. 循環器系の疾患		70,983,935	17.6%	1	5,787	1	572	4	124,098	4	
X. 呼吸器系の疾患		22,156,228	5.5%	9	3,291	5	695	1	31,879	13	
X I . 消化器系の疾患	*	29,243,194	7.2%	6	4,644	3	615	2	47,550	10	
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患		5,692,215	1.4%	14	1,814	8	438	7	12,996	19	
XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患		33,023,046	8.2%	5	3,963	4	523	5	63,142	8	
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患		35,931,637	8.9%	4	1,506	10	329	11	109,215	5	
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく	*	340,887	0.1%	18	27	19	10	19	34,089	12	
XVI. 周産期に発生した病態	*	321,319	0.1%	19	4	21	2	21	160,660	2	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常		246,548	0.1%	20	44	18	16	18	15,409	18	
XVIII. 症状、微候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの		9,645,813	2.4%	12	1,847	7	452	6	21,340	16	
XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響		11,534,991	2.9%	11	707	14	239	13	48,264	9	
XXI.健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用		875,432	0.2%	17	256	17	47	17	18,626	17	
X X Ⅱ. 特殊目的用コード		0	0.0%		0		0		0		
分類外		22,098	0.0%	21	10	20	3	20	7,366	21	
合計		403,576,080		$\overline{}$	16,049	/	1,261		320,044		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。 そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。 ※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、"男性"においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

※各項目毎に上位5疾病を

В

66 13

0

1

2 18

89 11

55 14

16 | 16

0

0

1,246

19

網掛け

C

17 | 12

0

1 19

2

23

19 | 11

2 17

0

0

95

17

8

15,521

322,770

4.650

51,891

84,576

246,520

392,767

0

0

16

19

12

8

2

表示する。 A/C

【その他】大分類による疾病別医療費統計

患者一人 疾病分類(大分類) 構成比 レセプト 患者数 当たりの 医療費(円) ※ 順位 順位 順位 順位 (%) 件数 ※ (人) ※ 医療費 (円) I. 感染症及び寄生虫症 2,560,232 6.9% 6 131 8 31 6 82,588 9 Ⅱ. 新生物<腫瘍> 2,573,802 39 15 233,982 6.9% 5 11 14 Ⅲ. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 555,365 1.5% 12 91 10 8 15 69,421 10 IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患 1,188,469 3.2% 11 182 7 25 7 47,539 13 V. 精神及び行動の障害 6,954,880 18.6% 535 42. 165,592 VI. 神経系の疾患 8,943,803 24.0% 620 42 2 212,948 1 1 4 WI. 眼及び付属器の疾患 12 21 164,738 0.4% 17 68 10 7,845 18 Ⅷ. 耳及び乳様突起の疾患 43,123 0.1% 18 14 17 5 16 8,625 17 IX. 循環器系の疾患 2,508,004 6.7% 7 233 5 23 8 109,044 6 X. 呼吸器系の疾患 2,926,527 7.8% 4 274 4 49 59,725 11 X I. 消化器系の疾患 3,451,554 9.3% 3 431 3 36 5 95,877 7 40 XII. 皮膚及び皮下組織の疾患 1,196,868 3.2% 9 224 6 4 29,922 14 XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患 356,093 1.0% 14 110 9 16 13 22,256 15

263,859

322,770

1,193,484

1,606,949

37.312.860

493.040

0

0

9.300

0

0.7% 16

0.0%

0.9% 15

0.0%

3.2% 10

4.3% 8

1.3% 13

0.0%

0.0%

19

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

XIV. 腎尿路生殖器系の疾患

XV. 妊娠, 分娩及び産じょく

XVI. 周産期に発生した病態

ХХⅡ. 特殊目的用コード

分類外

XVII. 先天奇形, 変形及び染色体異常

XVIII. 症状、微候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの

XXI.健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用

合計

XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

*

*

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。 そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。 ※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、"男性"においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…AB0因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

(2) 中分類による疾病別医療費自治会別統計

疾病分類表における中分類単位で自治会毎に集計し、医療費が高額な上位10疾病を以下に示す。

神栖第一	·中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二	中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

【神柄第一中学校】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

▼ 1.1	111111		,	1/	
順位		疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	45,313,571	5.6%	340
2	0402	糖尿病	43,848,014	5.4%	1,021
3	0903	その他の心疾患	43,166,238	5.3%	534
4	1113	その他の消化器系の疾患	41,508,785	5.1%	810
5	0901	高血圧性疾患	41,455,334	5.1%	989
6	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	34,429,307	4.2%	126
7	0606	その他の神経系の疾患	23,141,421	2.9%	522
8	0403	脂質異常症	22,792,830	2.8%	752
9	0503	統合失調症,統合失調症型障害及び妄想性障害	22,775,612	2.8%	100
10	0902	虚血性心疾患	19,860,340	2.5%	360

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【神栖第二中学校】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

	1111714		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	• /	
順位		疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	65,455,752	5.8%	424
2	0402	糖尿病	63,046,021	5.6%	1,179
3	0903	その他の心疾患	59,480,351	5.2%	680
4	1402	腎不全	50,664,142	4.5%	74
5	0901	高血圧性疾患	48,702,409	4.3%	1,147
6	1113	その他の消化器系の疾患	44,215,265	3.9%	1,059
7	0902	虚血性心疾患	37,674,164	3.3%	457
8	0606	その他の神経系の疾患	36,413,347	3.2%	732
9	0403	脂質異常症	30,807,792	2.7%	960
10	0205	気管,気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	30,623,817	2.7%	147

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

【神柄第三中学校】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

<u> </u>	1111/14-		小英 上上 10万円	1/	
順位		疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	46,734,597	7.8%	240
2	0402	糖尿病	42,697,006	7.2%	832
3	1402	腎不全	35,923,222	6.0%	45
4	0903	その他の心疾患	34,814,576	5.8%	434
5	1113	その他の消化器系の疾患	26,841,888	4.5%	597
6	0901	高血圧性疾患	24,462,881	4.1%	692
7	0606	その他の神経系の疾患	20,932,812	3.5%	430
8	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	19,317,831	3.2%	91
9	0403	脂質異常症	18,293,022	3.1%	573
10	0503	統合失調症,統合失調症型障害及び妄想性障害	13,108,874	2.2%	68

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【神栖第四中学校】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					
順位		疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	56,671,934	5.6%	405
2	0402	糖尿病	56,194,540	5.5%	1,084
3	0903	その他の心疾患	55,720,809	5.5%	615
4	1402	腎不全	55,243,597	5.4%	87
5	0901	高血圧性疾患	46,773,627	4.6%	1,101
6	1113	その他の消化器系の疾患	38,110,694	3.7%	967
7	0902	虚血性心疾患	32,294,901	3.2%	399
8	0403	脂質異常症	28,586,717	2.8%	869
9	0606	その他の神経系の疾患	26,126,740	2.6%	639
10	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	24,857,846	2.4%	66

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

【波崎第一中学校】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

11/2	-HJ 2/J		,	1/	
順位		疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	71,310,343	8.5%	312
2	0402	糖尿病	53,524,338	6.4%	1,118
3	0901	高血圧性疾患	40,610,895	4.8%	1,038
4	0903	その他の心疾患	31,425,021	3.7%	508
5	1113	その他の消化器系の疾患	29,928,124	3.6%	844
6	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	29,850,001	3.6%	134
7	1302	関節症	28,203,965	3.4%	287
8	0606	その他の神経系の疾患	26,683,093	3.2%	577
9	0902	虚血性心疾患	25,085,569	3.0%	326
10	0704	その他の眼及び付属器の疾患	21,845,188	2.6%	590

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【波崎第二中学校】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

	100.45/0 = 1.3.05(1.45) = 0.00(1.45.3/0.04) (E.15.05(1.45)					
順位		疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)	
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	36,345,061	8.0%	200	
2	0402	糖尿病	25,517,099	5.6%	554	
3	0901	高血圧性疾患	20,937,212	4.6%	562	
4	0903	その他の心疾患	20,693,897	4.6%	323	
5	1113	その他の消化器系の疾患	17,660,970	3.9%	490	
6	0906	脳梗塞	15,829,175	3.5%	91	
7	1402	腎不全	12,039,288	2.7%	25	
8	0403	脂質異常症	12,026,648	2.7%	426	
9	1302	関節症	11,935,481	2.6%	159	
10	0704	その他の眼及び付属器の疾患	11,276,216	2.5%	379	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

【波崎第三中学校】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

11/2							
順位		疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)		
1	0402	糖尿病	50,323,688	5.7%	1,156		
2	0901	高血圧性疾患	37,890,581	4.3%	1,026		
3	0903	その他の心疾患	35,910,394	4.0%	598		
4	0606	その他の神経系の疾患	32,565,083	3.7%	577		
5	1113	その他の消化器系の疾患	30,748,633	3.5%	833		
6	1402	腎不全	30,538,722	3.4%	59		
7	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	29,200,306	3.3%	139		
8	0105	ウイルス性肝炎	24,546,349	2.8%	142		
9	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	23,674,493	2.7%	154		
10	0906	脳梗塞	23,551,769	2.7%	174		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【波崎第四中学校】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位		疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402	腎不全	28,644,254	7.1%	30
2	0402	糖尿病	26,471,157	6.6%	449
3	0606	その他の神経系の疾患	18,080,446	4.5%	265
4	0903	その他の心疾患	16,888,302	4.2%	236
5	1113	その他の消化器系の疾患	15,672,699	3.9%	388
6	0901	高血圧性疾患	15,534,420	3.8%	428
7	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	13,617,123	3.4%	133
8	0902	虚血性心疾患	12,201,608	3.0%	167
9	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	11,993,924	3.0%	21
10	0403	脂質異常症	9,856,428	2.4%	307

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

【その他】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

	[[] [] [] [] [] [] [] [] [] [
順位		疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)	
1	0606	その他の神経系の疾患	5,377,586	14.4%	25	
2	0507	その他の精神及び行動の障害	3,083,210	8.3%	11	
3	1113	その他の消化器系の疾患	2,732,167	7.3%	29	
4	0603	てんかん	2,676,716	7.2%	20	
5	0503	統合失調症,統合失調症型障害及び妄想性障害	2,630,821	7.1%	22	
6	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	2,402,367	6.4%	4	
7	0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	1,903,931	5.1%	1	
8	0903	その他の心疾患	1,750,372	4.7%	7	
9	1011	その他の呼吸器系の疾患	1,736,806	4.7%	13	
10	1901	骨折	1,480,319	4.0%	7	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

疾病分類表における中分類単位で自治会毎に集計し、患者数が多い上位10疾病を以下に 示す。

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

【神栖第一中学校】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

	11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					
順位		疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)	
1	0402	糖尿病	43,848,014	1,021	38.6%	
2	0901	高血圧性疾患	41,455,334	989	37.4%	
3	1800	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	18,420,705	866	32.7%	
4	1105	胃炎及び十二指腸炎	8,850,991	858	32.4%	
5	1113	その他の消化器系の疾患	41,508,785	810	30.6%	
6	0403	脂質異常症	22,792,830	752	28.4%	
7	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	4,614,453	646	24.4%	
8	1202	皮膚炎及び湿疹	6,719,187	645	24.4%	
9	0703	屈折及び調節の障害	2,069,568	637	24.1%	
10	1006	アレルギー性鼻炎	7,154,185	609	23.0%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【神栖第二中学校】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位		疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1800	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	21,962,854	1,240	33.4%
2	0402	糖尿病	63,046,021	1,179	31.8%
3	0901	高血圧性疾患	48,702,409	1,147	30.9%
4	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	7,821,473	1,131	30.5%
5	1006	アレルギー性鼻炎	10,902,157	1,079	29.1%
6	1113	その他の消化器系の疾患	44,215,265	1,059	28.5%
7	0403	脂質異常症	30,807,792	960	25.9%
7	1202	皮膚炎及び湿疹	10,869,084	960	25.9%
9	1105	胃炎及び十二指腸炎	9,841,121	925	24.9%
10	1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	3,702,425	891	24.0%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

【神栖第三中学校】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位		疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)	
1	0402	糖尿病	42,697,006	832	40.5%	
2	0901	高血圧性疾患	24,462,881	692	33.7%	
3	1800	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	10,825,661	644	31.4%	
4	1113	その他の消化器系の疾患	26,841,888	597	29.1%	
5	1105	胃炎及び十二指腸炎	5,470,936	586	28.6%	
6	0403	脂質異常症	18,293,022	573	27.9%	
7	0703	屈折及び調節の障害	1,794,944	526	25.6%	
8	1202	皮膚炎及び湿疹	5,391,382	509	24.8%	
9	1006	アレルギー性鼻炎	5,560,643	495	24.1%	
10	1003	その他の急性上気道感染症	2,762,906	451	22.0%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【神栖第四中学校】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1800	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	16,721,534	1,114	33.2%
2	0901	高血圧性疾患	46,773,627	1,101	32.8%
3	0402	糖尿病	56,194,540	1,084	32.3%
4	1113	その他の消化器系の疾患	38,110,694	967	28.8%
5	1105	胃炎及び十二指腸炎	10,383,383	932	27.8%
6	1202	皮膚炎及び湿疹	9,842,033	890	26.5%
7	0403	脂質異常症	28,586,717	869	25.9%
8	1006	アレルギー性鼻炎	9,116,230	868	25.9%
9	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	6,110,532	867	25.8%
10	0703	屈折及び調節の障害	3,056,294	822	24.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

【波崎第一中学校】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	19 210	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402	糖尿病	53,524,338	1,118	41.8%
2	0901	高血圧性疾患	40,610,895	1,038	38.8%
3	1113	その他の消化器系の疾患	29,928,124	844	31.6%
4	1800	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	12,175,447	840	31.4%
5	0403	脂質異常症	21,483,055	769	28.7%
6	1105	胃炎及び十二指腸炎	6,571,349	735	27.5%
7	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	4,877,643	712	26.6%
8	0703	屈折及び調節の障害	2,464,640	675	25.2%
9	1006	アレルギー性鼻炎	7,247,217	666	24.9%
10	1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	2,052,493	632	23.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【波崎第二中学校】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	20,937,212	562	36.1%
2	0402	糖尿病	25,517,099	554	35.6%
3	1800	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7,928,617	520	33.4%
4	1113	その他の消化器系の疾患	17,660,970	490	31.5%
5	0403	脂質異常症	12,026,648	426	27.4%
6	0703	屈折及び調節の障害	1,538,025	422	27.1%
7	1105	胃炎及び十二指腸炎	3,784,247	404	26.0%
8	1202	皮膚炎及び湿疹	4,622,249	401	25.8%
9	1006	アレルギー性鼻炎	4,047,106	397	25.5%
10	0704	その他の眼及び付属器の疾患	11,276,216	379	24.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

【波崎第三中学校】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位		疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402	糖尿病	50,323,688	1,156	40.9%
2	0901	高血圧性疾患	37,890,581	1,026	36.3%
3	1800	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	21,543,406	967	34.3%
4	1113	その他の消化器系の疾患	30,748,633	833	29.5%
5	1105	胃炎及び十二指腸炎	8,481,701	822	29.1%
6	0403	脂質異常症	23,094,582	796	28.2%
7	0703	屈折及び調節の障害	2,741,449	761	27.0%
8	1006	アレルギー性鼻炎	7,784,324	680	24.1%
9	1202	皮膚炎及び湿疹	8,067,943	671	23.8%
10	0704	その他の眼及び付属器の疾患	16,154,117	640	22.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【波崎第四中学校】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位		疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1800	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	9,645,813	452	35.8%
2	0402	糖尿病	26,471,157	449	35.6%
3	0901	高血圧性疾患	15,534,420	428	33.9%
4	1113	その他の消化器系の疾患	15,672,699	388	30.8%
5	1006	アレルギー性鼻炎	3,198,909	339	26.9%
6	1202	皮膚炎及び湿疹	2,604,259	320	25.4%
7	1003	その他の急性上気道感染症	1,385,151	309	24.5%
8	0403	脂質異常症	9,856,428	307	24.3%
9	1105	胃炎及び十二指腸炎	2,962,206	299	23.7%
10	0703	屈折及び調節の障害	1,044,542	287	22.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

【その他】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位		疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1202	皮膚炎及び湿疹	546,358	30	31.6%
2	1113	その他の消化器系の疾患	2,732,167	29	30.5%
3	0606	その他の神経系の疾患	5,377,586	25	26.3%
4	1800	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,193,484	23	24.2%
4	1003	その他の急性上気道感染症	243,134	23	24.2%
6	0503	統合失調症,統合失調症型障害及び妄想性障害	2,630,821	22	23.2%
7	1006	アレルギー性鼻炎	293,291	21	22.1%
8	0603	てんかん	2,676,716	20	21.1%
8	1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	515,240	20	21.1%
10	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	125,076	18	18.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成31年3月~令和2年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

2. 年度別 特定健康診査結果分析

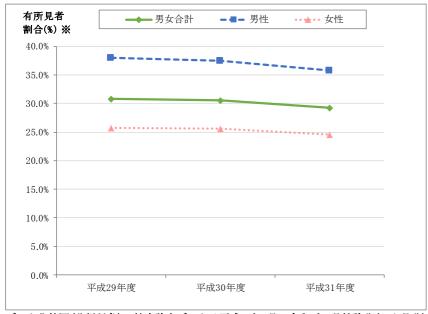
(1)有所見者割合

平成29年度から平成31年度の特定健康診査受診者における有所見者割合を年度別に示す。

年度別 有所見者割合(BMI)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	対象者数(人) ※	5,635	5,745	5,352
	有所見者数(人) ※	1,739	1,757	1,566
	有所見者割合(%) ※	30.9%	30.6%	29.3%
男性	対象者数(人) ※	2,379	2,397	2,245
	有所見者数(人) ※	903	899	803
	有所見者割合(%) ※	38.0%	37.5%	35.8%
女性	対象者数(人) ※	3,256	3,348	3,107
	有所見者数(人) ※	836	858	763
	有所見者割合(%) ※	25.7%	25.6%	24.6%

年度別 有所見者割合(BMI)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月~令和2年3月健診分(36カ月分)。 資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

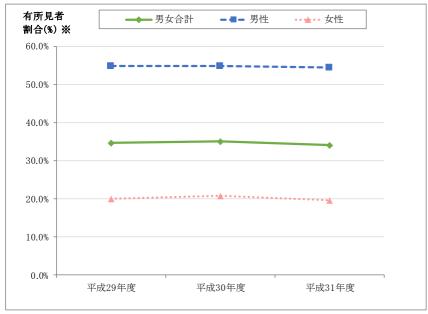
保健指導判定値により有所見を判定する。

BMI:25以上

年度別 有所見者割合(腹囲)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	対象者数(人) ※	5,635	5,745	5,352
	有所見者数(人) ※	1,955	2,010	1,826
	有所見者割合(%) ※	34.7%	35.0%	34.1%
男性	対象者数(人) ※	2,379	2,397	2,245
	有所見者数(人) ※	1,304	1,312	1,220
	有所見者割合(%) ※	54.8%	54.7%	54.3%
女性	対象者数(人) ※	3,256	3,348	3,107
	有所見者数(人) ※	651	698	606
	有所見者割合(%) ※	20.0%	20.8%	19.5%

年度別 有所見者割合(腹囲)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月〜令和2年3月健診分(36カ月分)。 資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

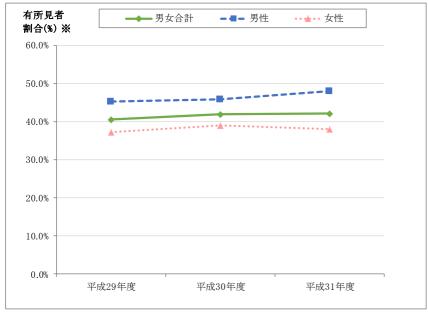
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。 保健指導判定値により有所見を判定する。

腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	対象者数(人) ※	5,635	5,745	5,352
	有所見者数(人) ※	2,285	2,405	2,255
	有所見者割合(%) ※	40.6%	41.9%	42.1%
男性	対象者数(人) ※	2,379	2,397	2,245
	有所見者数(人) ※	1,074	1,098	1,076
	有所見者割合(%) ※	45.1%	45.8%	47.9%
女性	対象者数(人) ※	3,256	3,348	3,107
	有所見者数(人) ※	1,211	1,307	1,179
	有所見者割合(%) ※	37.2%	39.0%	37.9%

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月〜令和2年3月健診分(36カ月分)。 資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

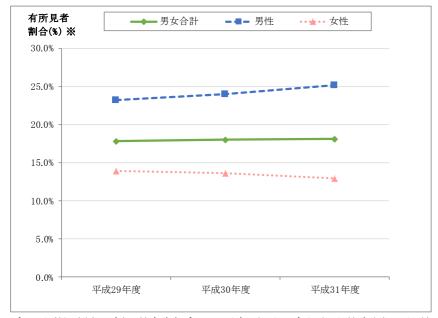
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。 保健指導判定値により有所見を判定する。

収縮期血圧:130mmHg以上

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	対象者数(人) ※	5,635	5,745	5,352
	有所見者数(人) ※	1,003	1,033	968
	有所見者割合(%) ※	17.8%	18.0%	18.1%
男性	対象者数(人) ※	2,379	2,397	2,245
	有所見者数(人) ※	551	576	566
	有所見者割合(%) ※	23.2%	24.0%	25.2%
女性	対象者数(人) ※	3,256	3,348	3,107
	有所見者数(人) ※	452	457	402
	有所見者割合(%) ※	13.9%	13.6%	12.9%

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月~令和2年3月健診分(36カ月分)。 資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

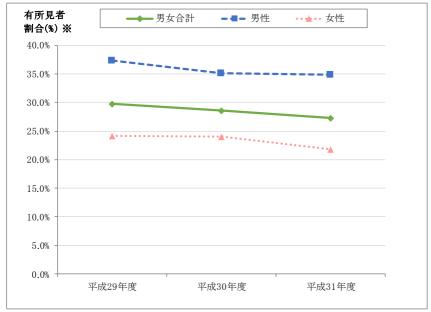
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。 保健指導判定値により有所見を判定する。

拡張期血圧:85mmHg以上

年度別 有所見者割合(中性脂肪)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	対象者数(人) ※	5,635	5,745	5,352
	有所見者数(人) ※	1,674	1,645	1,459
	有所見者割合(%) ※	29.7%	28.6%	27.3%
男性	対象者数(人) ※	2,379	2,397	2,245
	有所見者数(人) ※	887	842	782
	有所見者割合(%) ※	37.3%	35.1%	34.8%
女性	対象者数(人) ※	3,256	3,348	3,107
	有所見者数(人) ※	787	803	677
	有所見者割合(%) ※	24.2%	24.0%	21.8%

年度別 有所見者割合(中性脂肪)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月~令和2年3月健診分(36カ月分)。 資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

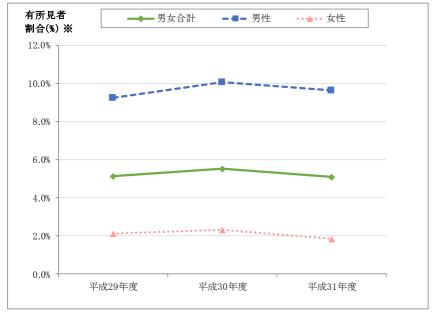
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。 保健指導判定値により有所見を判定する。

中性脂肪:150mg/dl以上

年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	対象者数(人) ※	5,635	5,745	5,352
	有所見者数(人) ※	289	318	273
	有所見者割合(%) ※	5.1%	5.5%	5.1%
男性	対象者数(人) ※	2,379	2,397	2,245
	有所見者数(人) ※	220	241	216
	有所見者割合(%) ※	9.2%	10.1%	9.6%
女性	対象者数(人) ※	3,256	3,348	3,107
	有所見者数(人) ※	69	77	57
	有所見者割合(%) ※	2.1%	2.3%	1.8%

年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月~令和2年3月健診分(36カ月分)。 資格確認日…各年度末時点。

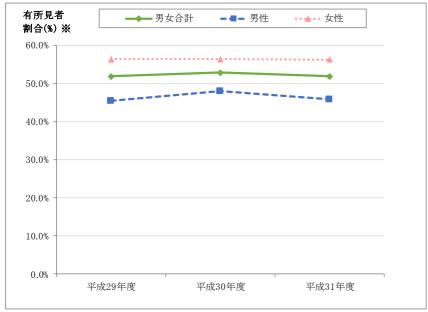
- ※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。
- ※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。
- ※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。 保健指導判定値により有所見を判定する。

HDLコレステロール:39mg/dl以下

年度別 有所見者割合(LDLコレステロール)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	対象者数(人) ※	5,635	5,745	5,352
	有所見者数(人) ※	2,920	3,040	2,780
	有所見者割合(%) ※	51.8%	52.9%	51.9%
男性	対象者数(人) ※	2,379	2,397	2,245
	有所見者数(人) ※	1,081	1,149	1,030
	有所見者割合(%) ※	45.4%	47.9%	45.9%
女性	対象者数(人) ※	3,256	3,348	3,107
	有所見者数(人) ※	1,839	1,891	1,750
	有所見者割合(%) ※	56.5%	56.5%	56.3%

年度別 有所見者割合(LDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月~令和2年3月健診分(36カ月分)。 資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

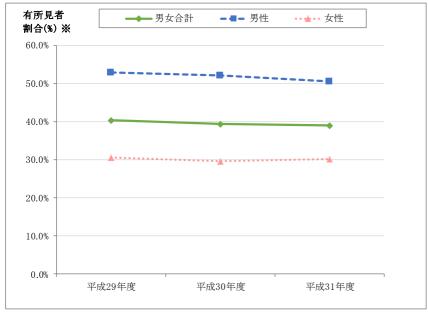
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。 保健指導判定値により有所見を判定する。

LDLコレステロール:120mg/dl以上

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,556	2,469	2,394
	有所見者数(人) ※	1,029	970	933
	有所見者割合(%) ※	40.3%	39.3%	39.0%
男性	対象者数(人) ※	1,103	1,056	1,044
	有所見者数(人) ※	584	551	527
	有所見者割合(%) ※	52.9%	52.2%	50.5%
女性	対象者数(人) ※	1,453	1,413	1,350
	有所見者数(人) ※	445	419	406
	有所見者割合(%) ※	30.6%	29.7%	30.1%

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月~令和2年3月健診分(36カ月分)。 資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

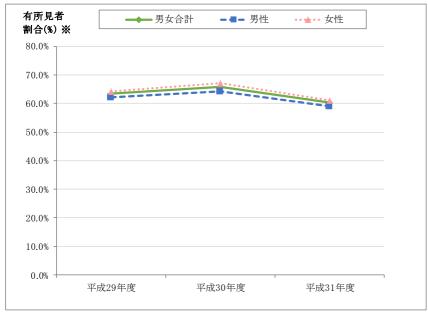
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。 保健指導判定値により有所見を判定する。

空腹時血糖值:100mg/dl以上

年度別 有所見者割合(HbA1c(NGSP))

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
男女合計	対象者数(人) ※	5,635	5,743	5,352	
	有所見者数(人) ※	3,568	3,782	3,223	
	有所見者割合(%) ※	63.3%	65.9%	60.2%	
男性	対象者数(人) ※	2,379	2,396	2,245	
	有所見者数(人) ※	1,476	1,536	1,327	
	有所見者割合(%) ※	62.0%	64.1%	59.1%	
女性	対象者数(人) ※	3,256	3,347	3,107	
	有所見者数(人) ※	2,092	2,246	1,896	
	有所見者割合(%) ※	64.3%	67.1%	61.0%	

年度別 有所見者割合(HbA1c(NGSP))



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月~令和2年3月健診分(36カ月分)。 資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。 保健指導判定値により有所見を判定する。

HbA1c(NGSP):5.6%以上

(2)質問別回答状況

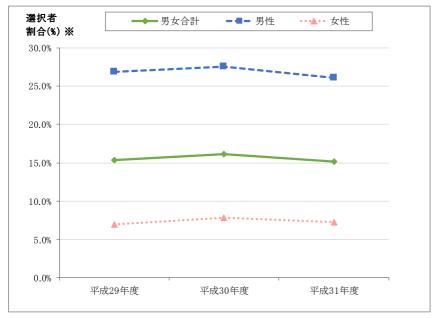
平成29年度から平成31年度の特定健康診査の質問票における喫煙習慣・運動習慣・咀嚼・食 習慣・飲酒習慣・生活習慣に関する集計結果を年度別に示す。

①喫煙習慣

年度別「喫煙あり」の回答状況

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	5,634	5,745	5,352
	選択者数(人) ※	867	925	809
	選択者割合(%) ※	15.4%	16.1%	15.1%
男性	質問回答者数(人) ※	2,379	2,397	2,245
	選択者数(人) ※	640	661	585
	選択者割合(%) ※	26.9%	27.6%	26.1%
女性	質問回答者数(人) ※	3,255	3,348	3,107
	選択者数(人) ※	227	264	224
	選択者割合(%) ※	7.0%	7.9%	7.2%

年度別「喫煙あり」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月~令和2年3月健診分(36カ月分)。 資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…喫煙習慣の質問に回答した人数。

※選択者数 …質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合 …喫煙習慣の質問に回答した人のうち、「喫煙あり」を選択した人の割合。

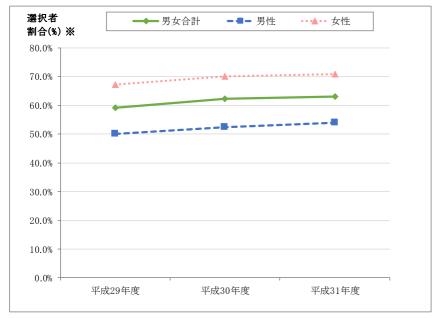
喫煙あり…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

②運動習慣

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	741	1,155	961
	選択者数(人) ※	439	719	606
	選択者割合(%) ※	59.2%	62.3%	63.1%
男性	質問回答者数(人) ※	344	514	446
	選択者数(人) ※	172	270	241
	選択者割合(%) ※	50.0%	52.5%	54.0%
女性	質問回答者数(人) ※	397	641	515
	選択者数(人) ※	267	449	365
	選択者割合(%) ※	67.3%	70.0%	70.9%

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況



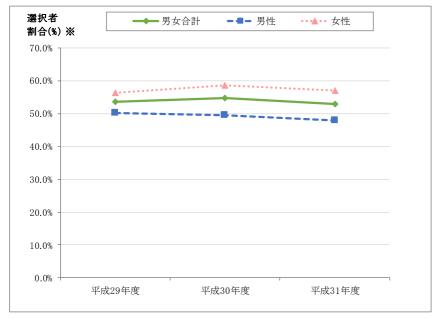
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月~令和2年3月健診分(36カ月分)。 資格確認日…各年度末時点。

- ※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。
- ※選択者数 …質問の選択肢を選択した人数。
- ※選択者割合 …運動習慣の質問に回答した人のうち、「1回30分以上の運動習慣なし」を選択した人の割合。
- 1回30分以上の運動習慣なし…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	740	1,155	962
	選択者数(人) ※	396	631	508
	選択者割合(%) ※	53.5%	54.6%	52.8%
男性	質問回答者数(人) ※	343	514	446
	選択者数(人) ※	172	255	214
	選択者割合(%) ※	50.1%	49.6%	48.0%
女性	質問回答者数(人) ※	397	641	516
	選択者数(人) ※	224	376	294
	選択者割合(%) ※	56.4%	58.7%	57.0%

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月~令和2年3月健診分(36カ月分)。 資格確認日…各年度末時点。

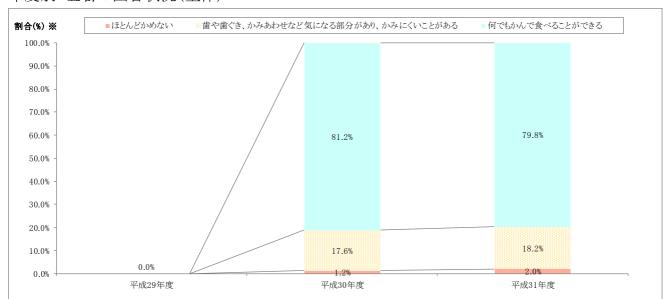
- ※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。
- ※選択者数 …質問の選択肢を選択した人数。
- ※選択者割合 …運動習慣の質問に回答した人のうち、「1日1時間以上の身体活動なし」を選択した人の割合。
- 1日1時間以上の身体活動なし…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

③咀嚼

年度別 咀嚼の回答状況(全体)

年度 質問回答者数(人) ※		ほとんどかめない		歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる 部分があり、かみにくいことがある		何でもかんで食べることができる	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成29年度	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
平成30年度	980	12	1.2%	172	17.6%	796	81.2%
平成31年度	654	13	2.0%	119	18.2%	522	79.8%

年度別 咀嚼の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月~令和2年3月健診分(36カ月分)。 資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食事をかんで食べる時の状態に回答した人数。

※選択者数 …食事をかんで食べる時の状態の選択肢を選択した人数。

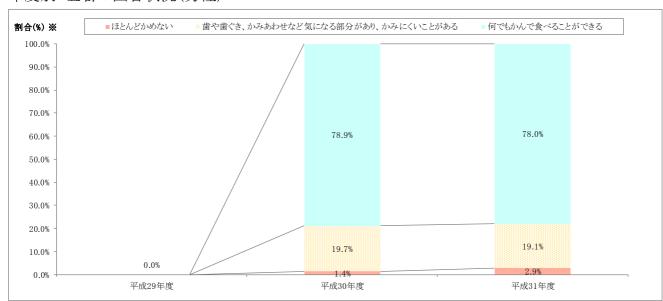
※割合 …食事をかんで食べる時の状態に回答した人で、各選択肢を選択した人の割合。

咀嚼…「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 咀嚼の回答状況(男性)

年度 質問回答者数(人) ※		ほとんどかめない		歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる 部分があり、かみにくいことがある		何でもかんで食べることができる	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成29年度	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
平成30年度	437	6	1.4%	86	19.7%	345	78.9%
平成31年度	314	9	2.9%	60	19.1%	245	78.0%

年度別 咀嚼の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月~令和2年3月健診分(36カ月分)。 資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食事をかんで食べる時の状態に回答した人数。

※選択者数 …食事をかんで食べる時の状態の選択肢を選択した人数。

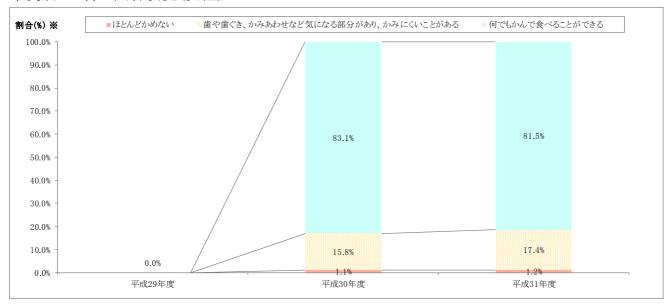
※割合 …食事をかんで食べる時の状態に回答した人で、各選択肢を選択した人の割合。

咀嚼…「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 咀嚼の回答状況(女性)

年度 質問回答者数(人) ※		ほとんどかめない		歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる 部分があり、かみにくいことがある		何でもかんで食べることができる	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成29年度	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
平成30年度	543	6	1.1%	86	15.8%	451	83.1%
平成31年度	340	4	1.2%	59	17.4%	277	81.5%

年度別 咀嚼の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月~令和2年3月健診分(36カ月分)。 資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食事をかんで食べる時の状態に回答した人数。

※選択者数 …食事をかんで食べる時の状態の選択肢を選択した人数。

※割合 …食事をかんで食べる時の状態に回答した人で、各選択肢を選択した人の割合。

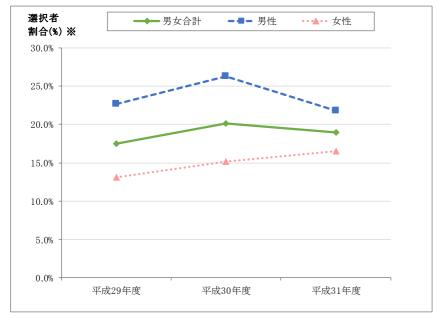
咀嚼…「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。」の質問に対する回答数を集計。

④食習慣

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
男女合計	質問回答者数(人) ※	741	1,153	960	
	選択者数(人) ※	130	232	182	
	選択者割合(%) ※	17.5%	20.1%	19.0%	
男性	質問回答者数(人) ※	344	514	445	
	選択者数(人) ※	78	135	97	
	選択者割合(%) ※	22.7%	26.3%	21.8%	
女性	質問回答者数(人) ※	397	639	515	
	選択者数(人) ※	52	97	85	
	選択者割合(%) ※	13.1%	15.2%	16.5%	

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況



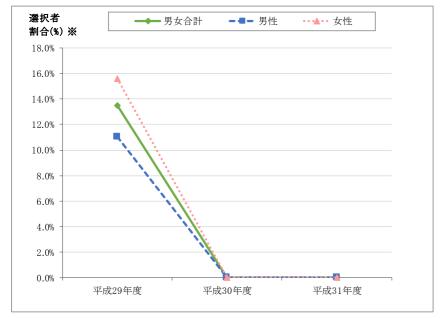
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月~令和2年3月健診分(36カ月分)。 資格確認日…各年度末時点。

- ※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。
- ※選択者数 …質問の選択肢を選択した人数。
- ※選択者割合 …食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上就寝前に夕食」を選択した人の割合。
- 週3回以上就寝前に夕食…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
男女合計	質問回答者数(人) ※	741	0	0	
	選択者数(人) ※	100	0	0	
	選択者割合(%) ※	13.5%	0.0%	0.0%	
男性	質問回答者数(人) ※	344	0	0	
	選択者数(人) ※	38	0	0	
	選択者割合(%) ※	11.0%	0.0%	0.0%	
女性	質問回答者数(人) ※	397	0	0	
	選択者数(人) ※	62	0	0	
	選択者割合(%) ※	15.6%	0.0%	0.0%	

年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況



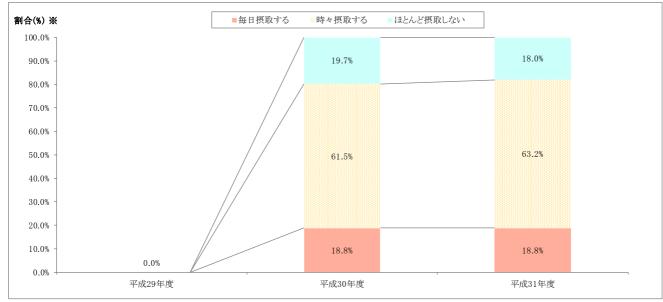
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月~令和2年3月健診分(36カ月分)。 資格確認日…各年度末時点。

- ※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。
- ※選択者数 …質問の選択肢を選択した人数。
- ※選択者割合 …食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上夕食後に間食」を選択した人の割合。
- 週3回以上夕食後に間食…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。 ※平成30年度以降で廃止された質問項目。

年度別 間食の回答状況(全体)

年度 質問回答者数(人) ※		毎日摂取す	る	時々摂取する		ほとんど摂取しない	
十段	年度 質問四合有数(人) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成29年度	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
平成30年度	1,152	216	18.8%	709	61.5%	227	19.7%
平成31年度	951	179	18.8%	601	63.2%	171	18.0%

年度別 間食の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月~令和2年3月健診分(36カ月分)。 資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物に回答した人数。

※選択者数 …朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物の選択肢を選択した人数。

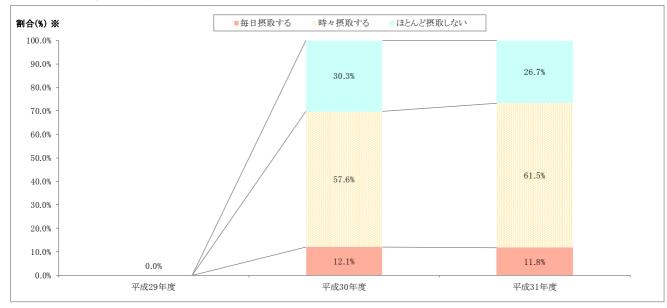
※割合 …朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物に回答した人で、各選択肢を選択した人の割合。

間食…「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 間食の回答状況(男性)

年度 質問回答	質問回答者数(人) ※	毎日摂取す	-る	時々摂取す	-る	ほとんど摂取し	ない
午及	員问凹谷有数(八) %	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成29年度	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
平成30年度	512	62	12.1%	295	57.6%	155	30.3%
平成31年度	442	52	11.8%	272	61.5%	118	26.7%

年度別 間食の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月~令和2年3月健診分(36カ月分)。 資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物に回答した人数。

※選択者数 …朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物の選択肢を選択した人数。

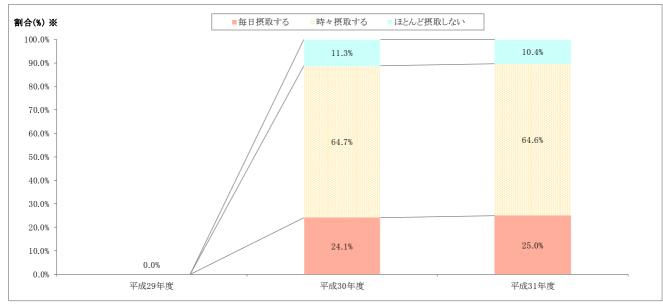
※割合 …朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物に回答した人で、各選択肢を選択した人の割合。

間食…「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 間食の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日摂取する		時々摂取する		ほとんど摂取しない	
干及 質問四合有級(人)		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成29年度	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
平成30年度	640	154	24.1%	414	64.7%	72	11.3%
平成31年度	509	127	25.0%	329	64.6%	53	10.4%

年度別 間食の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月~令和2年3月健診分(36カ月分)。 資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物に回答した人数。

※選択者数 …朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物の選択肢を選択した人数。

※割合 …朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物に回答した人で、各選択肢を選択した人の割合。

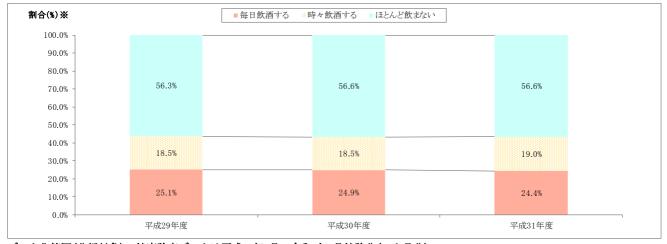
間食…「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。」の質問に対する回答数を集計。

⑤飲酒習慣

年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成29年度	5,634	1,416	25.1%	1,044	18.5%	3,174	56.3%
平成30年度	5,742	1,429	24.9%	1,064	18.5%	3,249	56.6%
平成31年度	5,352	1,306	24.4%	1,019	19.0%	3,027	56.6%

年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月~令和2年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数 …飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

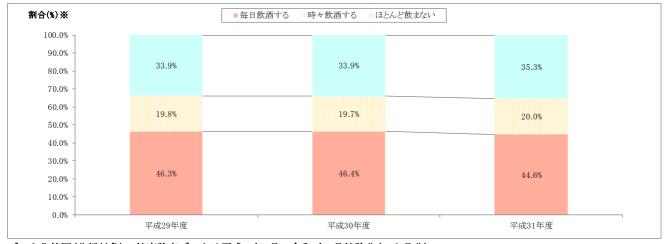
※割合 …飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(日本酒・焼酎・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成29年度	2,379	1,102	46.3%	471	19.8%	806	33.9%
平成30年度	2,395	1,111	46.4%	471	19.7%	813	33.9%
平成31年度	2,245	1,002	44.6%	450	20.0%	793	35.3%

年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月~令和2年3月健診分(36カ月分)。 資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数 …飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

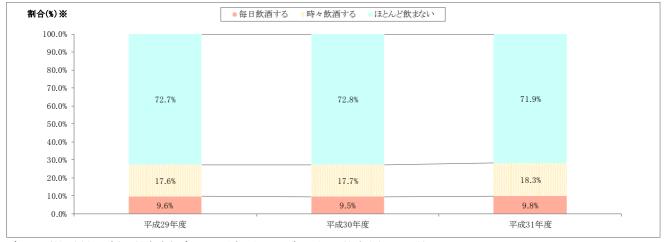
…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(日本酒・焼酎・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)

年度 質問回	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
	頁问凹谷有数(八) %	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成29年度	3,255	314	9.6%	573	17.6%	2,368	72.7%
平成30年度	3,347	318	9.5%	593	17.7%	2,436	72.8%
平成31年度	3,107	304	9.8%	569	18.3%	2,234	71.9%

年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月~令和2年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数 …飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

※割合 …飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(日本酒・焼酎・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

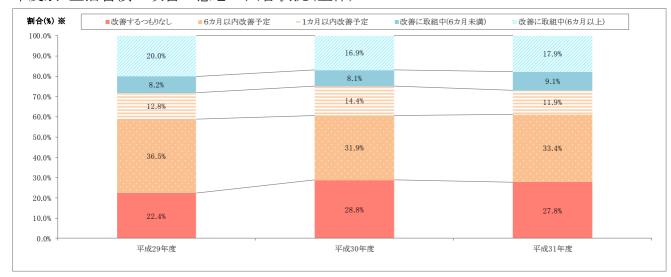
⑥生活習慣

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)

	年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
平及	貝미凹合有数(八) %	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	
	平成29年度	740	166	22.4%	270	36.5%	95	12.8%
	平成30年度	1,154	332	28.8%	368	31.9%	166	14.4%
	平成31年度	961	267	27.8%	321	33.4%	114	11.9%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取組中(6カ月未満)	改善に取組中(6カ月以上)		
干及	頁问凹合有数(八) %	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	
平成29年度	740	61	8.2%	148	20.0%	
平成30年度	1,154	93	8.1%	195	16.9%	
平成31年度	961	87	9.1%	172	17.9%	

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月~令和2年3月健診分(36カ月分)。 資格確認日…各年度末時点。

- ※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。
- ※選択者数 …生活習慣の選択肢を選択した人数。
- ※割合 …生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

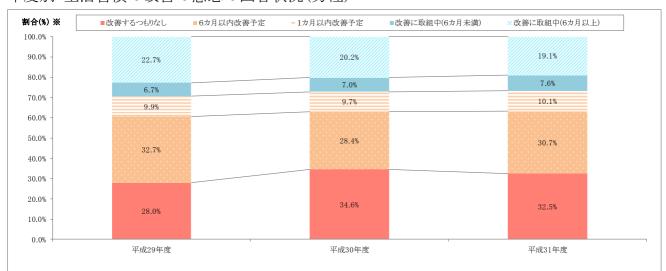
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)

	年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
平及	員问凹合有数(八) 次	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	
	平成29年度	343	96	28.0%	112	32.7%	34	9.9%
	平成30年度	514	178	34.6%	146	28.4%	50	9.7%
	平成31年度	446	145	32.5%	137	30.7%	45	10.1%

/T	: # :	質問回答者数(人) ※	改善に取組中(6カ月未満)	改善に取組中(6カ月以上)		
年度	頁问凹合有数(八) %	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※		
平成2	29年度	343	23	6.7%	78	22.7%	
平成3	30年度	514	36	7.0%	104	20.2%	
平成3	31年度	446	34	7.6%	85	19.1%	

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月~令和2年3月健診分(36カ月分)。 資格確認日…各年度末時点。

- ※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。
- ※選択者数 …生活習慣の選択肢を選択した人数。
- ※割合 …生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

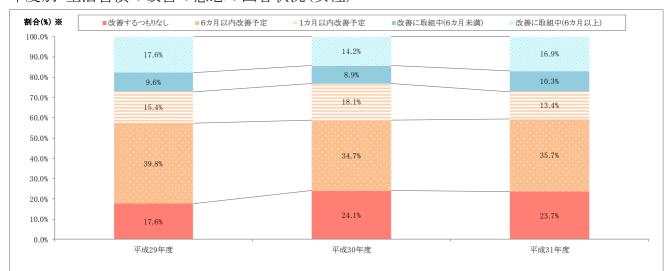
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成29年度	397	70	17.6%	158	39.8%	61	15.4%
平成30年度	640	154	24.1%	222	34.7%	116	18.1%
平成31年度	515	122	23.7%	184	35.7%	69	13.4%

	年度質	質問回答者数(人) ※	改善に取組中(6カ月未満)	改善に取組中(6カ月以上)		
		頁问凹合有数(八) %	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	
	平成29年度	397	38	9.6%	70	17.6%	
	平成30年度	640	57	8.9%	91	14.2%	
	平成31年度	515	53	10.3%	87	16.9%	

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)



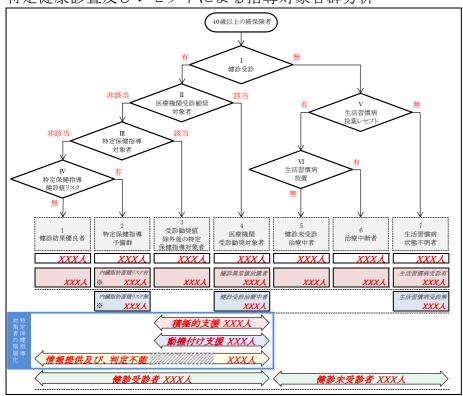
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月~令和2年3月健診分(36カ月分)。 資格確認日…各年度末時点。

- ※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。
- ※選択者数 …生活習慣の選択肢を選択した人数。
- ※割合 …生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答数を集計。

3.「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

特定健康診査及びレセプトによる指導対象者群分析



【フロー説明】

I 健診受診

- …健診受診の有無を判定。
- Ⅱ医療機関受診勧奨対象者
- …健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者 に該当するか判定。

Ⅲ特定保健指導対象者

- …厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム【平成30年度版】」に沿って、特定保健指導対 象者に該当するか判定。

Ⅳ特定保健指導健診値リスク…厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に 喫煙は含めない。

V生活習慣病投薬レセプト

- …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
- VI生活習慣病放置 …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習 慣病放置の有無を判定。

【グループ別説明】

健診受診あり

- 1. 健診結果優良者
- 2. 特定保健指導予備群

内臓脂肪蓄積リスク有 内臓脂肪蓄積リスク無

- …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
- …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)によ り保健指導対象者でない者。
- …「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
- …「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指 導対象者にならなかった者。
- 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者…受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
- 4. 医療機関受診勧奨対象者

健診異常値放置者 健診受診治療中者

- …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当する者。
- …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診が ない者。
- …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診が ある者。または健診受診後生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もな いため医療機関受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。

健診受診なし

- 5. 健診未受診治療中者 …生活習慣病治療中の者。
- 6. 治療中断者 …過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
- 7. 生活習慣病状態不明者…生活習慣病の投薬治療をしていない者。
 - 生活習慣病受診有 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
 - 生活習慣病受診無 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

4. 用語解説集

	用語	説明
7	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
行	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋 梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
	空腹時血糖	空腹時に血液中にあるブドウ糖の量を示している。検査値が高いと糖尿病の疑いがある。
力行	血圧(収縮期·拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	高齢化率	65歳以上の高齢者が総人口に占める割合。
	ジェネリック医薬品	先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
サ	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版)準拠 疾病分類表」を使用。
行	腎不全	腎臓の機能が低下し、老廃物を十分排泄できなくなったり、体内に不要なものや体にとって有害なものがたまっている状態。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3カ月以上の定期的・継続的な支援を行う。
	中性脂肪	体を動かすエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になる。
9	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導修了後、対象者は行動計画を実践し、3カ月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
行 	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳~74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
ナ 行	日本再興戦略	日本産業再興プラン・戦略市場創造プラン・国際展開戦略の3つのアクションプランを軸とする。データへルス計画に関する内容は、戦略市場創造プランの【テーマ1:国民の「健康寿命」の延伸】の中に「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」の一つとして示されている。
ハ行	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1~2カ月の平均的な血糖の状態を示す検査 に使用される。
マ 行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
ヤ 行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ラ 行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。

5. 疾病分類

疾病分類表(2013年版)

コード	疾病分類		主な疾病	
I . 感染症	及び寄生虫症			
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頚管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	RSウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻痺後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
Ⅱ. 新生物	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮体癌	子宮頚癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌	膵癌	膀胱癌
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
Ⅲ. 血液及	び造血器の疾患並びに免疫機構の障害			
0301	貧血.	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
IV. 内分泌	,栄養及び代謝疾患			
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
V. 精神及	び行動の障害			
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症,統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分 [感情] 障害 (躁うつ病を含む)	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害,ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類		主な疾病			
VI. 神経系	<u> </u>	'				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Yahr3		
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症		
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作		
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺		
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害		
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	不眠症 片頭痛			
VII. 眼及び	・ 付属器の疾患					
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎		
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障		
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視		
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労		
VⅢ. 耳及び	・ 乳様突起の疾患					
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎		
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔		
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎		
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎		
0805	メニエール病	メニエール病	ニエール病 メニエール症候群			
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	発作性頭位めまい症 末梢性めまい症			
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症		
IX. 循環器	系の疾患					
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患		
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞		
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全		
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂		
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血		
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞		
0907	脳動脈硬化 (症)	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症			
0908	その他の脳血管疾患	内頚動脈狭窄症	頚動脈硬化症	脳血管障害		
0909	動脈硬化 (症)	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症		
0911	低血圧 (症)	起立性低血圧症	起立性低血圧症 低血圧症			
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	深部静脈血栓症 末梢循環障害			
X. 呼吸器	系の疾患					
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎		
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	咽頭炎 急性咽頭炎			
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎		
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎		
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎		

コード	疾病分類		主な疾病			
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎		
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪		
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎		
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患		
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作		
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎		
XI. 消化器系の疾患						
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度		
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎		
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎		
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍		
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎		
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核		
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変		
1108	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪		
1109	肝硬変 (アルコール性のものを除く)	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変		
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害		
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石		
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎		
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎		
X II. 皮膚	及び皮下組織の疾患					
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿痂疹性湿疹		
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎		
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹		
XⅢ. 筋骨	格系及び結合組織の疾患					
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎		
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症		
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頚椎症		
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頚椎椎間板ヘルニア		
1305	頚腕症候群	頚肩腕症候群	頚肩腕障害			
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症		
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頚部痛		
1308	肩の傷害<損傷>	肩関節周囲炎	肩関節周囲炎 肩関節腱板炎			
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	骨粗鬆症 閉経後骨粗鬆症			
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛 神経痛		関節痛		
XIV. 腎尿	路生殖器系の疾患					
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症		
1402	腎不全	慢性腎不全	慢性腎不全腎性貧血			

コード	疾病分類	主な疾病				
1403	尿路結石症	腎結石症	腎結石症 尿管結石症			
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症		
1405	前立腺肥大 (症)	前立腺肥大症	前立腺症			
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎		
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性腟炎		
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腟部びらん 細菌性腟炎		腟炎		
XV. 妊娠、分娩及び産じょく						
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患		
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癎		
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩		
1504	その他の妊娠、分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合		
XVI. 周産期に発生した病態						
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児		
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	ABO因子不適合		
XVII. 先天	奇形,変形及び染色体異常					
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患		
1702	その他の先天奇形,変形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬		
XVII. 症状,	徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分	類されないもの				
1800	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症		
XIX. 損傷,	中毒及びその他の外因の影響					
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頚部骨折		
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫		
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷		
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒		
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫		
XXI. 健	東状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利	用 用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診		
2102	予防接種	予防接種				
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦		
2104	歯の補てつ					
2105	特定の処置(歯の補てつを除く)及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	抜釘 気管切開口に対する手当て			
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後 ペースメーカ植え込み後		人工股関節置換術後		
XXⅡ. 特殊目的用コード						
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群				
2220	その他の特殊目的用コード					
分類外						
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類	瓦に該当のない疾病			

6. 分析方法

データベースの作成方法及び分析方法は、株式会社データホライゾンの特許技術及び独自技術を用いる。

●医療費分解技術(特許第4312757号)

レセプトに記載されたすべての傷病名と診療行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料等)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出する。

レセプトは傷病名毎に点数が振り分けられておらず、通常の統計資料は主傷病名で点数 集計されており、また、治療中の傷病と治療済の傷病が併記されている。そのまま分析に 使用すると「主傷病以外の傷病の医療費がゼロとなり、傷病名毎の医療費が正確には把握 できない」「現在治療中の疾病が把握できない」等の問題がある。医療費分解技術を用いる ことで、これらの問題を解決し、疾病別に係る医療費を正確に把握できる。

●未コード化傷病名のコード化

レセプトに記載されている未コード化傷病名を、可能な限りコード化する。

レセプトは請求情報のため、傷病名が正確でない場合があり、現状10%程度の未コード 化傷病名が含まれている。この問題を解決するため、マスタとの突合検索処理を行い、可 能な限りコード化を行うことで、集計漏れを極力減らす。



①未コード化傷病名のコード化

未コード化傷病名を株式会社データホライゾン独自 の辞書情報と突合検索処理しコード化する。

医科レセプトの記載		コード化		
(1)	本態性高血圧(主)	未コード化傷病名 ⇒ 8840107 本態性高血圧 症		
(2)	狭心症	4139007 狭心症		
(3)	うつ病	2961003 うつ病		
(4)	高コレステロール血症	2720004 高コレステロール血症		
(5)	2型糖尿病	2500015 2型糖尿病		
(6)	急性上気道炎	4659007 急性上気道炎		
(7)	アレルギー性鼻炎	4779004 アレルギー性鼻炎		

②医療費分解後グルーピング

レセプトに記載された全傷病名に対し、適応のある 医薬品や診療行為を関連付け、医療費を分解後、傷病 ごとにグルーピングする。

医科レセプトの記載		薬品	検査	診療行為	合計点数
(1)	本態性高血圧症(主)	184. 3	25. 2	266. 5	476.0
(2)	狭心症	963. 6	4. 7	61.0	1, 029. 3
(3)	うつ病	63. 7	0.3	11.0	75.0
(4)	高コレステロール血症	858. 1	4. 1	57. 2	919. 4
(5)	2型糖尿病	618. 3	356. 7	61.3	1, 036. 3
(6)	急性上気道炎	0.0	0.0	0.0	0.0
(7)	アレルギー性鼻炎	0.0	0.0	0.0	0.0
合計				3, 536. 0	

●傷病管理システム(特許第5203481号)

レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報及び診療行為識別情報に基づき、傷病の重症度を判定する。

例えば糖尿病の重症度を判定することで、将来の重症化予測や特定した対象患者の病期 に合わせた的確な指導を行うことが可能となる。株式会社データホライゾンにおいて開発 した傷病管理システムを用いて、糖尿病患者を階層化し特定する。

●レセプト分析システムおよび分析方法(特許第5992234号)

中長期にわたるレセプトから特定の患者についてアクティブな傷病名とノンアクティブ な傷病名を識別する。

レセプトに記載されている傷病名は、追記式のため、過去から現在までの傷病名が記載されており、その内、約4割が現在治療中でない傷病名といわれている。重症化予防や受診勧奨等、個別の保健事業の実施にあたっては、現在治療中の傷病名のみを取り出し、該当者を抽出する必要がある。前述の「医療費分解技術」では、当月の傷病名別にどのような医薬品や診療行為が使用されたのかは把握できた。しかし、傷病の種類によっては、中長期にわたる投薬や診療がなされるため、必ずしもその傷病名がアクティブかノンアクティブかを識別することが困難だったが、当特許技術で解決した。

●服薬情報提供装置、服薬情報提供方法、およびコンピュータプログラム (特許第6409113号)

多剤併用による薬物有害事象(ポリファーマシー)が大きな社会問題となるなか、お薬手帳が実現できなかった患者の全服薬情報を一元的に管理することが求められている。本特許を活用することで、今まで実現できなかった、医科・調剤レセプトから取得した患者ごとの全服薬情報を一元的に把握し、患者本人への啓発を促し、かかりつけ医やかかりつけ薬剤師への服薬情報提供を通してポリファーマシー解消のための服薬指導を支援することが可能となる。

●マスタの整備

マスタ(傷病名、医薬品、診療行為等レセプトに記載されるすべてを網羅したデータベース)を定期的にメンテナンスし最新状態に保つ。

神栖市国民健康保険第2期データヘルス計画及び

第3期特定健康診查等実施計画 (計画期間:平成30年度~令和5年度) 《平成30年3月策定 令和3年3月改定》

編 集:神栖市

住 所:〒314-0192茨城県神栖市溝口4991番地5

電 話: 国保年金課 0299-90-1142

健康増進課 0299-90-1331

FAX: 国保年金課 0299-90-1324

健康増進課 0299-90-1330

神栖市ホームページ: http://www.city.kamisu.ibaraki.jp/